

JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度 2017年度 活動報告書

2017年4月1日 ~ 2018年3月31日

2018年8月1日

Japan Football Association

JFA



はじめに



目的

本制度の目的は、「JFAグラスルーツ宣言（※）」に賛同し、共に行動していただける団体と一緒にグラスルーツサッカーの環境改善を推進することです。

経緯

2014年5月15日、JFAは「Football For All サッカーを、もっとみんなのものへ。」と題するJFAグラスルーツ宣言を発表しました。

JFAは、サッカーの場づくりに関わる人々を支え、サッカー、そしてスポーツが生涯にわたって生活の一部となり、より豊かなスポーツ文化を育むことを目指しています。

2015年に実施したグラスルーツアンケート調査により、「JFAグラスルーツ宣言」の趣旨と同様の活動をされている方々が多く存在していることが分かりました。その方々とつながり、活動を紹介し、広く仲間を増やしていくことが、JFAのグラスルーツ宣言の具現化に近づくと考え、本制度を考案しました。

※JFAグラスルーツ宣言

JFAの理念とビジョンに基づき、年齢、性別、障がい、人種などに関わりなく、だれもが、いつでも、どこでも、サッカーを身近に心から楽しめる環境を提供し、その質の向上に努めることを宣言した。

制度の概要

JFAグラスルーツアンケート調査で掲げた6つのテーマの内、次の3つのテーマに関わる活動を重点的に推進するために、各活動に取り組む団体を「賛同パートナー」として認定します。

① 引退なし：『引退なし』賛同パートナー

サッカーは一生楽しめるもの。学校卒業、就職、転勤等、人生の節目で「引退」して終わるのではなく、サッカーをやりたい人は、どこにいても気軽にサッカーが継続できるように、子供からお年寄りまで、サッカーを楽しめる場づくりに取り組む団体を認定します。

② 補欠ゼロ：『補欠ゼロ』賛同パートナー

サッカーは試合に出て楽しむもの。その試合に出られなくても他の試合でしっかりと出られるようにする等、万年補欠でサッカーを終えることなく、上手い・下手関係なくみんなが心からサッカーを楽しむことができるように取り組む団体を認定します。

③ 障がい者サッカー：『障がい者サッカー』賛同パートナー

サッカーは障がいの有無に関係なく楽しめるもの。障がいのある人も楽しめるようにするには、周りの人達が障がいを理解し、どうすれば一緒に楽しめるのかを考えて行動することです。多様性を受け入れ、障がいの有無に関わらず、サッカーを楽しめる場づくりに取り組む団体を認定します。

引退なし



補欠ゼロ



障がい者サッカー



JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度認定団体数

認定団体数 **160**

団体 (2018年3月31日現在)

北海道

札幌中央フットボールクラブ
シーガルサッカークラブ
特定非営利活動法人ReBra
ワイズクラブ釧路

青森県

社会福祉法人 純心会 まるこども園
ボールスターユナイテッドスポーツクラブ

宮城県

VOCK大崎レディースU15
SendaiForza
特定非営利活動法人まきばフリースクール
特定非営利活動法人ラソスポルテクルービ

山形県

NPO法人サルバトーレ鶴引
特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ

茨城県

茨城県知的障がい者サッカー連盟
特定非営利活動法人ヴェレン大洗SV
バンクフル茨城ダイバーシティフットボールクラブ

群馬県

蹴球団藤岡キッカーズ
JOYFULサッカークラブ
Rafaga Club de Futbol

埼玉県

一般社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会
浦和グランパワーズ
FC REAL
FC もんちっち
NPO法人 SHIRAOKA K'sフットボールクラブ
NPO法人浦和スポーツクラブ
白岡市サッカー協会
鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団
南中野ダックスF.C.
寄居サッカークラブ
ra' pido futsal club
LIVRO白岡SoccerClub

千葉県

ATLETICO君津
一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブ
NPO法人 幕総クラブ
TODOS UNIDOS
ドリムチャレンジフットボールファン

東京都

ApriDiver
アッチ・フットボールアカデミー
一般社団法人Enije
一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会
一般社団法人日本ソサイチ連盟
A.C ammalatore
FCアンビシャス

FC東京
NPO法人スポーツカントリーアンビスタ
NPO法人ゼロスポーツコミュニケーション
NPO法人ビッグイシュー基金
カフリンガ東久留米

株式会社 アシスト
株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル・フットサルステージ)
上鷲宮少年サッカークラブ
皐月フットボールクラブ
JATSサッカークラブ
千代田区サッカー協会
東京都立大学付属高等学校フットサル部
東京都知的障がい者サッカー連盟
日本ウォーキング・フットボール連盟
BeYonDプロジェクトチーム
三鷹JFC
オンセドリームプロジェクトチーム
LARGO FOOTBALL CLUB

神奈川県

あざみ野キッカーズ
FC PORT
NPO港北フットボールクラブ
NPO大豆戸フットボールクラブ
NPO法人 レフリーアカデミー横浜
エスبرانサNEXT
KAZU SOCCER CLUB
株式会社レグロ
川崎ジュニアフットボールクラブ
クライティールボFC
公田SC
チームSMILEサラダ
知的障がい者サッカー推進連盟
特定非営利活動法人CPサッカー&ライフエスبرانサ
ポルトレロFC
横浜F・マリノス
横浜かもめスポーツクラブ

長野県

一般社団法人筑北スポーツ振興協会
三郷サッカースポーツ少年団ジュニアユース
PLAY MAKERプロジェクト

新潟県

VIVA ENJOY FOOTBALL
bandai12
フリーダム新潟FC
見附小学校サッカークラブ

福井県

ハトリアールSABAE

静岡県

一般社団法人PlusDeporte
株式会社エスパルス
CONFIANÇA

しもあおベース
裾野西サッカースポーツ少年団
特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター

愛知県

碧フットボールクラブ
一般社団法人AVANCO
一般社団法人One Life
一般社団法人リコブエンテ スクール・アカデミー
VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB
NPO法人GranArbolスポーツクラブ
Club Atletico AICHI
九番団地子供サッカー教室
しあわせの食卓プロジェクト
ストリートサッカー
特定非営利活動法人JOANスポーツクラブ
豊田電神FC1977
positivo FC
Luciro Football Club
ワイヴァンフットボールクラブ

三重県

七里御浜FC
ベルナサッカークラブ

岐阜県

IGSユニバーサルスポーツクラブ
糸貫サッカー少年団
FCプログレッシブ
岐阜サッカースポーツ少年団

滋賀県

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB
ROSA SHIGA

京都府

AC.gloria

大阪府

アイリスFC住吉
NPO法人 吹田南フットボールクラブ
NPO法人八尾大正スポーツクラブ
J Brave Football Club
HalfTime
枚方フットボールクラブ
北摂ユナイテッド

兵庫県

あかしユニバーサルフットボール連盟
一般社団法人 オープンゲート スポーツクラブ
一般社団法人 スポーツアカデミー ロヴェスト神戸
ウエルネス

但馬知的障がい者サッカー連盟
チャレンジドサッカーサークル神戸
特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ
HYOGO CHANCEN SV

奈良県

特定非営利活動法人奈良クラブ

鳥根県

松江FCだんだん

岡山県

すこうSC
玉野Divell

広島県

A-pfeile広島
熊野サッカースポーツ少年団
JOYFOOT
広島市室内サッカー

香川県

キッズフィールド

徳島県

アレックス サッカースクール
藍住西FCスポーツ少年団
Fun FC

福岡県

エスベロ直方
つばさアカデミア・サッカースクール
特定非営利活動法人 春日イーグルス
VAMOS福岡FC

佐賀県

ソルニエニョFC

長崎県

よこおスポーツクラブ ゴラッソ横尾

熊本県

アルエット熊本フットボールクラブ
NPO法人スポーツクラブ・エスبرانサ熊本
ソルサフガール

大分県

特定非営利活動法人カティオーラ

宮崎県

一般社団法人蹴-1協会
妻北サッカースポーツ少年団
テゲバジャーロ宮崎
ブライズFC

鹿児島県

武岡フットボールクラブ
向花サッカースポーツ少年団
山口・九州ろう者サッカー協会

沖縄県

一般社団法人サンピスカス沖縄

2017年度の全体



JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度の3つのテーマ

引退なし



補欠ゼロ

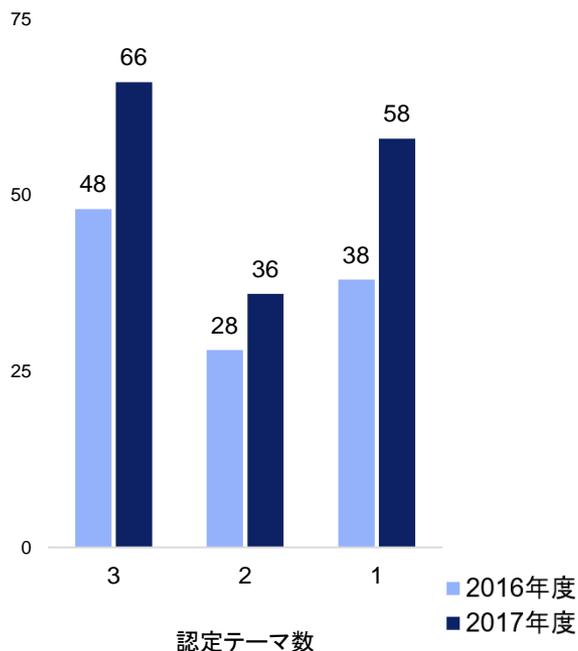


障がい者サッカー

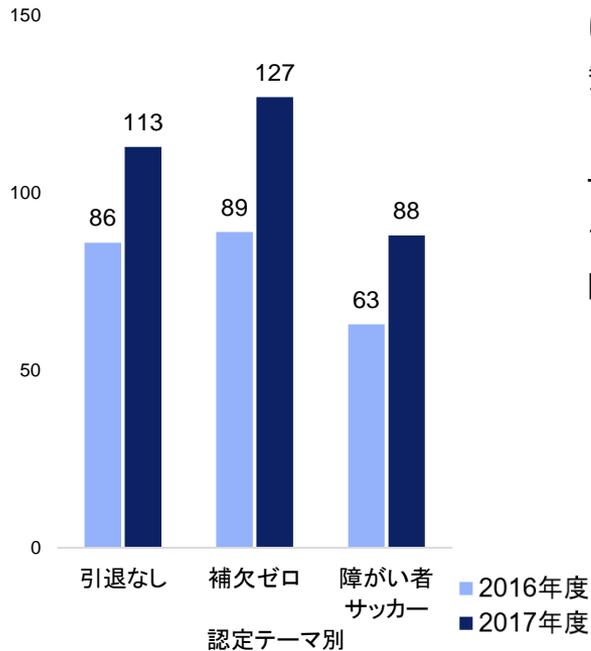


2017年度は、160団体がJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーとして認定され、2016年度の114団体から46団体増えました。

認定テーマ数別 団体数



認定テーマ別 団体数



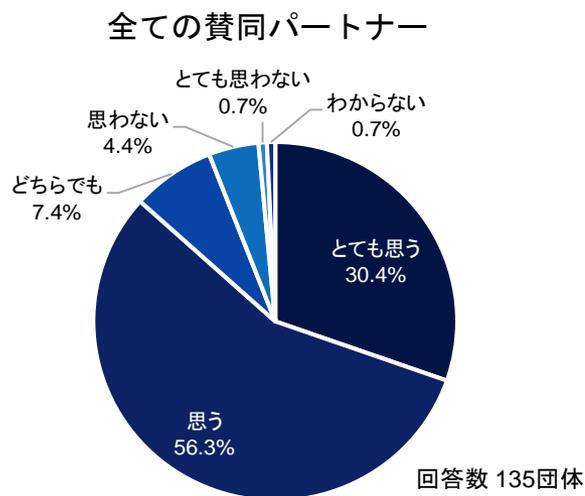
掲げられている3つのテーマ全てに認定された賛同パートナーは、66団体(41%)となりました。2つのテーマに認定された賛同パートナーは36団体(23%)、1つのテーマに認定された賛同パートナーは58団体(36%)です。

テーマ別における団体数は、『補欠ゼロ』が127団体と最も多く、『引退なし』が113団体、『障がい者サッカー』が88団体となりました。

2017年度の全体

賛同パートナーの活動報告アンケート

当初の活動目標を達成できたと思う

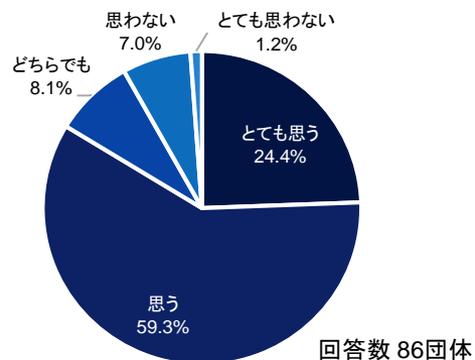


左のグラフは、2017年度末までにJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに認定された賛同パートナーの活動報告アンケート結果です。

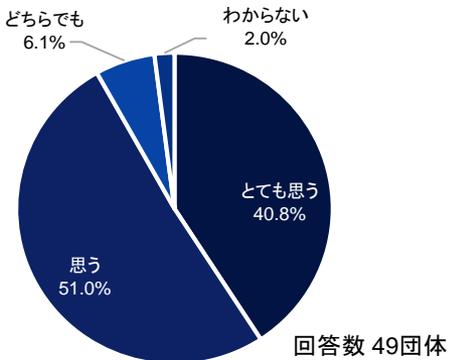
賛同パートナーになり、「当初の活動目標を達成できたかどうか」を質問した結果、全体として、85.2%の賛同パートナーが「活動目標を達成できたと思う」と回答しました。

更に、認定された時期別に分けて分析した結果、2016年度に認定された賛同パートナーは83.7%が、2017年度に認定されたのは91.8%が「活動目標を達成できたと思う」と回答しました。

2016年度に認定された団体



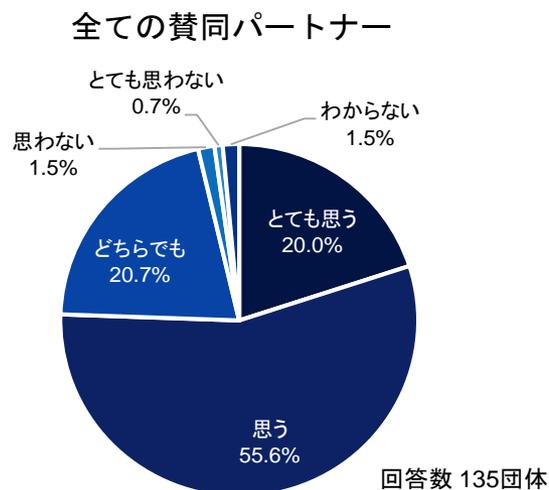
2017年度に認定された賛同パートナー



2017年度の全体

賛同パートナーの活動報告アンケート

賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったと思う

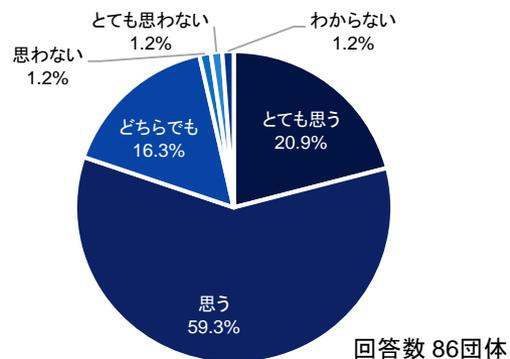


左のグラフは、2017年度末までにJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに認定された賛同パートナーの活動報告アンケート結果です。

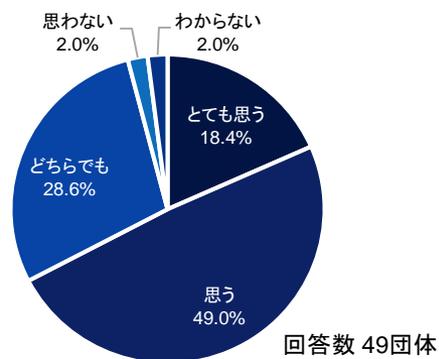
賛同パートナーになり、団体の活動充実につながったかどうかを質問した結果、全体として、75.6%の団体が「活動充実につながったと思う」と回答しました。

更に、認定された時期別に分けて分析した結果、2016年度に認定された賛同パートナーは80.2%が、2017年度に認定された賛同パートナーは67.4%が「活動充実につながったと思う」と回答しました。

2016年度に認定された賛同パートナー



2017年度に認定された賛同パートナー



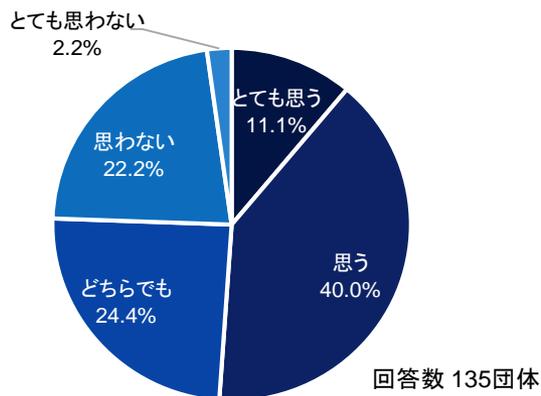
2017年度の全体



賛同パートナーの活動報告アンケート

グラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透していると思う

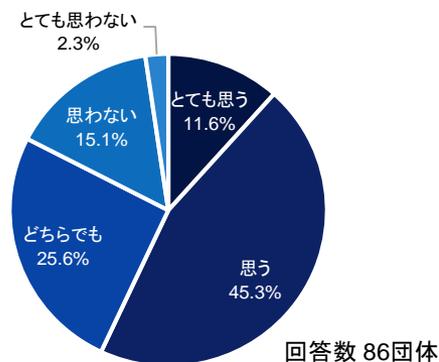
全ての賛同パートナー



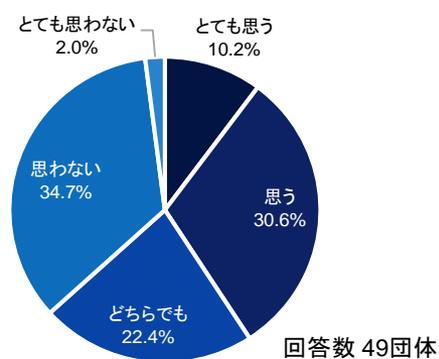
左のグラフは、2017年度末までにJFAグラスルーツ推進・賛同パートナーに認定された賛同パートナーの活動報告アンケート結果です。

団体の活動をととしてグラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透しているかどうかを質問した結果、51.1%が「浸透している」と回答しました。更に、認定された時期別に分けて分析した結果、2016年度に認定された賛同パートナーは56.9%が、2017年度に認定された賛同パートナーは40.8%が「浸透している」と回答しました。

2016年度に認定された賛同パートナー



2017年度に認定された賛同パートナー



テーマ別 活動紹介(引退なし)

広島市室内サッカー(広島県広島市)



©広島市室内サッカー

認定テーマ	引退なし
活動概要	バビーサッカー
活動内容	<p>広島市室内サッカーは、年齢や性別、レベルや経験でプレーする場所が少ない方に、少しでも気楽に参加出来るプレー環境を提供するべく、室内ミニサッカー「バビーサッカー」を行っています。バビーサッカーには、怪我無く、精神的にもガクリしない様に配慮を行い、「今までも、これからも、楽しくプレーを続けたい」と感じていただく狙いがあります。その狙いのもと、プレー中に個々の年齢や能力によって大きな差が生まれないように、コートサイズや人数、プレー時間、道具を調整し、特に年齢の高い方や初心者の方、女性の方にも身体的、精神的な負担が少なくなるような工夫がなされています。</p> <p>忙しい毎日の良い気分転換になる遊びのサッカーでもあり、サッカー初心者から経験者まで10～50代までの男女が集まり、普段の生活ではあまり接することのない年代の方同士が、サッカーを1つのツールとして、楽しんでます。</p>

VIVA ENJOY FOOTBALL(新潟県三条市)



認定テーマ	引退なし
活動概要	親子サッカー、企業対抗戦
活動内容	<p>VIVA ENJOY FOOTBALLは、毎週末に親子参加型のゲームを開催しています。1期目は同じメンバーで継続的に活動し、そのメンバーの中には、チームの中心選手になった子、サッカー以外のスポーツを選んだ子、チームを作ったママさんなどがいました。約1年間の活動が終わり、メンバーが解散した後も、その親子たちは別の場所を借りて親子サッカーを継続しています。現在は、2期目として、新しくメンバーを募集し、「親子サッカーから始めてもらうことでサッカーが好きになり、どこかのチームに所属する」流れを作るべく活動を継続しています。</p> <p>活動は親子サッカーに留まらず、企業の従業員を対象にした活動にも取り組んでいます。それぞれの企業で20～40代の方を中心にチームを作り、真剣勝負の場が作られました。各チームの選手たちは、普段は仕事関係での付き合いですが、サッカーを通して、チームワークの良さを活かしてプレーしたり、お互いに違った発見などをすることができました。</p>

テーマ別 活動紹介(引退なし)

アレックスサッカースクール(徳島県徳島市)



©AlexSS

認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ
活動概要	親子サッカー
活動内容	アレックスサッカースクールは、子ども達が取り組んでいるサッカーを保護者や家族全員にも体験していただくことを目的として、毎年「親子サッカー」を行っています。親子一緒にサッカーをすることで、手を使うことのできないサッカーという難しい競技の取り組みを共有し、親子のコミュニケーションのきっかけを作ったり、楽しい時間を過ごしています。 また、親子サッカーだけでなく、卒団後もサッカーに関われるようOB同窓会を開催したり、ママさんサッカー教室も行っていきます。だれもが、いつでも、サッカーを楽しめるような環境づくりに取り組んでいます。

FC東京(東京都江東区)



認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	女子サッカー交流会
活動内容	FC東京は「試合の楽しさを感じてもらうこと」「同じスポーツを楽しむ仲間の輪が広がっていくこと」「互いの活動を知ることで、活動機会が増えていくこと」を目指して「女子サッカー交流会」を開催しました。 交流会は、普段、女子だけではなかなか試合を行う人数が集まらないグループや、試合機会の少ない女子選手たちが定期的集まって活動しています。 ある日の交流会では、男子に混じって学校のサッカー部で活動している女子選手、女性向けのサッカースクールに参加している人たち、スクールのOGや親子での参加など幅広い世代が集まりました。 FC東京は、それぞれが自身の目的や能力に応じてスポーツ・サッカーを楽しむ「場」、巣立って行った子ども達や生活環境の変化で一度離れた人たちが戻ってこられる「場」、そんな誰もがずっとスポーツ・サッカーを楽しむことができる「場」を、地域の人たちと協力しながらつくっていきます。

テーマ別 活動紹介(補欠ゼロ)

見附小学校サッカークラブ(新潟県見附市)



認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	「補欠ゼロ 僕が主役！」の大会
活動内容	見附小学校サッカークラブは、「補欠ゼロ！僕が私が主役！」をテーマに、「見附サッカーフェスティバル大会」を開催しました。本大会には、小学生1年生から小学校6年生までと全学年100人と選手の保護者30人が参加しました。全11チームを2つにわけて、総当たりのリーグ戦形式で、全選手が参加するようにしています。「本大会の『全選手が参加する』コンセプトのお陰で、全員を試合に出すことができる」と近隣クラブのコーチから感謝の言葉がたくさん届けられます。本大会では、ある男の子がMVPを受賞しました。彼は普段の練習でもゴールを決められず、本大会では勝つこともできず無得点でしたが、最後の試合の終了間際に諦めずにプレーしたことで、ゴールを決めました。上手い下手に関係なく、一生懸命にサッカーに取り組む姿勢を見ることができるのが、本大会の特徴であり、全選手が貴重な経験を積むことができます。

NPO法人サルバトーレ櫛引(山形県鶴岡市)



認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	サッカーができなくなった選手を招待して交流大会
活動内容	世の中には、東日本大震災で被災された地域の小学生チームや様々な要因で外でサッカーができなくなった選手がたくさんいます。サルバトーレ櫛引は、サッカーができなくなった選手たちを招待し、再びサッカーができるように「東日本大震災復興支援プロジェクトジュニアサッカー交流大会」を開催しました。2日間にわたって開催され、参加者は160人と多くの人が集まりました。本大会では、勝敗をつけず、全選手が試合に出られるようにしています。大震災が発生して約6年経た現在は、被災された地域でも徐々に不自由なくサッカーができるようになりましたが、2012年から続いている本大会は、選手のレベル向上、県外チームとの交流の場、そして補欠に関係なく全選手が楽しめる大会として、継続しています。

テーマ別 活動紹介(補欠ゼロ)

NPO港北フットボールクラブ(神奈川県横浜市)



認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	子どもの成長に合わせた指導
活動内容	<p>港北フットボールクラブは、能力に関わらず、全選手を出場させるクラブチームです。港北フットボールクラブでは、小学校3年生までは、練習試合だけで、公式戦に出場することはありません。その理由は、10分ハーフなど短い時間で試合が行われ、運動能力の差によって試合結果が反映されてしまいがちで、試合経験を積める子どもに限られてしまうためです。</p> <p>代表者は、「良い指導者とは、子どもたちの能力を伸ばすことのできる人」と考えており、全選手を出場させつつ、試合経験を積み重ねている。そして、子ども達には、「自分のできることを全力でやるのが大事」と伝えています。</p> <p>この指導方針や段階を踏んだ指導によって、小学校4年生では歯が立たなかった強豪クラブに、小学校6年生の頃には良い勝負ができるようになります。</p> <p>サッカーを生涯スポーツの視点で捉えている港北フットボールクラブの代表者は、ジュニア年代から一人でも多くのサッカー好きを育てられるように日々指導をしています。</p>

一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブ(千葉県市川市)



認定テーマ	補欠ゼロ
活動概要	選手・指導者全員による交流と意見交換
活動内容	<p>行徳スワローアカデミアクラブは、全選手が試合に出場する環境を作り上げたフェスティバルを開催しました。フェスティバルでは、各地から招待された小学生チーム全選手が、状態の良い天然芝4面のピッチで、2日間にわたって終日繰り返された25分1本の試合に出場しました。</p> <p>終日、全選手が徹底して「サッカー」をすることで、子ども達は伸び伸びとプレーするようになりました。特に、試合を重ねる度に、コーチ達の指示ではなく、子ども達自身でどのようにプレーするかを考えられるようになることもありました。</p> <p>指導者としても各地から集まった方と普段抱えている悩みである「ゲームに対する選手の起用方法や子供に対する声の掛け方」について意見交換をしたり、子ども達の育成について学び直す機会にもなりました。</p> <p>このように、選手も指導者もお互いに成長するフェスティバルが続けられています。</p>

テーマ別 活動紹介(障がい者サッカー)

清水エスパルス(静岡県清水市)



©S-PULSE

横浜F・マリノス(神奈川県横浜市)



©1992 Y.MARINOS

認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	障がい者サッカー教室、体験会
活動内容	<p>清水エスパルスは、国内に留まらず、海外でも障がい者サッカー教室を行っています。</p> <p>2017年10月に台北市にある特別学級と特別支援学校の生徒30人とボランティアの大学生を対象にサッカー教室を行いました。ボランティアの大学生は障害のある生徒との関わり方を学んだ後、障害のある生徒30人とペアを組んで、サッカー教室を行いました。サッカーを通して関わることで、健常者にとって障がいのある人との関わりなどを学んだ機会となりました。また、数多くのサポーターがいる強みをもつ本団体は、ホームゲームの前にサポーターの方々を対象に、アンプティサッカー体験会を行いました。体験会では、クラッチを使つての走り方から始まり、パスやシュートの練習をし、最後に試合を行いました。</p> <p>様々な体験会を実施している清水エスパルスは、人々にサッカーというスポーツの奥深さを感じてもらおうとともに、サッカーを通して人々が笑顔になる機会を作り続けています。</p>

認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	障がい者サッカーの普及・強化活動
活動内容	<p>横浜F・マリノスは、障がいのある方々が気軽にサッカーを楽しめる環境を目指し様々な活動を行っています。</p> <p>2004年に創設したJリーグ初となる知的障がい者サッカーチーム「フトゥーロ(スペイン語で未来)」は、現在約80名の選手が在籍し、社会人リーグや様々な大会に出場しています。サッカーだけでなくボランティア等を通じ、より積極的な社会参加を応援しています。また、電動車椅子サッカー大会「横浜F・マリノスカップ」を開催し、大会を通して多くの方々に電動車椅子サッカーの魅力を伝えると共に、選手としての更なる成長及び競技の普及・育成を目指しています。本大会は、準備段階から電動車椅子サッカー選手、スタッフ、関係者が一丸となって作り上げています。</p> <p>これからも横浜F・マリノスは障害のある方々がサッカーを通じて仲間とふれあい、そして楽しむことで社会とのつながりを実感すると共に、地域社会の障がい者スポーツに対する理解や関心が深まることを目指し、活動を行っていきます。</p>

テーマ別 活動紹介(障がい者サッカー)

一般社団法人リコプエンテ スクール・アカデミー(愛知県豊橋市)



認定テーマ	引退なし、補欠ゼロ、障がい者サッカー
活動概要	For ライフサッカー大会
活動内容	リコプエンテ スクール・アカデミーには、生活介護利用者や放課後等デイサービス利用者、そして子どもから大人まで幅広い年齢層が参加する大会を行っています。 本大会では、知的障がいを持っている方が通う障がい福祉サービス事業所「for ライフ」の運動療法が取り入れられています。知的障がいのある方は、身体を動かす機会が少なく、ストレスをためやすい現状があります。そのため、運動療法としてサッカーを取り入れることで、ストレスの発散をすることができます。また、それだけでなく、新陳代謝の向上、生活リズムを整え、昼夜逆転を防ぐことができます。ルールの理解、技術向上などは、理解度が低いいため時間はかかりますが、サッカーに取り組むことによって、各々の成長を促すこともできます。そのねらいのもと、本大会では、ドリブルシュートからエキシビジョンマッチまで個人の取組みからチームの取組みまで、幅広いメニューが行われました。

NPO法人ビッグイシュー基金(東京都新宿区)



認定テーマ	障がい者サッカー
活動概要	ダイバーシティカップ4
活動内容	ビッグイシュー基金は、ホームレスの人たちが自立し、社会に復帰できるようにするサポート事業を行っており、その中でホームレスサッカーの活動をしています。また、ホームレスだけでなく、若年無業者、うつ病、LGBT、ひきこもり、障害者など様々な方がサッカーに参加できる機会を作っています。 「ダイバーシティカップ4」では、ホームレスだけでなく、引きこもり経験者、福島の被災地にいる方、ギャンブル依存の回復施設などから約200人が参加しました。対人関係や失敗を恐れるうつ病の方は、本イベントを通して、他参加者と積極的に交流したり、チャレンジするなど、サッカー以外の部分で目標を持って取り組むことができました。他に、元々ホームレスでしたが、ビッグイシュー基金を通して無事に社会復帰をした方も参加し、他の参加者に勇気を与えました。本イベントでは、多様な背景をもつ方々が集まり、更に人々の輪が広がる機会となりました。

メディアパートナーの掲載実績



サカイク

JFAは、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度 メディアパートナーとして、ジュニアサッカーの保護者向け情報サイト「サカイク」等を運営する株式会社イースリーと契約を締結しました。現在、「サカイク」に、賛同パートナーの活動記事が定期的に掲載されています。

※メディアパートナー：賛同パートナー制度で掲げている「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者サッカー」の3つのテーマの活動を発信していくパートナー

掲載日	取材先	タイトル
2017年 4月 7日	NPO法人 幕総クラブ	「子どもたちが実践経験を積むために」進級時に部活かクラブユースを選べる仕組みを作った公立高校
2017年 4月10日	〃	もう一つの選択肢としての「学校が絡むクラブ」が、出場機会と成長を与えてくれる
2017年 5月 9日	特定非営利活動法人 港北フットボールクラブ	「勝つために運動能力の高い子を優先するのは育成の本質ではない」港北FC永井監督のぶれない信念
2017年 5月25日	〃	「生涯サッカーに寄り添う人間を増やす」その第一歩であるジュニア年代の育成は楽しさを教えることが大切
2017年 6月 5日	公田SC	「上手い子たちだけを集めて試合に勝ったとしても、全然嬉しくない」補欠ゼロを体現する公田SC
2017年 6月29日	〃	補欠ゼロを実践する公田SCの代表が語る「地域クラブだからこそ、やるべき使命」とは
2017年 7月11日	NPO法人浦和スポーツクラブ	「ここは子どもたちの遊び場」浦和レッズの下部組織だったクラブが理念を曲げない理由
2017年 7月25日	〃	親子三代でプレーするイベントも！「引退なし」を掲げる総合型クラブの理想は「卒業のない学校」
2017年 8月 9日	札幌中央FC	「プロ100人よりサッカーで輝く社会人100人を育てたい」勝利至上主義だった監督が目を覚ました子どもたちの言葉とは
2017年 8月28日	〃	「できること、できないこと」を理解してフォロー 積極的に障がいのある子とサッカーを楽しむ札幌中央FC
2017年 9月20日	千代田区サッカー協会	グラウンド確保に苦しむサッカー協会が模索する みんなが楽しめる工夫とは
2017年 9月26日	〃	FC千代田が提供する、部活でもクラブチームでもない「サッカーをする場所」とは
2017年10月19日	見附小学校サッカークラブ	身長や上手さに関係なくチャンスを平等に。「補欠ゼロ」実現のためにクラブを立ち上げた指導者
2017年10月31日	〃	大人になって得る2つの「かち」のために... 見附小学校SCが結果より大事にしていること
2017年11月14日	蹴球団藤岡キッカーズ	中学生年代も『補欠ゼロ』を推奨 不断の努力で地域唯一のクラブチームとして認められた藤岡キッカーズが描く展望
2017年12月14日	〃	第一線から退いてもサッカーができる「受け皿」に。地域クラブ・藤岡キッカーズが目指す誰でもプレーできる環境づくり
2018年 2月13日	番外編	サッカーで目指す、障がいの有無を超え一緒に楽しむ共生社会の実現① ～グラスルーツ推進番外編～
2018年 2月27日	番外編	サッカーで目指す、障がいの有無を超え一緒に楽しむ共生社会の実現② ～グラスルーツ推進番外編～
2018年 3月 8日	東京都市大学付属高校フットサル部	サッカー未経験でも夢中になれる。試合に出られる楽しさから生徒が主体的に取り組むようになった高校フットサル部
2018年 3月27日	〃	40%が初心者でも戦術で対抗できる！ 楽しんで続けられ、競技志向ではない生徒の受け皿にもなる部活とは

グラスルーツ推進の課題

※課題は一部抜粋



グラスルーツ推進にあたって抱えている課題を質問した結果、多くの回答が寄せられました。その課題は「啓発不足」「勝利至上主義」「資金不足」「人材不足」「施設不足」の5つに大きく分けられます。

啓発不足

グラスルーツ推進の考えが一般レベルにまで浸透していません。そのため、団体のグラスルーツ推進活動に制限がかかってしまう場合があります。

課題
たくさんの人に知ってもらえるような発信が必要
もっともっと周知させていくためのイベントの開催が必要だと思います。
一般への普及啓発。リーグのチームとの連携。
現在、クラブは活動を休止していますが、スタッフが小学校勤務になったためシーズンスポーツとして活動を復活させる計画があります。そのためには、小学校内外へのプロモーションが必要であり、グラスルーツ宣言の内容は多くの人々にスポーツの門戸を開く素晴らしいものであるため是非活用したいと考えていますが、そのプロモーションに時間を割くことがどれくらいできるかが、課題となっています。
障がい者サッカーをはじめとした、このような活動がまだまだ認知されていないのが課題だと思います。
補欠なしの良さを周囲に発信出来ていない。
サッカーを始める機会づくりをさらに拡げるために、グラウンドだけでなく、発信基地を設営する計画を準備中です。サッカーの進路相談、食事や身体のケア、選手との交流などを体感できる、サッカーショップになる予定です。
チームで、賛同していても、末端のコーチに届いていないところもあると思う！
受け入れられる人数に限りがある為、新規で活動に参加して頂く為の告知の仕方に課題があります。先着での定員設定の為、折角やる気になった子ども・障がい者の方を定員で受け入れをお断りしなければいけないケースが年々増えています。
宣言したからといって、特に周囲からは何もありません。(宣伝効果が小さい)
グラスルーツ(草の根運動)という言葉は、まだまだ一般に浸透していない、グラスルーツ運動を社会に発信してもらいたい。僕らは常に発信しています。
グラスルーツって言葉がサッカー界においてまだまだ浸透していないように感じます。イベントをする際に掲出できる横断幕(チーム名入り)などがあるとSNSなどで拡散しやすいのではないのでしょうか？
グラスルーツとは何なのか...しっかりと学び発信していかなければならないとあらためて感じています。まだまだ、浸透できていないと感じていますので、多くの人を巻き込みながら、さらなる地道な活動ができればと思います。
グラスルーツの根本は「考え方」であり、単なるスポット的なイベントだけにとらわれず、通年を通した取り組みをどうチーム内に浸透させ、実践し、普及させていくかが重要だと思います。
ピリオド制、登録選手全員出場など、補欠ゼロとなるような規程を作ることができるが、実施している大会があまりにも少ない。
参加できる大会が少ない。趣旨を共有できるチームも少ないため、試合数も限られる。
殆どの団体やご関係の方は活動にある一定の評価、賛同をいただいているのですが、県や市の一部の方は当団体のネガティブな意見告知を広めている一部役員がおり、活動に支障をきたしており非常に迷惑をしています。このことは設立当初より続いており県協会にも相談しましたが一向に改善されておられません。
あまり付加価値がないので、着目されていません。
ウォーキング・フットボール自体の認知度がまだ低いので、体験会の開催や参加者の募集に苦労しています。
取得して2年ほど経ちますが、まだ知らない方が多いこと
周囲に伝える際に、伝え方がしっかりできないと、反対にこちらに裏や変な意図があるのではないかと勘繰られてしまう事があった。無用な勘違いやトラブルを避けるためにも、JFAグラスルーツ推進・協力団体の認定制というのは、とても意義のある事だと感じている。
当クラブスタッフは活動には賛同し、協力していますが、他クラブスタッフや保護者にはまだ理解を得られていないと感じています。
年々参加されている方が偏ってきているので、もっとしられていない方にどうお知らせしていけばいいか。
中学生年代の女子サッカー普及活動がまだまだ認知されていない。チームで中学校部活動との連携強化の努力が必要と感じている。

グラスルーツ推進の課題

※課題は一部抜粋



勝利至上主義

全員を試合に出場させているにも関わらず、保護者や他チームは勝利至上主義の考えが強く、選手全員を試合に出場させることに反感を持たれたりするため、試合の経験を積ませることが難しい状況があります。

課題
当園、当大会では感じられませんが、他市他団体の幼児サッカー大会では、勝つことが名声につながり、それが園児獲得につながる大きなPRとなるため、幼児期の心身の発達過程を無視したサッカーが行われています。勝ち負けにこだわるあまり、試合に出してもらえない子どもが存在したり、『バカヤロウ』『足ひっかけろ!』『なんであの子を出したんだ!』などと、保護者の野次(最悪は保育者も)がひどいと聞きます。当然、保育の質の低下につながり、幼児期の重要な発達にも少なからず影響があるものと思われます。何よりも、少子化著しい地方にあって、幼児サッカーが園児獲得のための商業的ツールの一つになっていること。その間で、本来子どもらしい発達を辿るべき姿がこの次になって保育が行われていることに同業者として心が痛みます。
勝ち負けのこだわる父兄があるので理解いただくのに時間がかかる
勝つことを目的としているチームが多いので、「みんなPlay」はなかなか浸透しません。スポーツであるために勝つのは当然なのでしょうが、考え方を根本から変える指導者が集まらないと進まない課題ですね。
自クラブは全員出場を行っているが、地域全体には浸透してない。常に同じプレーヤーが先発して交代もほとんどないチームがまだまだ多い。指導者、大人の考え方を変えないといけない。
チャンピオンを決める大会の多さ。経験を積む場の少なさ。
『みんなプレー』についてです。地区協会からは、できる限り参加した選手全員に試合出場機会を与えるようにと言われています。しかし、次に繋がるような大会の場合、選手育成というよりもチームの勝利を優先しているチームがあるのが現実だと思います。浸透はまだです。
よその周りのチームの大概は、指導者も保護者の方々も勝敗を重視しているため、なかなか普及や育成のための方針や活動の重要性に理解を得られない。
競技志向の児童と、エンジョイを望む児童をチーム内で共存させるため、大会などの公式戦と同じ数の練習試合を組んで、どちらも楽しめるようにしておりますが、保護者の一部は、自分の子供をエンジョイ派とっていないらしく、チーム分け(AB分け)の時に、不満を持たれている方もおります。もちろん、エンジョイ派の児童を競技志向へ導くこともコーチ陣の役目ですが、もともと勝ち負けに拘らない児童もいますので、そのバランスを保つことが難しい状況です。
指導者間、チーム間で指導目的や指導スキルに大きな差があるので、なかなか地域で意思統一が図れない。勝てばよし、勝つ事に価値を見出す指導者が地域に多い中で賛同者を得るのに苦労する。
若年層からの勝利至上主義の見直しに尽きると思います。
勝ちたいだけのチームからうちのようなチームを見られたとき、「あのチームは試合に勝てないから他の特色を出そうとしてああい取り組みをしている」ということを言われる。あまりにも怒りを超えて、閉塞的な考えを持つ地域性など、残念に思った。
認定証を頂き嬉しく後援会(保護者父兄)に報告したのですが反応がまだ薄く残念な思いでした。我々がもっと意義を説明浸透させなければと思っています。我がチームでは少ないですが勝利至上主義の考えも強いと思います。生涯スポーツとしての働きかけ地域でしか出来ない事を協会も押し進めているような冊子を配布又は循環教室などが出来ると、我々の日々話していることに真実味が出るとおもいます。
比較的、20~30代のコーチ兼選手の方は、勝ちにこだわる部分が強いため、あまりうまくできない選手は、そこにギャップを感じてしまい、ドロップアウトをしてしまう。

資金不足

資金が足りないため、チーム運営やイベント開催などの幅広い活動に困難を抱えています。

課題
CPサッカー(脳性まひ者7人制サッカー)は体験会ができにくいので、きっかけとして友人のサッカーコーチを講師に招いてイベントを行うなどが多い。それだけではダメだと分かっているが、やはり単独ではインパクトが弱く。。資金がかかるのが悩みです。
もう少し予算があればいろんな活動の幅が広がると考えています。
より広い年齢層やより多くのスポーツを楽しむ環境の整備はより資金が必要になる(JFA補助金の創設を希望する)
活動場所の確保や運営費用の問題。多く人に参加をして欲しいという観点で参加者への費用負担などは最低限にしたいが、運営費の問題はある
障害のある方、女性、高齢の方など、誰でも参加できるという交流を目的としたフットボールの交流できる場はまだ多くはありません。また中核的なスタッフの確保、会場の確保、クラブチームの運営資金の課題などがあげられます。地域に密着しニーズを丁寧に聞き取り形に結び付けるにはまだまだ多くの労力が必要です。
「人材と資金の不足」
海外遠征、リーグ戦運営には多くの人材と資金が必要です。関係団体の協力により活動はなんとか継続していますが、まだまだ人材と資金が必要です。
ホームレス支援の一部としてのサッカーだった活動が、サッカーを主軸にした活動へ変化しているため、まだ活動の母体が人手、資金共に不安定であること。
ボランティア主体なので継続性が常に課題となる。ボランティアの人材確保、経費面など。

グラスルーツ推進の課題

※課題は一部抜粋



人材不足

選手や指導者、ボランティアスタッフなども不足し、継続的なチーム活動が難しくなっています。

課題
選手の試合出場確保できる環境づくりと、指導者の指導法の質向上
スクール・チーム活動と並行してイベントなどで行うための指導者が不足している。
スケジュールの問題があります。少ない指導者で運営している中、地区トレセン活動、各種大会等への運営動員、他試合等でスケジュールが埋まっており、新たな活動を実施する余裕がありません。
指導者の数が不足しており、多くの選手に目が行き届かない時も発生している。OBが関わる機会を増やして、指導者の確保をしていきたいがなかなか進まない現状もある。
障害児サッカーの経験があるコーチが、絶対的に不足しています。参加したいと思う子どもも達も、安全面のことを考えると、受け入れを躊躇してしまいます。
常に新たな活動を生み出すのは難しいが、継続して実施している活動の質を高めるための環境整備が追いつかない。指導者の数や運営の数。
日々の活動に従事する指導者の数、専任スタッフの不在
練習参加率が低い、メンバーが増えない、メンバーが減る。まだまだ地域的な関係もあるが、障がい者サッカーについての認識が広がっていないと感じる。また我々チームとしての課題であるが、小学生低学年から40才オーバーのメンバーがいて年齢層が幅広い良いこともある一方、人数が少ないこともあり、トレーニングする際のメニューが必ずしも年齢にあった形で出来ていないことや専門的なコーチが不在であることなどが上げられる。
解決策の良し悪しは、「問題」の特定力・設定力によるところが大きいと私たちは考えております。そして、「問題」が何であるのか、どんな構造になっているのかをできる限り適切に把握するために、これからも現場に足を運び、私たちが得意とする観察手法やデザイン思考を使いながら、課題解決をしていけたらと思っております。(サッカーやスポーツに携わる方々やこの分野全体の課題として挙げるとしますと、スポーツの分野には、他の様々な業界・分野(例えばIT、マーケティングなど)では当たり前に行われている、対象者を理解する「観察」や、それを表したり共有する「ユーザー定義」の仕方、そのユーザーに与えたい理想的な体験を描き出す「体験設計」といったことをお仕事のレベルで行ったことがある方が少ないような気がしております、もしかするとそこが課題なのかもしれません。)
子供が少なく参加者がまばらになってきた。
女の子が現在4人いますが中学にはサッカー部が無いのでどうなるのか……
ホームレス支援の一部としてのサッカーだった活動が、サッカーを主軸にした活動へ変化しているため、まだ活動の母体が人手、資金共に不安定であること。
ボランティア主体なので継続性が常に課題となる。ボランティアの人材確保、経費面など。

施設不足

サッカーができる場所が少ないため、試合や練習の実施、大会の開催をするための場所の確保や日程調整が困難です。

課題
4種リーグ戦のため各チームが参加できる日程調整や会場使用申請が難しくなった。加えて、試合のできる人数が組めないチームも多くなってきています。一つのチームに多くの選手が集まる傾向になってきていると感じます。
U-18大会においては出場希望のチーム増が顕著で、会場(体育館)確保が問題となっています。
グラウンドが行政の思い次第になってしまう。
サッカーグラウンドが少ないため、練習が気軽にできない。
より良い環境(芝生)での実施。小学生の高学年になると試合数の増加により、日程調整が難しい。どのように大人(保護者)を巻き込んでいくか。
障がい者のサッカーは場所の確保が難しい。
活動場所の確保や運営費用の問題。多く人に参加をして欲しいという観点で参加者への費用負担などは最低限にしたいが、運営費の問題はある
幼児のサッカー大会を企画する際の課題は、グラウンドの手配が難しいことにあります。管理者側の設定したルールに則って、予約開始日に申し込みに伺っても、すでに市のイベントや市職員関係の運動部、あるいは、老人関係のバタールゴルフが優先されて、幼児サッカーへ理解が乏しく門戸が狭いこと。
"生涯スポーツ"としてのサッカーの活動を充実させるには、現状の女性の参加にとどまらず、男性のシニアチームの発足も視野に入れた方が良く考えておりますが、活動場所の確保やスタッフの増員等の問題をどうクリアしていくかが今後の課題です。
障害のある方、女性、高齢の方など、誰でも参加できるという交流を目的としたフットボールの交流できる場はまだ多くはありません。また中核的なスタッフの確保、会場の確保、クラブチームの運営資金の課題などがあげられます。地域に密着しニーズを丁寧に聞き取り形に結び付けるにはまだまだ多くの労力が必要です。大阪府サッカー協会は意欲的に障害者サッカーの支援を継続しただけではないため、今後も連携していきたいです。
新たな取組にむけた会場確保と関連組織との調整の難しさ

日頃から、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度にご協力いただいている皆様に、心より感謝申し上げます。
JFAグラスルーツ推進・賛同パートナー制度を初めて2年目となった2017年度は、46団体が新たに賛同パートナーとして加わり、2年間で160団体が賛同パートナーに認定されました。

135団体からのアンケートを集計した結果、107団体が「当初の活動目標を達成できた」、102団体が「団体の活動充実に繋がった」、69団体が「グラスルーツ宣言の趣旨が周囲に浸透している」という回答でした。本制度が認定団体の活動に少なからず貢献できたことを嬉しく思います。

しかし、その一方でグラスルーツ推進活動を行う上での課題も多くいただきました。多くの団体において、ヒト・モノ・カネの重要なリソースが不足していることがわかりました。これらが不足している要因は様々ですが、前段として、グラスルーツ推進の考えが浸透していないことが挙げられます。今後は、啓発力を更に強化し、グラスルーツ推進の考えを地域に浸透させていくことで、賛同パートナーの皆様がこれまでよりも活動しやすくなるように努めていきたいと考えています。

2016度の活動報告書にて、他の賛同パートナーとの交流を深めたり、情報交換をしたい要望が多く届けられました。日本サッカー協会は、その要望に応えるべく、2018年5月20日にJFAハウスにて、JFAグラスルーツ推進・賛同パートナーカンファレンスを開催しました。本カンファレンスでは、各テーマの好事例発表やグラスルーツの実現に向けてのグループディスカッションを行いました。また、懇親会や休憩時間に参加者同士での積極的な情報交換が行われました。このような活動を継続すると共に、皆様の課題や要望に目を向け、グラスルーツサッカーの環境改善を推進して参ります。



football for all



各団体2017年度活動報告

引退なし 活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道札幌市)

①(卒業生の積極的な受け入れ)

期間:通年

場所:クラブ練習会場

対象:部活動やクラブに入らなかった、または事情で退団した卒業生男女
参加者数:3~4名

内容:小学校生活で積極的にプレーを続けたが、進路先の中学校に部活動がなかったり、部活動やクラブに一度入部したがその後馴染めずに退団した選手を積極的に声を掛けて、縦割活動の延長として積極的にクラブの練習と呼び、下級生の面倒をみながら競技からできるだけ切り離さないように関わりを持たせる。この中から今年度は活動がきっかけで中学3年間チームに所属はできなかったが、フリーグエスポラダ北海道のスクールに3年間通い続けた女子選手が高校受験時に特待扱いで進路を決め、入学前から練習に参加し高校女子サッカーで活動し始めた。

②(保護者を変えた大人のサッカーの活動)

期間:通年(毎月1回程度)

場所:クラブ練習会場(体育館)

対象:在籍選手保護者、卒業生

参加者数:15~20人程度

内容:チーム活動も6年を迎え、だんだんと選手数も増える中、保護者の中に温度差が出来るようになった。過剰に心配しているも抵触する保護者や、経験感を問わず私見を披瀝する保護者など、チームの中での活動でも一部においてやりにくい場も出てきました。そんな折、よりこの競技を知ってもらい取り組んで、なおかつ日中の屋外は難しいため、人数も比較的小数で行えるフットサルを用いるための保護者同士で試合してもらった場をつくり、この中に部活動を続けられなかった卒業生なども含めて、1回あたり2時間の中で7~8分程度を目安に交流試合を行なった。

③実際にプレーを試みると、ボールを蹴る、止めるという基本技術がとても難しいことや、動きながらの中で様々な判断を要求されることを身を持って感じて頂き、いかに難しい競技であるかを理解してもらったことが出来た。このことにより安易な発言ができなくなった保護者もいた。また経験者には、サッカーという競技が日進月歩で推移しており、経験だけで指導ができるものではなく、現代のサッカーに応じたものをいかにわかりやすく、的確に教える指導法を指導者がジャンズ・ウェイのものと同じ目標へ向かうために繰り返し練習を取り組んでいることなど、意外と「知らない」親の方が多く、そういう部分で理解を深めて頂き、以降の活動がやりやすくなった。活動がきっかけでサッカーを始めたという保護者もあり、選手登録までには至らないが、開催時はできるだけ参加したいと思ってくださる保護者も増えた。卒業生の参加は卒業生の活動の場を増やすだけでなく、小学生世代にしっかりと取り組んだ基礎技術が今なお活かされていることなど、基本を学んだ子どもの技術の高さに、小学生年代での勝敗だけではなく部分で修得したことがいかに大きなものかを保護者の方にわかって頂ける機会があった。

シーガルサッカークラブ(北海道札幌市)

①タイトル:親子サッカー、ファミリーフットサル

開催日/期間:2017.06~2018.02

場所:モエレ沼公園陸上競技場、石狩市B&G海洋センター、北海きたえ〜る等

対象:小学生・中学生の保護者、スタッフ

参加者数:26名

内容:半期に1回(屋外・屋内)お父様・お母さま方にもご参加いただき、子供

たちと一緒にサッカー(フットサル)の楽しさを実感してもらいました。

また、2/11には『JFAファミリーフットサルフェスティバル』に参加し、4組の親子に試合を楽しんでもらいました。

②タイトル:

開催日/期間:2017/07~2018/01

場所:LOGO Estadio、北海きたえ〜る、清田区体育館

対象:女性

参加者数:12名

内容:『レディースフットサルノービス・イバネマリグ』参戦

クラブの小・中学生のお母さまとスタッフおよび一般会員の女性によって結成したチームでフットサル大会に参戦しました。

十代から四十代までの初心者で構成されており、シニア世代まで長く選手を続けていきたいと希望を膨らませるメンバーも多くなりました。

ポールスターユナイテッドスポーツクラブ(青森県弘前市)

①ファミリーフットサルへの参加

②親子サッカーの開催

VOCK大崎レディースU15(宮城県大崎市)

①タイトル:定期練習

開催日/期間:毎週木・金・土・日

場所:旧鹿島台第2小学校体育館、南郷体育館/グラウンド、色麻愛宕山工人芝ナイターほか

対象:サッカー、フットサル好きな方ならどなたでも参加可能

参加者数:18名

内容:基本練習、ゲーム

③活動を広げるため中学生登録から女子一般登録へ変更

2018年度よりNPO法人組織を活用し更に環境整備を図っています。

SendaForza(宮城県仙台市)

①タイトル:練習会及び各種大会参加

開催日/期間:毎週土曜日/通年

場所:宮城教育大

対象:中学生以上

参加者数:20~30人

内容:チームの中で選手の実態や年齢に合わせて複数のグループを作り活動している。年齢が上がるとともに競技主体の練習や大会に参加することが難しくなった選手も次の目標を持ってサッカーを楽しんでいる。

特定非営利活動法人まきばリースクール(宮城県栗原市)

①タイトル:フットサル練習会

開催日/期間:毎週木曜日 2014年~

場所:宮城県栗原市 瀬峰体育館

対象:不登校・ひきこもり経験・児童養護やその出身・発達や精神障がい等の方

参加者数:毎回10名程度

内容:年齢やそれぞれに抱えているものに配慮しながら、誰もが個人の状態に応じて楽しめる練習の場を運営している。

特定非営利活動法人ラソスポルテクルービ(宮城県仙台市)

②タイトル:中学3年生の引退時期設定をもうけない活動

開催日/期間:2017年度

場所:ラソスポルテクルービJr.ユースの活動場所

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

対象:Jr.ユース3年生

参加者数:7名

内容:受験勉強の時期でもあり、引退時期を設けず、勉学とサッカーの両立を行えるように、「育成割引」という制度を作り実践した。宮城県は受験日程が2月下旬と遅いのだが、受験勉強をしながら週1回程度の練習に参加する会員、受験終了とともに練習に参加する会員など、高校入学まで継続してサッカーに触れる環境を整える事が出来た。

③育成割引は、3年生が受験の準備シーズンに入ると、会費を納入する事を避け、3月いっぱいまでサッカーの練習に参加せず、塾で費用のかかることを理由に途中退会したり、退会してしまうケースが過去に見られた。そのことがきっかけになり、中学3年生の1年間は会費を無料にし、会員の参加を継続する事がねらいにあった。クラブとしては大きな決断であったが、結果として、引退というきっかけを作らずに、来たい時に来て、練習や試合に汗を流す時間が確保できたことにより、当クラブへの愛情を持って頂く事が出来たのではないかと感じている。クラブ会員より、3月末の卒団に当たり、愛情のこもった贈り品を準備して頂いたことが何より宝物であった。正直、サッカーを辞めさせず、公式戦に出場させたいだけなのでは?といった意見や、勉強をさせない環境を作っているのではないかとといった厳しい意見もあったが、対話を重ねてご理解頂く事が出来たのも大きな収穫であった。

特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ(山形県米沢市)

①タイトル:フットサルクラブ練習会(全体練習)

開催日/期間:2017.4~2018.3の毎週日曜日(以前から継続実施)

場所:山形県米沢市 小学校体育館

対象:幼児から年輩者まで年齢問わず

参加者数:常時20人くらい(延べ約700名)

内容:当フットサルクラブ加入者のみならず、地域の方々に声かけをし、年齢問わず練習会に参加してもらい、年齢性別を問わない練習及びミニゲームを楽しんでもらっている

②タイトル:山形県フットサルリーグ加盟

開催日/期間:2017.5~2018.1

場所:山形県内体育館

対象:当クラブ選手

参加者数:12人

内容:当フットサルクラブトップチームのFC puti-Unitedは山形県フットサルリーグに加盟しているが、出場年齢上限を設けず、10代から50代までの選手で構成し、現在も練習及び試合に全員が参加している。

茨城県知障のい者サッカー連盟(茨城県水戸市)

①タイトル:ホーリーフェスタ2017

6月25日は、天気予報では雨が降るとのことであったが、試合が始まる頃には曇りとなり、午後になると晴れ間も見られる天気となった。サッカー交流大会には、フレンドリーブロック10チーム100名、チャンピオンブロック3チーム30名の選手が参加した。また、チャンピオンブロックの3チームは、水戸ホーリーホック普及部コーチによるサッカークリニックにも参加し、スキルアップの機会となった。

7月8日は、朝から夏の日差しが照りつける夏日となった。ジュニアサッカー交流会では、県内の小学校から23名、特別支援学校から29名の合計52名の小学生が参加した。サッカー交流大会には、フレンドリーブロック12チーム136名、チャンピオンブロック6チーム73名の選手が参加した。6月25日同様、チャンピオンブロックの選手は水戸ホーリーホック普及部コーチによるサッカークリニックに参加した。この大会の出場選手で最高齢は63歳でした。また、両日ともに、アンチサッカーの体験会を実施し、選手やスタッフ、見学者などがクラブチを使っ、片足でのサッカーを体験した。今年度から会場に、黒球式熱中症指数計を設置し、30分おきに記録を取り、状況に応じて会場に

水分補給や休憩のアナウンスを行い、参加者全員の安全管理を行った。

③アンチサッカーとブランドサッカーの体験コーナー
黒球式熱中症指数計を設置してのアナウンス

Rafaga Club de Futbol(群馬県邑楽郡楽町)

①開催日:火曜日

場所:登録グラウンド

対象:小学生

参加者数:10

内容:初心者から誰でも楽しめるサッカー教室

②大会を開催し全員を出場するルールにしました。

蹴球団藤岡キッカーズ(群馬県藤岡市)

③引退なしについては、特別にイベントを開催する予定はありません。小学1年生からのサッカースクールを6年生まで、ジュニアユースクラブの活動と、社会人チームの活動を通して、各年代でプレーできるような環境を整えています。将来は、OB達がプレーしている、地元クラブとの連携強化ができればと思っています。

FC REAL(埼玉県川越市)

①タイトル:大人のミニサッカー大会

開催日/期間:2010年~2018年

場所:川越市近辺のグラウンド

対象:スクールに所属している子の保護者

参加者数:のべ300名以上

内容:リアルサッカースクールに通う子を保護者対象としたミニサッカー大会。

NPO法人浦和スポーツクラブ(埼玉県さいたま市)

①スーパーニアサッカー広場 毎週末曜日の午後に駒場スタジアムサブグラウンドで開催。30名の会員登録があり、毎回20名以上が参加。このほかテニスでもジュニアコースを用意。

ra'pido futsal club(埼玉県久喜市)

①毎週月曜日 埼玉県北足郡伊奈町 小学生向けフットサル 20名

寄居サッカークラブ(埼玉県大里郡寄居町)

①タイトル:寄居ベストレ

開催日/期間:毎週水曜日

場所:寄居町立寄居小学校

対象:どなたでも参加可能

参加者数:30人

内容:主に中学生から社会人までが年齢関係なくトレーニング、試合を行っております。

白岡市サッカー協会(埼玉県白岡市)

①タイトル:白岡市学校対抗 中学卒業記念サッカー大会

http://shiraokafa.blog.fc2.com/blog-category=23.html

開催日/期間:3月18日(日)

場所:白岡総合運動公園陸上競技場

対象:中体連クラブチームのいずれかでプレーしていた者

参加者数:卒業生40 在校生60+役員・審判・応援約50 計150名

内容:

◆中学生サッカー

中学生は、クラブチーム・スクールなど、選択肢は増えましたが、同じ中学校で学びながら、中体連登録とクラブ登録に分れ、一緒に試合を楽しむ事無く、卒業してしまいます。

その上、部活は3年の夏に終了し、高校入学までの8ヶ月間のブランクで、サッカーの楽しさも薄れ、それまでの2年4ヶ月の部活で培われた、折角の体力・技術・戦術がさび付いたまま、高校・ユースサッカーに向かう事となります。

各団体2017年度活動報告

◆サッカー協会にできる事

そんな進路確定後のサッカー中学3年生に、中体連・クラブ登録にかかわらず出場できる、学校対抗卒業記念サッカー大会をプレゼントしたいと考えました。それには、中体連・クラブ登録を包括する、白岡市サッカー協会が主催する事が望ましいと考えました。幸い、市内4中学校のご賛同、教育委員会のご後援、多くの企業様・団体様のご協賛を得て、この大会も、おかげをもちまして今年で6年目を迎えます。

◆願い

高校・ユースに繋がる、サッカーの楽しさ、体力・技術・戦術を準備・確認するチャンスに！ 中学サッカー最後の思いで作り！ そして、高校卒業後も白岡市でサッカーを楽しんで欲しい！

タイトル：白岡市シニアリーグ

http://shiraokafablog.fc2.com/blog-category-37.html

開催日/期間：前期(4~9月) 後期(10~3月)1試合/月

場所：南・西小学校・菅宮運動広場

対象：35歳以上 ※40歳以上を最優先に出場させる

参加者数：6チーム 80名

内容：小学生ビッチ 5号球 20-5-20分 8人制

②少年団登録8チームが、少年団1・クラブ3に分裂し、少年団時代の、近隣大会・市民体育祭等のイベント開催ができなくなっていた。市サッカー協会が中心になって、4種別設立を働きかけた。当面、少年団1チームの主導で、市内4チームの参加が可能な、近隣大会・市民体育祭を開催することとなり、実施された。今後の継続について、注目して行きたい。

③引退ナシは、生涯サッカーを推進する白岡市サッカー協会にとっては当然の事であり、取り立ててアピールできる事はありません。

http://shiraokafablog.fc2.com/

浦和グラナパワーズ(埼玉県さいたま市)

①年間を通じて埼玉県シニアリーグ(OV50.OV60.OV65.OV70)に参加した。約50名

②埼玉県シニアリーグ(OV50.OV60.OV65.OV70)に継続参加。約50名

③登録メンバーを通じて新規に加入登録された。

0078 南中野グッスF.C.

①毎週の子供達の練習最後にお父さん、卒団生の混合ゲームをする。

②団員のお母さんのサッカー教室を月2回実施。お母さんもずっとインジョイできる環境を作りたです。練習の成果もあって秋のフラワークップ(近隣子供リーグのお母さんサッカー大会)初優勝しました。3月に卒団生と卒団生父とのガチンコ親子試合を行った。お父さん11人が全力で子供と戦った素晴らしい試合だった。終始押されたばかりの父チームだったが我儘カウンター一発で得点し父親の根性を見せた。

③私達のクラブは父親が参加できるチームです。親子と一緒にボールを蹴れる時間は小学生の時のかなのかもしれませんが、この時間を大切にしたいと思います。お母さんサッカー教室を始めたのは日頃のストレス、運動不足解消を少しでもサポートできれば始めました。参加人数はまだ少ないが続いていきます。

LIVRO白岡SoccerClub(埼玉県白岡市)

①タイトル：Bomdaiサッカー教室

開催日/期間：春休み、夏休み

場所：LIVROランド(自施設)

対象：年少~大人

参加者数：各日20名 延べ400名/夏、150名/春

内容：夏休み、春休みに朝7時からグラウンドに集まってFUNトレーニング、FUNゲームを楽しむ

鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団(埼玉県鶴ヶ島市)

①タイトル：帰って来れる場の提供

開催日/期間：月2回

場所：近隣体育館・フットサル場

対象：在団保護者(未経験者込)卒団した子供達

参加者数：20名前後

内容：フットサル形式

②メンバーのカテゴリーでフットサル大会へ参加

③少年団なので卒団した子供達が楽しむ姿、変わらぬくせを見せるとても嬉しく思います。在団の父兄は大人になってもボールが蹴れる環境が楽しい、在団選手も大人になっても楽しんでもらいたいと言って頂いています。

TODOS UNIDOS(千葉県八街市)

①タイトル：TODOS UNIDOSの活動

開催日/期間：通年

場所：主に千葉県柏市や八街市

対象：親子

参加者数：毎回10~20名ほど

内容：サッカー教室やサッカー大会

③いつも家族でサッカーを楽しめる

NPO法人 暮線クラブ(千葉県千葉市)

①総合型スポーツクラブ 毎週土曜日 暮線総合高校(ダンス・サッカー・ク

ラミング・水泳)

NPO法人ゼロスポーツコミュニケーション(東京都文京区)

①タイトル：地域少年サッカーチームへのコーチ、選手、OB、シニアチームへのサポート

開催日/期間：2017年4月12~2018年2月15日

場所：新宿区内施設(早稲田小学校体育館、牛込二中校庭)

対象：小学4年生以上

参加者数：延べ約650名

内容：少年サッカー選手、卒業生及び、お父さんコーチ、シニアカテゴリ選手へのトレーニングの実施。

③小学生からシニア年代までのチームに関わる皆様との交流を図り、それに伴い世代を超えた交流と、サッカーの楽しさ、難しさを伝えることができました。

ApreDiver(東京都江戸川区)

①年間を通しての活動の中で親子サッカー、なして広場、ウォーキングフットボール等を行っている

②ウォーキングフットボール

FC東京(東京都江東区)

①タイトル：おとなのサッカー(フットサル)教室

開催日/期間：平日夜間を中心に開催(年間約200回)

場所：FC東京パーク府中を中心に各所

対象：大人

参加者数：平均20名程度

③お子様がプレーしているのを見て自分もやりたくなった。大人になってから初めてみて、楽しくチームに所属するようになった。身体が動くようになり、子供と一緒にプレーできるようになった等。

千代田区サッカー協会(東京都千代田区)

① U8アキバキッズリーグ

年8回(月1回開催)

場所：昌平小学校 他

対象：U8

参加者数：100~130名(千代田区内中心)

内容：8歳以上のリーグ形式の公式戦

③U8アキバキッズリーグは低学年の公式戦がないため、父兄、コーチ陣から期待をよせられています。毎年の恒例事業

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

カプリング東久留米(東京都小平市)

①タイトル：大人のサッカースクール

開催日/期間：毎週1回

場所：ケルンジュフットサルパーク花小金井

対象：大人

参加者数：20名

内容：社会人の方を集めて定期的にボールを蹴る環境作りを行っています。②小学生スクールのママさんたちを集め週1回フットサルスクールを開催。③小学生スクールのお父さんたちに声をかけ「カプリングファザーズ」と言うババチームを結成。定期的な活動や練習試合などを開催しています。

BeYonDプロジェクトチーム(東京都世田谷区)

①タイトル：新関東リーグ取材

開催日/期間：5月~7月、10月~12月

場所：鹿島ハイツ、ozo/パーク

対象：大学同好会

参加者数：1500人以上

内容：大会の取材に出向き、大会レポートを発信する

②タイトル：蹴活イベント

開催日/期間：2017/05/22

場所：渋谷区スポーツセンター

対象：大学同好会

参加者数：30人

内容：大学同好会に所属選手と社会人によるサッカーイベント。サッカーを通じて将来のキャリアや就職活動の支援を行う。③2017年度から行なっている蹴活イベントでは、大学同好会という1つの区切りを迎え、大学生を社会人と繋げ就職活動を支援するイベントは非常に好評だった。

株式会社リエイティブヘッズ(エフチャンセル)(東京都多摩市)

①タイトル：フットサル/ソサイチ/ビーチサッカー/サッカー大会

開催日/期間：随時

場所：関東/関西/東海/北海道

対象：16歳以上

内容：私達が開催する大会は、初心者向け/初級者向け/中級者向けと、レベルを分けており、年齢制限を設けています。このような大会を2807大会(2017年度実績)企画していますので、自分たちに合う大会を見つけてことができます。ここに引退はありません。

■レベル/年齢分けについて

参加者全員がフットボールを楽しむよう、年齢分けや厳格なレベル分けをしています。エンジョイ志向のカテゴリでは、優勝チームへの賞品授与ではなく、大会後のミニゲームで勝利したチームへ賞品を授与するなどの工夫をしています。

【ミニゲーム内容】

ドリブル競争/クロスバー当て/リフティングリレー/など
縄跳び/腕相撲/椅子取りゲーム/ジャンケン/ライコロ/しりとり/など
大会後のチーム同士の交流などを通じて参加者全員に楽しんでもらいたい、という願いを込めています。

一般社団法人日本ソサイチ連盟(東京都多摩市)

①タイトル：地域選抜による海外遠征

開催日/期間：6月-11月

場所：スペイン・タイ

対象：高校生/大学生/社会人

参加者数：各遠征12名ずつ

内容：高いレベルでソサイチを楽しみたいプレイヤー向けに海外遠征を実施しています。年々3回ほど実施しており、イングランド・スペイン・シンガポール・タイ・ドイツなどに遠征しています。参加者の多くは、高校や大学の体育会やクラブチームで上をめざしていた選手たちです。何らかの理由で一度は競技としてのサッカーから離れてしまったものの、「もう一度、熱い気持ちでプレーしたい」という志を持った方が集まります。セレクション方式で募ります。地域ごとに行こうと、選手が集まり易い環境をつくります。

②タイトル：ソサイチ日本代表ブラジル遠征

開催日/期間：9月

場所：ブラジル

対象：大学生/社会人

参加者数：12名

内容：2017年度のソサイチリーグ発足を機に、世界各国の7人制サッカー団体から色々なオファーをいただいております。その中で、我々がずっとお手本としてきたブラジルからお声掛けいただきました。ブラジルのリオでは7人制サッカーリーグが非常に盛んに行われており、サッカーでリオビッグ4と言われる「フラメンゴ」「バスコダガマ」「ボタフォゴ」「フルミネンセ」が7人制サッカーチームを保有し実際に参加しています。9月に行ったブラジル遠征ではこれらのチームを含もりオランダのチームと対戦してきました。選手選考は、これまでの海外遠征で採用していたセレクションスタイルではなく、リーグ参加選手のみで構成しました。指導者はFリーグ・ベスカドラー町田でも活躍した、フットサル界のカリスマ「甲斐修将」氏に引き受けていただきました。

株式会社アシスト(東京都練馬区)

①タイトル：ママさんサッカー教室

開催日/期間：毎週水、金曜日(長期休暇期間、祝日を除く)

場所：フィットフットサルアリーナとしまけん 他

対象：女性

参加者数：毎回15名程度

内容：初級者向けのサッカー教室

②タイトル：ウォーキングフットボール体験会、大会運営補助

開催日/期間：2018年2月17日

場所：杉並区下高井戸運動場

対象：地域住民並びに大会参加者

参加者数：70名程度

内容：ウォーキングフットボールの大会審判 等

A.C ammaliatore(東京都葛飾区)

①タイトル：アマチュアに引退なし

開催日/期間：毎週木・金

場所：東京都・川口市

対象：社会人・小学生

参加者数：50名

内容：練習・試合・イベント

一般社団法人日本ウォーキングサッカー協会(東京都台東区)

①タイトル：2017さいたまスポーツフェスティバル出展、誰でもチャレンジ

ウォーキングサッカー体験会

開催日/期間：5月13日(土)

場所：さいたまスーパーアリーナ

対象：一般参加者、幼児、小学生、中学生、大人、高齢者

参加者数：430名

内容：日本ウォーキングサッカー協会推進の歩くサッカー体験会。誰でも参加出来る、ユニバーサル生進スポーツの歩くサッカーを身近に楽しみながら、笑顔のコミュニケーションと健康的な運動、歩き方を提案しました。

タイトル：主催イベント、誰でもチャレンジウォーキングサッカー体験会

開催日/期間：2017年8月~3月 毎月1回の定期開催

場所：豊洲 mifaフットサルコート 東雲ラモスフィールドフットサル

対象：一般参加者 幼児、小学生、中学生、大人、高齢者、障がい者

参加者数：1開催 20名~35名

内容：JWFAウォーキングサッカープログラムの推進活動、正しい歩き方から、歩くこと、身体を動かすストレッチやバランス感覚など、運動の基礎と歩くサッカーゲームで楽しくコミュニケーションサッカーを楽しむ提案。ダウン症や脳卒中

中や脳梗塞など、麻痺と向き合う方々も、歩くサッカーを通じて、スポーツの楽しさや笑顔で語り合う、人との繋がりを体験してもらい、元気を応援しました。

③高齢や障がい等でも運動をあきらめていた方々にも参加が出来る、歩くサッカーを体験してもらい、元気になって頂いたことが嬉しいですね。



JFA Enjoy

各団体2017年度活動報告

LARGO FOOTBALL CLUB (東京都荒川区)

- ①毎週火曜日荒川遊園グラウンドにてママさんを中心に、約10名程
- ②美容と健康の為を合言葉にしているので誰でも参加しやすいという事

アッチ・フットボールアカデミー(東京都豊島区)

- ①タイトル:U-8/U-10/U-12リーグ戦、カップ戦、親子ふれあいサッカー
- 開催日/期間:開催日は日曜、祝日、長期休暇期間
- 場所:豊島区朝日小学校、都立大塚ろう学校、文京区六義園運動場
- 対象:小学生
- 参加者数:約50人～
- 内容:サッカーの試合や親子球技大会
- ②タイトル:U-10リーグ戦
- 開催日/期間:2017年4月～2018年3月
- 場所:豊島区朝日小学校、他
- 対象:小学3～4年生
- 参加者数:役20名
- 内容:サッカーの試合、年間総当たりリーグ戦、18試合開催
- ③地域を越えたリーグ戦の実施
- ホーム&アウェイを味わえる
- よその環境でのサッカーと親しむに関わる人たちのつながりやふれあい

日本ウォーキング・フットボール連盟(東京都練馬区)

- ②タイトル:第1回ペンギンズ・カップ
- 開催日/期間:平成30年2月17日(土)
- 場所:東京都杉並区下高井戸運動場
- 対象:一般の老若男女
- 参加者数:約100名
- 内容:歩くサッカーウォーキング・フットボールのおそらく日本で初めての大会を開催。8チームが予選リーグ&決勝トーナメント計17試合を戦う。

NPO法人スポーツカントリーアンビスタ(東京都葛飾区)

- ①タイトル:JFAでなしひろば
- 開催日/期間:おおよそ隔月
- 場所:帝京科学大学や区内小学校校庭
- 対象:年齢、経験を問わずすべての女性
- 参加者数:毎回50～100人程度
- 内容:簡単な基礎トレーニングと、カテゴリをミックスしたゲーム
- ③、サッカーをやっていたけどやる場がない大人の女性が集まる場となった
- ・娘がサッカーを始めただけややったことがないというママが挑戦することで新たなコミュニケーションの場となった
- ・サッカーをやっているお兄ちゃんの妹が初めてボールに触れ、クラブに入学したなど

クワイティーボFC(神奈川県横浜府)

- ①サッカー広場
- 誰もが自由に参加をしてサッカーを楽しめる環境を提供する。
- 2017年1月18日 ナガトモフィールド 20名参加
- 2017年3月20日 ナガトモフィールド 24名参加
- 2017年4月25日 アネルフットサルポイント 中山 12名参加
- 2017年5月24日 ナガトモフィールド 12名参加
- 2017年6月14日 ナガトモフィールド 16名参加
- 2017年7月11日 ナガトモフィールド 8名参加
- 2017年8月23日 ナガトモフィールド 9名参加
- 2017年9月27日 ナガトモフィールド 16名参加
- 2017年10月4日 ナガトモフィールド 16名参加
- 2017年11月15日 長坂谷公園 28名参加
- ③普段サッカーをしない子供や普段別のクラブに所属していて一緒にプレーすることのない子供同士など、世代などを越えて新しい人の繋がりを作る事が出来た。

NPO大豆フットボールクラブ(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:OB対抗戦
- 開催日/期間:毎年3月
- 場所:しんよこFTP
- 対象:高校サッカー、中学サッカーを終えた3年生
- 参加者数:約60人
- 内容:部活やクラブで熱中して、サッカーをやめようとする予選を集めて、当時の在籍チーム対抗で対抗戦を行う。当時の仲間や指導者と出逢い、サッカーの楽しさを改めて感じ、やらされるものではなく、楽しさから始まったことを思い出す。そこで再会したメンバーとチームを結成したり、サッカーをそこから続けるきっかけや大豆戸の社会人チームでやる選手が多い。
- ③OB対抗戦はぜひやるべき、指導していた子どもたちがその後どうなったか?部活でおきていること、3種、2種で何があったのか?を4種の指導者たちが感じることは大きい。当時は親が熱心で色々というが、未来に集まるのは子どもだけである、子どもと向き合うべき、彼らがサッカーが好きでないとサッカーは続けない当たり前のことを子どもの姿から学ぶことができるからだ。指導者のその後の進い続ける。子どもたちがまた集まれる場所をつくること、今だけでなく、未来において、それこそ育成クラブとしての本質であると考える。

あざみ野キッカーズ(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:第17回親観大会
- 開催日/期間:2017年11月23日
- 場所:横浜市青葉区かやの公園
- 対象:ジュニアのお父さん達のCUP戦
- 参加者数:約100人
- 内容:あざみ野キッカーズは社会人(10代から70代)のチームとジュニア(年長・小学生1年から6年)で構成されています。サッカーを家族で楽しんでもらうためにお父さん達の大会を毎年行っていますが今回で17回目となりました。この大会に参加するお父さんの中からは社会人チームの仲間になる人やジュニアのコーチになってくれる人も増えてきています。
- 11月23日は朝まで雨でしたがお天気が回復してきたので午後からの開催に変更し、午前中はグラウンドに溜まった雨水の除去から始めグラウンド整備に汗を流しました。大会の参加者は年長・1年生と2年生から6年生までの6チームと卒団した子供のお父さん達が創ったチームからの応援者で総勢約100人でした。樹齢400年のかやの木が見守るグラウンドで開会式、前年優勝チームの優勝カップ返還から始まりました。試合の方は熱い戦いが続きとてもお父さん達の大会とは思えない本格的な試合になっていました。近年は親観大会のスケジュールが決まると2、3ヶ月前から学年ごとのチームでジュニアの練習後のグラウンドで練習試合をすることが多くなっています。今回は怪我也無・楽しい大会でした。試合の後は優勝カップ贈呈とチーム毎のMVP賞贈呈があり、来年の大会を目指して頑張ろうの締めで終わりました。ただし、この日の盛り上がりはここからが本番でもあります。方からはチーム毎に地元の居酒屋での飲み会になります。小さな街なのでの店に行ってもあざみ野キッカーズのお父さん達で盛り上がりが出ています。来年はお母さん達のエキビジョンマッチも入れられるように好天気を祈ります。

ポットレーDFC(神奈川県横浜府)

- ①自チームで、補欠ゼロのトップ戦を開催しています!
- ③大会参加チームに、全員半分は試合に出して欲しいとお願ひしています!

KAZU SOCCER CLUB(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:なでしこサッカークリニック
- 開催日/期間:月/2回
- 場所:市場小体育館・豊岡小体育館
- 対象:16歳以上の女性
- 参加者数:1回10名前後
- 内容:16歳以上の女性を対象にしたクリニック。練習とミニゲームを行っています。
- タイトル:男前フットサル
- 開催日/期間:月に1回

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

場所:市場小体育館

- 対象:クラブに関わる全ての人(保護者・サポーター・卒業生・選手)
- 参加者数:1回10名前後
- 内容:集まったメンバーでフットサルを楽しむ。
- ②タイトル:なでしこサッカークリニックメンバーでの対外試合
- 開催日/期間:2017年11月26日(日)
- 場所:鶴見スポーツセンター
- 対象:16歳以上の女性
- 参加者数:11名
- 内容:フットサル形式の交流試合

公田SC(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:ガールズデー
- 開催日/期間:2017.7.17
- 場所:桂台小学校
- 対象:成人女性
- 参加者数:18人
- 内容:学校卒業、就職、結婚、出産、人生の節目で「引退」して終わるのではなく、サッカーをやりたい人は、女性でも気軽にサッカーが継続できるような環境を提供。
- タイトル:真夏のOBフェス
- 開催日/期間:2017.8.11
- 場所:桂台小学校
- 対象:公田SC団生
- 参加者数:25人
- 内容:少年サッカーが終わりでも継続してボールを蹴れる環境を提供。
- ③OBフェスに関して、久しぶりに参加しボールを蹴れる機会があったことに喜ばれた。

横浜F・マリノス(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:エンジョイフットボール
- 開催日/期間:2017年度実績:24回
- 場所:横浜市内男女ラウンド
- 対象:18歳以上の男女
- 参加者数:各回30名ほど
- 内容:18歳以上の男女を対象に多くの方々に気軽にサッカーを楽しめる環境を目指し、エンジョイフットボールを開催しています。
- ②タイトル:ふれあいエンジョイフットボール
- 開催日:11/5
- 場所:しんよこフットボールパーク
- 対象:18歳以上の男女
- 参加者数:70名
- 内容:エンジョイフットボールの開催に合わせて、同会場で電動車椅子サッカーの体験会を行いました。参加者が交流を回り、電動車椅子サッカーに触れていただく貴重な時間となりました。

知的障がい者サッカー推進連盟(神奈川県横浜府)

- ①毎月第三日曜、エンジョイフットボール、エスタジオ横浜、初級者、上級者関係なくボールを蹴る。40名程度

株式会社レグロ(神奈川県鎌倉市)

- ①タイトル:「フットボールから学ぶ、生涯にわたって楽しむためのコツなど(講演活動)」
- 開催日/期間:2017/4～2018/3(不定期)
- 開催例:2017/10/27
- 場所:東京大学
- 対象:一般
- 参加者数:30名程
- 内容:フットボールを生涯にわたって楽しむコツ、ゲームの観方といったお話を交えた講演を随時企画・実施。
- ②タイトル:「大学生を対象としたリーグ戦を企画・運営」

開催日/期間:2017/4～2018/3

- 場所:大学体育館など
- 対象:大学生
- 参加者数:200名程
- 内容:年齢が上がるにつれ、少なくなってしまうがちなプレー機会。切れ目なく定期的にプレーする機会を増やすりリーグ戦を企画・運営。試合後に相手チームと一緒に試合を振り返る場を提供するなど、競技力向上や交流を深められる工夫も。
- ③先述の活動をベースに今後も継続・発展させられるようにしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

横浜かもめスポーツクラブ(神奈川県横浜府)

- ①タイトル:フットサルスクール
- 開催日/期間:毎週木曜日
- 場所:横浜市立神大寺小学校
- 対象:中学生～上限なし
- 参加者数:毎週30名
- 内容:フットサルを通じて、生涯健康を保つ。また、OBへ活動の場を提供し競技サッカーを引退したあともenjoyサッカーを継続できる。
- ③2017年度はフットサルを中心に、20歳以上の選手での飲み会・その他フットサル大会へ出場と活動の範囲を広げました。
- サッカー以外の懇親の場を設けることにより、より楽しくサッカーをプレーする機会が増えたように感じます。

PLAY MAKERプロジェクト(長野県長野市)

- ①運営しているマッチングサイトの利用者が500名を超え、チームも60チームが登録してくれる状況となりました。
- ②各大学や高校へ上がり、生涯スポーツと向き合う重要性を伝えて参りました。接見選手数は延べ1,000名以上です。
- ③競技を続けるかどうかを迷っている選手は、どのカテゴリでもあれ続けた方が良い傾向が強いです。迷ったまま完全に離れてしまう選手は、やりたくなり仕事などが手につかないケースが多く報告されています。仕事を続けながらも両立できるクラブを紹介したり、納得できるところまでチャレンジさせてあげることが重要だと改めて思っております。

一般社団法人筑北スポーツ振興協会(長野県東筑摩郡筑北村)

- ①タイトル:総合型地域スポーツクラブ事業
- 開催日/期間:年間
- 場所:村内体育施設、学校施設
- 対象:子ども～大人
- 参加者数:150人
- 内容:運動教室(運動、筋力運動、ヨガ、ボクシング系運動、サッカー、フットサル)
- ②タイトル:総合型地域スポーツクラブ事業
- 開催日/期間:年間
- 場所:村内体育施設、学校施設
- 対象:子ども～大人
- 参加者数:30人
- 内容:野球、卓球、バドミントン教室 追加
- ③サッカー活動においては、小学校へ週末に Outreach、クラブハウスにて練習前に学習に時間を設けている。おにぎりを作り食べてから、グラウンドで練習となる。

フリーダム新潟FC(新潟県新潟市)

- ①タイトル:エンジョイフットサル
- 開催日/期間:毎週土曜日(年間)
- 場所:潟東サルビアサッカー場・潟東体育館
- 対象:年齢性別問わず
- 参加者数:平均10名以上(10～20名程度)
- 内容:年齢性別を問わず、みんなで体を動かして、サッカーを楽しむ。
- ③サッカーの楽しさを伝え、サッカーファミリーの増加につながった。



小沢タカシ(代表理事) 藤原(代表理事)

各団体2017年度活動報告

VIVA ENJOY FOOTBALL(新潟県新潟市)

①タイトル:ドリブルデザイナー岡部将和のドリブルクリニック
開催日/期間:2016年4月1日
場所:三条市栄体育館
対象:小学生100名・中学生以上50名
参加者数:154名
内容:現役Jリーガーのドリブルデザイナーwowowのリーガダイジェストにも出演している岡部将和を招いて新潟県初の「ドリブルデザイナー岡部将和のドリブルクリニック」を開催。全国から参加者が殺到し大盛況だった。サッカーを通じてチャレンジする楽しさを多くの方に感じてもらえたと思う。
②タイトル:親子サッカー&ママさんサッカー&大人のサッカー
開催日/期間:毎週金曜日
場所:三条市某体育館
対象:親子サッカー小学2年生までの親子・ママさん・高校生以上の大人
参加者数:30名程度
内容:サッカーをやったことがない子供が親子サッカーを通じてチームへ所属する流れができた。ママさんはチームを作り大会へ参加するようになった。大会前には息子たち(小学4年生)を練習相手にし2時間みっちりトレーニングマッチを行う。大人のサッカーでは楽しむを目的に40代の方が中心にすでに20年以上やっている。
③お父さんが子供にサッカーをさせたいが、子供が乗り気ではない親子が体験に来た。お父さん、お母さんと一緒にボールを蹴り、汗だくになって楽しんでいた。この経験がきっかけで翌週には地元のサッカーチームに入団した。サッカーを始める子供がかなり減っていて、チームを組めず試合に参加できないチームが増えてきている。少しでもサッカーをする子供を増やすために大人が動かないといけないと思う。もう待っているだけでは人は集まらない。低学年がまっているチームは練習の際に園児向けの体験の時間を設けているチームだと思う。毎週とはいかなくても園児向けやママさん向けに行う活動場所が増えたい方がいいと思う。

バトリアーレSABAE(福井県鯖江市)

①タイトル:スクール活動
開催日/期間:通年
場所:鯖江市内、近隣スポーツ施設
対象:未就学児～中学生
参加者数:100名以上
内容:未就学児から中学生までのサッカースクールを継続的に実施
②タイトル:新規チーム設立
開催日/期間:2017年2月、2018年3月
場所:鯖江市内、近隣スポーツ施設
対象:中学生、高校生、社会人
参加者数:約60名
内容:2017年2月にU15チームとU18チームを設立。2018年3月に既存社会人チームをクラブ内に合併。これで未就学児～社会人までの活動が繋がった。

CONFIANÇA(静岡県静岡市)

①いつでも受け入れ可能なようにLINEグループを作成
②大会での卒団保護者、選手への呼びかけ
③引退した保護者、選手全員が入れるLINEグループ

清水エスバルス(静岡県静岡市)

①タイトル:静岡・清水ビジネークラス交流戦
開催日/期間:1月29日
場所:エスバルスドリームフィールド清水
対象:大人
参加者数:26名
内容:静岡に通っている大人のクラスと、清水に通っている大人のクラスの交流戦
②タイトル:大人対象エスバルスサッカークリニック
開催日/期間:11月11日
場所:エスバルスドリームフィールド清水

対象:大人
参加者数:15名
内容:技術練習と試合

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター(静岡県磐田市)

①タイトル:ワンコインサッカースクール
開催日/期間:通年
場所:城山中学校G
対象:小学3年生～中学3年生
参加者数:20
内容:中学生にも参加しやすい環境としてワンコインでのサッカースクールを展開。ジュニアクラブOB中心に数名参加。小学生との交流を図れた。

裾野西サッカースポーツ少年団(静岡県裾野市)

①毎週土曜日、裾野市立西小学校で19:00～21:00まで誰でも参加可能なゆるいサカを開催しました。毎日、30名程度が参加して楽しみなが気持ちよく汗を流しています。また、毎週土曜日と日曜日に少年団を卒団した中学生20名程度参加するサッカースクールを行いました。
②毎週金曜日は自主練習の日としてグラウンドを開放。子供から大人まで20程度で一緒にサッカーの練習を行いました。
③昨年度は少年団の40周年記念式典を行い、沼津市出身で岡崎選手のフィジカルコーチをしている杉本龍勇さんの講演会と走り方教室を行いました。40周年記念式典のイベントとして、ウエルフェアオフィサーの講演会指導者が行いました。

しもあおベース(静岡県藤原市)

①タイトル:遊び場の解放
開催日/期間:常時
場所:しもあおベース
対象:不問(主に園・小学・中学の子供達)
参加者数:毎日十数名～数十名
内容:自由な遊び(スポーツ)
③色々なスポーツをやる機会や場所により子供の可能性は広がります。

VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB(愛知県名古屋)

②タイトル:VALLONFEEZ
開催日/期間:毎週火曜日
場所:愛知県名古屋市瑞穂区
対象:社会人の女性
参加者数:2～5人
内容:サッカーの練習、体験会

碧フットボールクラブ(愛知県碧南市)

①タイトル:Copa La bombonera
開催日/期間:奇数月第一土曜日もしくは第三土曜日
場所:民間労働工場カーサービス杉浦
対象:年齢・性別問わず
参加者数:10人程度
内容:3on3
②特になし
③年齢・性別を超えたコミュニケーションの場が出来ていると思います。

NPO法人GranArbolスポーツクラブ(愛知県名古屋市)

①親子や女子を対象にしたフットボール教室の実施

ワイヴァンフットボールクラブ(愛知県刈谷市)

①タイトル:個人参加型のサッカー・フットサルイベントの定期開催
開催日/毎週月火水金土日(フットサル)毎週水(サッカー)
場所:刈谷谷ハイウェイサッカーフットサル場
対象:中学生以上

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

参加者数:8～50名
内容:個人参加者を募り、みんなでサッカー、フットサルを楽しむ
タイトル:サッカー大会・フットサル大会の定期開催
開催日/月4回程度
場所:刈谷谷ハイウェイサッカーフットサル場
対象:中学生以上
参加者数:3チーム(15名)～11チーム(80名)
内容:チーム参加者、個人参加者を募りサッカー、フットサルを楽しむ、順位も決定
タイトル:女性のためのフットサルクリニックの開催
開催日/月1回
場所:刈谷谷ハイウェイサッカーフットサル場
対象:女性
参加者数:12名～24名
内容:女性のみでフットサルの練習から試合までおこないフットサルを楽しむ。
③女性のためのフットサルクリニックでは親子で参加する方も多く、年齢に関係なくフットサルを楽しんでいます。

しあわせの食卓プロジェクト(愛知県愛西市)

①シニア国際大会を開催します。バルセロナと現在打ち合わせ中です。
②スペイン MECUP2018に全国から200名の応募から大阪、千葉、愛知でのセレクションで合格した24名を連れて出場しました。
③FORZA SOCCER ACADEMYを6月に開校します。代表監督に三原直樹(元ヴェルデ川崎FC)に三木裕昭(元日本代表AT)その他コーチを含めて愛知県にて設立します。「世界で通用する選手を育てる」をテーマに、国際大会、留学など率先して活動していきます。またグラウンドの建設も予定しています。今後とも交流宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人JOANスポーツクラブ(愛知県知立市)

①開催日/期間:
場所:愛知県安城市
対象:4歳～11歳
参加者数:30名
内容:サッカースクール

九番団地子供サッカー教室(愛知県名古屋)

①毎年毎週土曜、名古屋市港区の東海小学校グラウンドにおいて小学生を対象にサッカー教室を実施しているが、OBの中高校生も参加。毎回30～50名参加のうち10名ほどがOB。
②昨年中国の小学生サッカーチームと交流試合を実施。当方の実施だけでなくOBも参加。
③愛知県の朝鮮学校のサッカーチームと交流試合を実施。

一般社団法人リコフエンテスクール・アカデミー(愛知県豊橋市)

②タイトル:ソサイチの普及活動
開催日/期間:2017.11～
場所:フガルエスタディオ石巻
対象:高校生～社会人
参加者数:合計100名ぐら
内容:コートサイズが小さくでの年齢、体力など関係なく楽しめるのでたのびの年代に楽しんでもらえる事が出来ました。

七里御浜FC(三重県南牟婁郡御浜町)

①年間に2～3回程度、当スポーツクラブ内のサッカーフェスティバルにて保護者サッカーを行いお父さんお母さん祖父母など様々な年代の方が参加して頂いています。毎回約10名～15名程度の参加
また、継続して年間8回～10回程度JFAなでしこひろばを実施しています。参加される方に年齢制限は設けず女子サッカーの普及活動を実施しています。
②2017年度は新たな取り組みは実施出来ませんでした
③当クラブ内で年間6回程度実施していますサッカー大会にて保護者観戦席を従来では、コートからある程度離れた位置で観戦して頂いてましたが、ベン

チ近くなど子供達の息遣いが聞こえる場所で観戦してもらうことを実施しました。離れたところでは分かりにくい子供達の息遣いや一生懸命な姿を体感して頂き、よりサッカー活動への理解が深まると思います。

ベルナサッカークラブ(三重県三重郡菟野町)

①タイトル:ベルナファミリー
開催日/期間:特になし
場所:不定期
対象:ベルナに関わる全ての人
参加者数:多数
内容:ジュニア、ジュニアユース、ユース(トップチームに帯同)、トップ(16～52歳)と段階的に何歳でもプレーできる環境作り。
②継続しての活動ばかりで新規のものはありません。
③トップチームの年齢層が広いので、中には年の離れた兄弟での同時プレーはもちろん、親子での同時プレー(公式戦)も何組か実現しています。

FCプログレッシブ(岐阜県羽島市)

①開催日/期間:年度末
場所:岐阜市
対象:障がいの者、健康者
参加者数:30
内容:サッカー、フットサル、交流
③岐阜市、又は周辺市町村で月に一回から二回練習。

ROSA SHIGA(滋賀県栗東市)

①ROSE RITTO 通称:ロゼ・リットウ
2014年活動開始
・レジェンドクラス 高学年～大人
活動日:毎週木曜日 pm19時～pm21時(高学年&中学生&大人 参加OK)
場所:栗東中学校体育館
・エンジョイクラス キッズ～高学年
活動日:毎週日曜日 pm17時～pm19時
場所:滋賀県栗東市御園レセプション生倉館
・レジェンドクラス 高学年～大人
活動日:pm19時～pm21時
場所:滋賀県羽田東小学校グラウンド
②2018年 4月に、オスカル草葉さんを招待して、テスポルチ プレミアムフットサルを開催しました！
小学生～大人25人ぐらいい参加してくれました！
③ROSA SHIGA から、ROSE RITTOにチーム名が変わりました！

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB(滋賀県大津市)

①「BSCフットサルリーグ」の開催
11月25日、12月9日の計2回
②タイトル:ソサイチの普及活動 多目的グラウンド(フットサルコート2面)
参加者40名
地域に関わる4チームでフットサルリーグを開催しました。
(BSCジュニアスタッフチーム、BSCシニアチーム、近隣地域の中学校教員チーム、びわこ成蹊スポーツ大学教員チーム)
参加ルールとして、女性の方がピッチに1名以上いることが必須というルールを設け、女性の方も参加できるようにした。
フットサルを通して、地域に住んでいる方、地域で働かれている方、地域に関わる方々が同じ場所に集い、1つのボールを追いかけ、共に汗を流し、楽しみ、地域交流を図れる良い機会になりました。
年齢(中学生～50代の方まで)や性別関係なく参加者全員で真剣勝負をすることもでき良かったです。



各団体2017年度活動報告

「Enjoy Football Day!!」の開催

大津市立木戸小学校にて開催致しました。内容は地域の皆さんやクラブに関わる皆さんがサッカーを通して交流を深め、年齢・性別関係なく自由にサッカーを楽しむようというものです。

集まったメンバーでルールやチームを決めてサッカーの試合を「楽しむ！」ことを目的に開催しました。

4月29日 参加者は23名(子ども18名・大人5名)

5月20日 参加者は14名(子ども10名・大人4名)

6月24日 参加者は13名(子ども10名・大人3名)

7月29日 参加者は7名(子ども5名・大人2名)

毎月1回の実施を考えておりましたが、土日の各イベントや練習とのスケジュール調整が難しく、8月からは実施できない状況です。

③「BSCフットサルリーグ」の開催です。

地域に関わる4チームでフットサルリーグを開催しました。(BSCジュニアスタフチーム、BSCシニアチーム、近隣地域の中学校教員チーム、びわこ成蹊スポーツ大学教員チーム)

参加ルールとして、女性の方がピッチに1名以上いることが必須というルールを設け、女性の方も参加できるようにした。

フットサルを通して、地域に住んでいる方、地域で働かれている方、地域に関わる方々が同じ場所に集い、1つのボールを追いかけ、共に汗を流し、共に楽しみ、スポーツをきっかけに地域交流を図れる良い機会になりました。年齢(中学生～50代の方まで)や性別関係なく参加者全員で真実勝負をすることもでき良かったです。

北摂ユナイテッド(大阪府豊中市)

①タイトル:シニアカテゴリーの設置と継続

開催日/期間:通年にて各種大会参加

場所:吹田市・大阪府

対象:40歳以上

参加者数:36名

内容:サッカーができる場所と試合への出場機会を求めながら、自己鍛錬やコミュニケーションも含めて、チームとしての活動が充実してまいりました。関東地域からの転勤組や、初心者を含めて最高年齢は54歳までが在籍し、練習会や試合、飲み会等でチームでの居場所を維持しています。

②タイトル:セカンドカテゴリー(若手年代)とミドルカテゴリー(30歳代)の設置と継続

開催日/期間:2016年7月よりセカンド設立、2018年2月よりミドル設立

場所:吹田市・大阪府

対象:セカンドは18歳～29歳、ミドルは30歳～39歳

参加者数:セカンド46名、ミドルは27名

内容:セカンドカテゴリーメンバーは、高校卒業後にサッカーを継続できる場所を求めて大学生や専門学校生、社会人が全国から集まっています。大阪社会人1部に復帰したトップチームへの登竜門にもなっています。

ミドルカテゴリーメンバーは、現役チームからは引退したがシニア年代までの期間、サッカーををする機会を喪失していたメンバーを招集しました。サッカーに対する情熱の復活とマスターズの出場機会、シニア年代からのサッカー継続を含めて、活動を開始しました。

③16歳のユース年代から50歳以上のシニア年代までのカテゴリーが繋がったことで、引退しないサッカー人生の実現の基礎は築きました。一番の成果は、練習会でカテゴリーを分けずに平日や週末にメンバー全員が参加しますが、その中で、シニア年代ほど、必死な形相で走り、ボールを追いかけます。その姿を見て若い年代の競争意識やモチベーションがあがり、お互いに励まし合い、切磋琢磨できているシーンが毎回見られることが、主催者として本当によかった、と感じる瞬間です。

NPO法人 吹田南フットボールクラブ(大阪府吹田市)

①OBなどがいつでもも活動に参加できるようにしている

HalfTime(大阪府高石市)

①■インクルーシブフットボール【障害あるなし・年齢・性別にかかわらず誰でも参加】

タイトル:フットサル定例会(個人フットサル)

開催日/期間:毎月1回

場所:主に大阪府堺市内の体育館(サンスクエア堺・大浜体育館・カモン高石)

対象:インクルーシブ(誰でも)小学生から成人まで参加あり

参加者数:総計287名(毎月平均24名)

内容:フットサルの基礎練習・ゲーム等

タイトル:HalfTimeCUP

開催日/期間:2017.9.30(毎年1回)

場所:大阪府立臨海スポーツセンター(大阪府高石市)

対象:インクルーシブ(誰でも)小学生から成人まで参加あり

参加者数:310名

内容:◇開会式(ナカニによる手ぐい体操等)

◇障害者サッカー体験会(アンプティサッカー・ブラインドサッカー・デフサッカー)〈関西セッチェストレラス・大阪ダイバンス・アジアantal大阪・ファインフレンズ協力〉

◇フットサル大会(大学フットサルサークル・地元社会人フットサルクラブ・ソールフットボールチーム・知的障害者サッカーチーム・デフサッカーチーム等参加)

◇開会式

◇フットサル交流会(参加された方々が即席チームを作りゲーム)

■ソールフットボール【精神障がい者が参加】

タイトル:競技性ソールフットボールチーム

開催日/期間:概ね月2-3回

場所:長居障害者スポーツセンター・カモン高石・PIVOフットサルスタジアム

対象:精神障がい者

参加者数:10名程度

内容:ソールフットボール全国大会出場をめざす練習内容

タイトル:フットサル講習会

開催日/期間:年7回

場所:関西大学堺キャンパス体育館・フットメッセ天下茶屋・ノアフットサルス

テラ・久宝寺・オークアリーナ・河内長野市立体育館

対象:大阪府の各市の精神障害者

参加者数:計256名(平均37名)

内容:初心者向けのフットサルのルール説明・基礎練習・ゲーム等

■その他地域貢献

・大阪ソールフットボール協会へ役員派遣

・ソールフットボール大会運営

・ソールフットボール日本代表スタッフ派遣

・関西福祉科学大学、大阪保健福祉専門学校への講義等

②■インクルーシブ

タイトル:HalfTime娘。(女性対象フットサル交流会)

開催日/期間:2017.11.23

場所:フットメッセ天下茶屋

対象:小学生から成人までの女性

参加者数:25名

内容:初心者向けのフットサル基礎練習・ゲーム等

J Brave Football Club(大阪府吹田市)

①タイトル:引退なし

開催日/期間:年間を通じて

場所:高石市高師浜グラウンド

対象:小学生～大人(観)

参加者数:15～40

内容:交流を通じて、楽しく誰でも参加可能な親子サッカーを月1回以上のペースで活動中。また、不定期でい参加の練習を開催中。

③体を動かす楽しさを体感していただき、サッカーという競技の魅力や伝えられた。

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

枚方フットボールクラブ(大阪府枚方市)

②特にイベントとして実施した事項はありませんが日々の活動において年齢カテゴリーを意識せずに練習や試合、フットサル、親子サッカー等を通して学年ごとのチームでなく「クラブ」としてか活動しております。

③特にイベントとして実施した事項はありませんが日々の活動において年齢カテゴリーを意識せずに練習や試合、フットサル、親子サッカー等を通して学年ごとのチームでなく「クラブ」としてか活動しております。

一般社団法人 スポーツアカデミーロヴェスト神戸(兵庫県神戸市)

①ジュニア、ジュニアユースの子供たちがいつでも帰ってきて楽しくサッカーが出来るようになっています。

2016/1/25月の初嵐りに香川真司選手が来てくれる催しを企画して約100名の子供たちに喜んでもらいました。

当日は人数の制限があり、OBを呼ぶことが出来ませんでした。初嵐りは卒団生の帰る良い機会ですので、出来る限り続けていきたいと思います。

②高校を卒業するOBが戻ってこれるように、今年の1月から2月にかけて毎週木曜日の18:30～20:00の時間に人工芝グラウンドを借りてジュニアユースとの練習会及びゲームを開催しました。

毎回OBは10名程度参加してくれ、ジュニアユースのテクニック向上、またメンタルの刺激にも役買ってくれました。

③実施内容は他の団体も行っているものなので、特に紹介などありません。

HYOGO CHANCEN SV(兵庫県明石市)

①小学生主体のチームではあるが、年度末での引退はなく(退団はある)中学生以上もフットサル・ビーチサッカー中心だが練習・大会等に出場して楽しんでいる。

チャレンジドサッカーサークル神戸(兵庫県神戸市)

①タイトル:定期練習会

開催日/期間:2017/4/16

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:25

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:定期練習会

開催日/期間:2017/5/21

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:23

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:定期練習会

開催日/期間:2017/7/16

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:22

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:定期練習会

開催日/期間:2017/8/20

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:23

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:89フスビック神戸大会記念障害者サッカー親善大会に参加

開催日/期間:2017/9/3

場所:神戸市立しあわせの村

対象:登録メンバーの有志、家族

参加者数:25

内容:89フスビック神戸大会記念障害者サッカー親善大会に参加

タイトル:農業体験 サツマイモ掘り

開催日/期間:2017/10/15

場所/久保コー宅

対象:登録メンバー、家族兄弟姉妹、

参加者数:55

内容:サツマイモ掘り、さつまい汁を作ってみんなで食べる

タイトル:定期練習会

開催日/期間:2017/11/5

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:18

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:兵庫県特別支援サッカー連盟「ハンディキャップサッカー大会」

開催日/期間:2017/11/19

場所:神戸市立しあわせの村

対象:登録メンバーの有志、家族

参加者数:23

内容:兵庫県特別支援サッカー連盟「ハンディキャップサッカー大会」に参加

タイトル:定期練習会および「クリスマス会」

開催日/期間:2017/12/17

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:80

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、『クリスマス親睦会』

タイトル:定期練習会

開催日/期間:2018/1/8

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:23

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

タイトル:親子サッカー大会

開催日/期間:2018/2/18

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:48

内容:親子、家族と一緒にミニゲームをしました

タイトル:定期練習会、保護者会

開催日/期間:2018/3/18

場所:神戸市立有野小学校

対象:登録メンバー、兄弟姉妹、見学者

参加者数:29

内容:ランニング、パス練習、シュート練習、特別練習

③平成17年から活動を始め、今年で13年になります。小学生の新メンバーも増え、比較的重い障害を持つ子ども達が運動できる場所として、地域の中での認知度も上がってきたようです。

長く続けて来た事により、初期メンバーが成人した今、小学生のメンバーが新たに入部し始めるという、あとか次のサイクルが始まったような嬉しさを感じております。13年間に積み重ねてきた経験とノウハウを、このような活動を始めたいと思っているグループ、個人に広げていけるのではないかと考えられるようになったことをとても嬉しく思っています。

あかしユニバーサルフットボール連盟(兵庫県明石市)

①タイトル:元リリーガーによるサッカー教室

開催日/期間:2017年6月25日(日)13:00～16:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい児・者等

参加者数:60名

内容:元リリーガー5名によるサッカーメニューの体験とミニゲーム

タイトル:第4回あかしごらまぜサッカーフェスティバル

開催日/期間:2017年9月24日(日)13:00～17:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい児・者等

各団体2017年度活動報告

参加者数：108名
内容：サッカーメニューの体験とアンブティサッカー・ブラインドサッカーのデモンストラーションと体験、ミニゲーム

②タイトル：135Eネット・あかしユニバーサルフットボール連盟共催大会
開催日／期間：2017年12月10日（日）13:00～16:00
場所：明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場
対象：明石市内の作業所等施設利用者と職員を中心とした障がい者及び関係者
参加者数：100名
内容：障がい者スポーツへの関心を高めるとともに、日頃は利用者や同施設の職員のみの中で、他の施設職員とフットサルを通じて交流を深めることにより、利用者へのサービス向上と健康維持を目的とする。
③孤立している各施設の利用者と職員との交流がはかれた。

二社社団法人 オープンゲート スポーツクラブ(兵庫県四之宮市)

①タイトル：体験スポーツ教室
開催日／期間：2017年3月30日(木)
場所：西宮中央運動公園
対象：年長(新一年生)～6年生までの児童
参加者数：30名
内容：新学期を迎えるこの時期、クラブの恒例イベントとして昨年も企画・実施しました。ゴールデンエイジを迎える子どもたちの、習慣的運動の必要性を保護者の皆さんにもお話し色んな動作を交えながら、初めてサッカーボールを蹴る子どもたちと一緒に楽しみました。
②サッカーに少し興味があるが、本格的に参加するには障壁がある子どもたちはサッカーを身近に感じることができイベントとなりました。また保護者も我が子の走る姿を観て、成長の一端を感じることができました。
③サッカーに少し興味があるが、本格的に参加するには障壁がある子どもたちはサッカーを身近に感じることができイベントとなりました。また保護者も我が子の走る姿を観て、成長の一端を感じることができました。

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ(兵庫県神戸市)

①タイトル：グリーンアリーナ神戸フットサルフェスティバル
開催日／期間：2017年11月3日(金祝)
場所：グリーンアリーナ神戸
対象：オーバー35・オーバー45のフットサル・サッカープレーヤー
参加者数：260人
内容：グリーンアリーナ神戸において、オーバー35・オーバー45、U-18女子、U-12対象のフットサル大会を開催し、すべてのプレーヤーがフットサルを楽しむ環境づくりに寄与する
②タイトル：グリーンアリーナ神戸フットサルフェスティバル
開催日／期間：2017年11月3日(金祝)
場所：グリーンアリーナ神戸
対象：オーバー35・オーバー45のフットサル・サッカープレーヤー
参加者数：260人
内容：グリーンアリーナ神戸において、オーバー35・オーバー45、U-18女子、U-12対象のフットサル大会を開催し、すべてのプレーヤーがフットサルを楽しむ環境づくりに寄与する
③40歳以上のシニア層のサッカー、フットサルプレーヤーが増加しており、プレー機会の増加が望まれている。

ウエルネス(兵庫県尾崎市)

①タイトル：初蹴り(同窓会)
開催日／期間：1月4日(毎年)
場所：大阪府吹田市
対象：チーム在籍選手、卒業生、兄弟関係、それらの保護者
参加者数：50名
内容：年が明けての初蹴りをおこないました。在籍選手はもちろん、卒業生や保護者の皆さんも集まり、在籍選手対卒業生や在籍選手対お母さんチームやお父さんチームとの試合で交流しました。在籍の選手たちは、懐かしさもありがたさ卒業生へ話しかける姿がありました。また、お母さんチームと

在籍選手との試合は白熱し、接戦を制したお母さんチームがハイタッチを喜びを表現していました。

A-pfeile広島(広島県広島市)

①タイトル：アンブティサッカー全国大会参加 レオピン杯・日本選手権
開催日／期間：レオピン杯2013～2017年5月頃
日本選手権2010～2017年10月頃
場所：レオピン杯：大阪府
日本選手権：神奈川県
対象：全国のアンブティサッカーチーム・関係者
参加者数：おおよそ150人程度
内容：アンブティサッカーの公式戦が年2回開催されており、A-pfeile広島AFCからは最年長で51歳の選手も出場し、活躍している。また、その最年長の選手はチーム内で指導者の様な立場もっており、チームに欠かせない存在である。
③誰でもいつでも参加できる事をアピールしており、徐々にチーム人数が増えていること。

広島市内サッカー(広島県広島市)

①タイトル：男女ミックスバレーサッカー
開催日／期間：土曜日19～21時、毎月2～3回程度。
場所：広島県スポーツ会館
対象：10～50代までの性別、経験を問わず小学校高学年以上の男女(上限はあえて設けておりません。経験者の方だけでなく、初心者、未経験者でも練習ありません。女性の方もいっしょにやります。
参加者数：平均約15～20名程度。
内容：従来のサッカーやフットサルより比較的身体的に負担の少ない安全なバレーサッカーを行っています。年齢や性別を問わず、多くの方にプレーする場を提供し、スポーツの魅力を広く伝えています。
②タイトル：レディースバレーサッカー
開催日／期間：日曜日(お昼もしくは夕方)、月1回程度。
場所：広島県立総合体育館、広島県スポーツ会館
対象：女性の未経験者、初心者の方向けの安心安全なミニサッカー。
参加者数：平均約4～8名程度。
内容：フットサルコートよりかなり狭いコートで少人数、当たっても痛くない柔らかいボールで行きます。勝手の分かる男性スタッフも一緒にプレーしますので全くの未経験者でも安心して参加でき、ゴールも小さなミニゴールで、ルールも特に難しくありません。ゲームのプレー時間などはお集りの方によって、こちらで調節をしています。
③男女ミックスもレディースもいざれどもですが、全くのサッカー・フットサル未経験者(バスケボールやソフトボール、ラグビーなど)の方で初めてフットサルを経験される方が多いらしいこと。
逆に、元部活動やサークルでプレー経験のある方で体力的・年齢的にラダに負担の大きすぎざる従来のサッカーやフットサルではコートが広すぎ体力的についていけない、精神的に負担が大きいと感じられている方が多く産産されていることでしょうか。

キッズフィールド(香川県高松市)

①ふれあいちびっこサッカー

Fun.FC(徳島県海部郡海陽町)

①タイトル：通常練習
開催日／期間：毎週2回
場所：浅川グラウンド、体育館
対象：小学生、中学生、高校生、大人
参加者数：50人
内容：サッカー、フットサルの練習
③中学年代以上は学校の部活をやりながらの活動になりますが、参加メンバーが部の中心となって活躍しています。

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

アレックス サッカースクール(徳島県小松島市)

①タイトル：親子サッカー
開催日／期間：3月11日
場所：吉野川グラウンド
対象：スクール生、保護者、家族、友人
参加者数：約60名
内容：サッカーは、GK以外の手を使うことが出来ないでボールの扱いが難しい競技です。外から見ていると簡単に見えるプレーでも実は難しいということを経験して頂くと共に、その難しい競技に取り組む楽しさを参加者全員で共有することを目的としています。今年も沢山の保護者・家族・兄弟に参加して頂き、とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。

特定非営利活動法人 春日イーグルス(福岡県福岡市)

①タイトル：ずっとEnjoy!
開催日／期間：2017年4月～2018年3月
場所：春日市内グラウンド
対象：年長～シニア世代
参加者数：800名
内容：年長・小学生1～3年生(サッカースクール活動)市内11小学校にて実施。小学4～6年生(クラブ活動)市内全域を対象に5地域に分け、また、選択方式でジュニア(トップレベルを目指す)グループを作って活動。中学生(ジュニアユース)小学生年代からの一貫指導でレベル分けA、B1、B2でそれぞれのレベルでリーグ戦等に参加。高校生(ユース)U-15からの一貫したメンバーに他クラブや中体連等からの入会者を含めて活動。初のタウンクラブの全国大会に出場した。TOP(社会人、大学生)は県1部リーグで4位。練習のみの参加も認めため、参加者が多くなった。ミドル&シニア(35歳以上)県シニアリーグ2部にて優勝し、1部リーグ昇格が決定。ミドルリーグは準優勝。女子(ガールズ、レディース)はレベルに応じたEリーグに参加や1dayクラブ戦などに出場。
②タイトル：0-50
開催日／期間：2018年3月
場所：春日市総合スポーツセンター
対象：アラウンド50(45歳以上)
参加者数：12名
内容：アラウンド50(45歳以上)の方を対象にサッカーのミニゲームを行った。
タイトル：シニアフットサル
開催日／期間：2018年3月
場所：春日市総合スポーツセンターフットサルコート
対象：35歳以上(ミドル&シニア年代)
参加者数：12名
内容：シニアフットサルを平日(水曜日19:00～2時間)行った。その中で、「ウォーキングサッカー」を実施した。
③0-50の活動では、一度、シニアチーム年齢が上がったことで体力に自信を無くされてチームを離れた方々が戻ってこられて笑顔で参加され継続して行われることになった。「ウォーキングサッカー」は、生涯スポーツに適していると思う。

エスピーロ直方(福岡県直方市)

①タイトル：夏合宿
開催日／期間：2016/8/6～7
場所：芦屋
対象：小学生全カテゴリー
参加者数：25名
内容：トレーニング、プール、火花、BBQ
②タイトル：ヤママのつかみ取り
開催日／期間：2017/7/23
場所：竜王狭(直方市)
対象：小学生全カテゴリー
参加者数：45名

内容：ヤママのつかみ取り、そうめん流し
③タイトル：送る会
開催日／期間：2018/4/4
場所：安入寺公園
対象：小学生全カテゴリー
参加者数：45名
内容：卒業した6年生の送る会 良かった点は、下級生がお世話になった上級生に、サインボールを送り、感謝を表すことが出来た。

特定非営利活動法人カティオーラ(大分県大分市)

①タイトル：大分県リーグ(18歳以上)約20名 大分県内大分市ミドルリーグ(35歳以上)約30名 大分市内大分市マスターズリーグ(40歳以上)約30名 大分市内開催時期 5月から12月
内容 高校生から上は53歳まで幅広い年代層の方が生涯サッカーを親しみ楽しく活動しています。
②中学生の女子チームを卒業した高校生も、サッカーを引退せず引き続きレディースのチームに受け入れ活動しています。
週3回の練習と週末の活動 高校生1名
③40歳～50歳の方でも楽しく仲良くサッカーができて良いチームだと思っています。

テゲバジャーロ宮崎(宮崎県宮崎市)

①タイトル：社会人女子サッカーの活動場所提供
開催日／期間：2017年4月～2018年3月
場所：宮崎県
対象：高校卒業～年齢制限なしの女性
参加者数：18名
内容：結婚・出産、就職など社会人女性が活動しにくい現状の中、継続した活動が可能なようにサポートし、練習場所や大会参加などを楽しめる環境を提供した。最高齢は45歳。育児や家庭、仕事も両立して参加している。

一級社団法人蹴り1協会(宮崎県児湯郡都農町)

①タイトル：蹴り1GP全国大会
開催日／期間：H30年3月3日
場所：鹿児島県(宮崎県児湯郡都農町)
対象：小学3年生以上～一般
参加者数：約700名(選手)
内容：PK大会(U-9、U-12、一般)
②新規の県大会普及と開催
③未経験の方でも誰でも参加できるをモットーとし「君のゴールが日本を元氣にする！」をテーマに開催。地元のお通スナックのママさんと常連のお客様での中年チーム(最高齢77歳)が毎年最高齢記録を更新中。多世代の方とPK大会を通じ交流、皆が元気を頂いている。

妻北サッカースポーツ少年団(宮崎県西都市)

①タイトル：リズベクトフェスティバル
開催日／期間：2018/3/3
場所：西都市清水台総合公園多目的広場
対象：U12
参加者数：35
内容：小学校を卒業して進学するにあたって、サッカーは楽しいものとして認識してもらい、サッカーを続ける動機付けを行う。
③リズベクトフェスティバル内では、子どもにもサッカーを楽しむことへの表彰を保護者が我が子に對し行う。

一級社団法人サンピカス沖繩(沖縄県沖縄市)

①サンピカス沖繩FC 毎週金曜日 20時～22時 美里中学校グラウンド
参加者数20名

各団体2017年度活動報告

補欠ゼロ 活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道札幌市)

①(試合数の数に限らず出来る限り出場機会を与える)

期間:通年

場所:各試合会場

対象:在籍全選手

参加者数:50名

内容:勝利至上主義ではなく、あくまでも育成指導主義の観点から、できるだけ試合数を増やして、出場機会を多く設定することでベンチ待機の選手をできるだけなくし、わずかな試合時間でも出場機会を設けるにしている。
②大きな変化はなかったが、学年によって在籍選手の数に偏りがあるため、あらかじめ登録学年の多い学年の大会は、指導者の対応を工夫して積極的に複数チーム対応での出場にして、時にベンチがギリギリの設定でも全選手が出場できる機会を設けた。

③良かったことではないが、大会参戦時、1人でも多くの選手の出場ばかりに気が回ってしまい、ベンチに交代選手をおかざりギリギリで参戦したことがあった。運よく決勝戦まで進んだのは良いが、その試合の後半に相手選手から受けたファウルで自チーム選手が負傷。交代選手がいなかったためにその選手を最後までプレー続行させてしまい、結果的に試合も負けたが、その選手の怪我が長引いてしまい、かえって無理な活動をさせてしまった。いくら補欠ゼロであっても、予想できない場合もある。公式戦や任意大会の差に関係なく、突発的な状況を踏まえての交代が出来る状況を常に考えなければならぬと反省している。

ワイズクラブ釧路(北海道釧路市)

①タイトル:クワトロゲーム

開催日/期間:2018年3月13日

場所:多目的アリーナ

対象:小学生

参加者数:16

内容:4対4のミニゲーム大会。サッカー経験値の違いは関係無く、チーム編成で、みんな楽しくサッカーをする。チームで協力し合い、作戦を考えてチャレンジした。

シングルサッカークラブ(北海道札幌市)

①タイトル:U-12リーグ

開催日/期間:2017/05~2017/09

場所:札幌市および石狩市の小学校グラウンドおよび公共施設

対象:小学5、6年生

参加者数:16名

内容:全国各地で開催されている公式リーグ戦で、登録選手全員にスターティングメンバーを経験してもらい、控え(補欠)というイメージを払拭させた。

ボールスターユニテッドスポーツクラブ(青森県弘前市)

①冬期間のフットサルのトレーニングマッチの定期開催

②冬期間以外のフットサルのトレーニングマッチの定期開催

社会福祉法人 絆心会 まるくもど園(青森県十和田市)

①タイトル:『友情杯サッカー大会』

開催日/期間:春季大会 平成29年6月24日(土)、秋季大会 平成29年10月14日(土)

場所:十和田市陸上競技場

対象:十和田市、三沢市、五戸町、いらせ町、新郷村の保育園、認定こども園、7施設の4、5歳児児童

参加者数:およそ延べ300人

内容:技術や勝ち負けも大切ですが、幼児期にふさわしい『協調性・社会性・健康』の基礎的な人間性の育みを重視し、どの地域で生まれ育ってもサッカーをとおして友だちになれることを理念として、これに共感する7施設の園児が交流的な春と秋の年2回のサッカー大会を行う。
『友情杯の7つの理念』

1. 全園児参加型(補欠なし)のサッカーであること

子どもは皆等しく、心身ともに健やかに生まれ育てられ、よい遊び場と文化財を用意され、個性と能力に応じて教育される権利があります。

2. 子どもの興味を持続させる工夫をすること

子どもが楽しく飽きないように好奇心をくすぐるサッカーでありたい。

3. 子どもを誉めること、その気にさせること

誉めることはもちろん、ヒントを与えたり刺激したりと、子どものやる気を引き出し、伸ばすサッカーでありたい。

4. 子どもが大人の思い通りでなくても叱らぬこと

子どもはトライ&エラーの積み重ねで成長するものと理解し、様々な場面で、子どもたちを受容し、私たち大人は心に余裕を持って見守るサッカーでありたい。

5. 子どもの喜びや悔しさを大人も子どももみんな味わうこと

はじめは自分とボールだけの関係でも、少しずつ世界が広がって、その過程で仲間(友だち)と協力することの大切さ気づき、一緒に喜んでいく、悔しがったり、相手を称えたりするサッカーでありたい。

6. 子どもがラフプレーをして、フェアプレーを教えること

ルールの精神は、安全、公平、喜び、ルールがあるからおもしろい。体的なラフプレーだけでなく、言葉遣いも思いやりを持ったサッカーでありたい。

7. 子どもの健康状態に配慮すること

天候に応じた水分補給や衣服の調節はもちろんのこと、十分な睡眠時間や栄養を補うように促して、心身ともに健やかなサッカーでありたい。

③年度途中に、父親たちが『我々も子どもたちの頑張りに応えたい』との思いから『パパ会』を立ち上げ、親子の絆を深める場としてのサッカーや雪上サッカーを行った。子どもにとって父親と一緒にサッカーすることができて喜んでいて。また、父親の活躍が嬉しく、頼もしく、何より楽しい時間を過ごしたことが思いに残った。

Sendaiforza(宮城県仙台市)

①タイトル:大会参加

開催日/期間:通年

場所:東北各地

対象:中学生以上

参加者数:20人~30人

内容:東北各地の障害者サッカーのが主催する大会に参加している。選手の実態に合わせて3~4種類なカテゴリーがあり、どの選手も試合を楽しむことができています。

特定非営利活動法人まきばりフリースクール(宮城県栗原市)

①タイトル:交流試合の開催・参加

開催日/期間:不定期

場所:宮城県仙台市等

対象:不登校・ひきこもり経験・児童養護やその出身・精神や発達障がい等の方

参加者数:毎回10~15名程度

内容:同様の活動を行っているチームと、不定期で交流試合を開催し、全員が試合に出場し、それぞれの状態に応じたチャレンジが可能ないようにしている。

特定非営利活動法人ラソスポルチクルービ(宮城県仙台市)

②タイトル:練習試合や交流戦で毎試合、全員試合に出場する

開催日/期間:2017年度

場所:ラソスポルチクルービの活動場所

対象:全会員

参加者数:約80名

内容:練習試合や交流戦において、参加者が必ず全員出場をする。

③主催、試合経験の少ないU8(小学2年生以下)を対象とした交流戦を当法人主催で行っています。その際、当クラブだけでなく、参加チームのすべてにおいて全選手の出場を依頼し、毎月1回定期的に試合経験を積む機会を設けております。非常に好評で、定期的に参加されるチームが増えてきています。

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

特定非営利活動法人ブチユナイテッドアスリートクラブ(山形県米沢市)

①タイトル:JFA主催ファミリーフットサル大会参加

開催日/期間:2017.11.5(毎年参加)

場所:山形県山上市 山上市生涯学習センター体育館

対象:幼児から小学6年生までとその保護者など

参加者数:30人くらい

内容:当フットサルクラブで運営しているU-12のフットサルスクールには、競技志向者から初心者、発達障害等の適応障害児童生徒が在籍しており、通常開催される競技大会に参加しにくいため、JFA主催のファミリーフットサル大会に常時参加し、親子や仲間の絆を深めながら全員が出場してエンjoyする機会を設けている。
中には、フリースクール(不登校等児童生徒)生徒も在籍し、運動を楽しむ機会を提供している。

茨城県知的障がい者サッカー連盟(茨城県水戸市)

①タイトル:ほほえみカップサッカーチャンピオンシップ2017

9月18日(土)祝日に、ひたちなか地区多目的広場サッカー場で行われた予選リーグは、チャンピオンブロックが12チーム121名、フレンドリーブロックが18チーム199名、合計30チーム、320名が出場した。試合は、リーグ戦形式で行い、近年のレベルアップの成果もあり、接戦の試合も多く、サッカーの勝敗はもちろん、相手との駆け引きを楽しむ様子も見られるようになってきた。

10月14日(土)に予選と同じ会場で行われた決勝トーナメントは、予選リーグを勝ち上がったチャンピオンブロック10チーム96名、フレンドリーブロック12チーム147名、合計22チーム243名が出場した。決勝ステージにふさわしい戦いが繰り広げられ、チャンピオンブロックでは境FC Aチームが優勝し、フレンドリーブロックでは結城FCが優勝を飾った。

③フレンドリーブロックでは、試合の結果プラス10対10のPK戦を実施。そのPK戦は、試合に出場した時間が少ない選手から戦います。

バンクフル茨城ダイバーシティフットボールクラブ(茨城県ひたちなか市)

②ステイゴールドサッカースクールとの育成リーグ

③姉妹クラブのステイゴールドサッカースクールと定期的にリーグ戦を実施。当日の参加人数に応じ、8人制、フットサル、4人制など競技を柔軟に対応。

Rafaqa Club de Futbol(群馬県邑楽郡邑楽町)

①試合等で必ず全員が出るように工夫しています。

②大会を主催し全員が出場するルールで開催

蹴球団藤園キッカーズ(群馬県藤原町)

①クラブユースU-13の公式戦や各年代の交流戦などに、試合に出ない選手がいないように工夫している。

③5月、8月の交流大会(2泊3日遠征合宿)では、33名いる選手を2チームに分けて、大会に参加した。
10月のU-14公式戦を伴う、全学年参加の交流大会(2泊3日遠征合宿)では、U-15の選手24名を2チームに分け、U-14公式戦に出る少ない選手を、U-15選手と合わせて2チームを編成し、大会に参加した。
U-13についても、33名の選手を2チームに分けて大会に参加した。

FC REAL(埼玉県川越市)

①タイトル:REAL CUP

開催日/期間:2010年~2018年

場所:川越市近辺のグラウンド

対象:幼児~小6

参加者数:約10000名以上

内容:リアルサッカースクールに通う子を対象とした補欠がない全員参加型の学年別サッカー大会。

②タイトル:ZERORIGU

開催日/期間:2016年5月~2017年3月

場所:埼玉県内グラウンド

対象:小4~小6の埼玉県、東京都のチーム

参加者数:400名程度

内容:U-10リーグ・U-11リーグ・U-12リーグの3カテゴリーで補欠を作らない試合を行うリーグ戦を行った。

NPO法人浦和スポーツクラブ(埼玉県さいたま市)

①サッカーの生涯コース(週五土日に練習会を開催。場所は市内各所。50名の会員登録があり、毎回20~30名が参加。

サッカー広場 毎週月曜日、木曜日に幼稚園生と小学生を対象としてサッカーをとおして友達と遊ぶプログラム。駒場サブグラウンドで開催。約270名の登録があり概ね9割くらいが参加。

ra'pido futsal club(埼玉県久喜市)

①毎週月曜日 埼玉県北足立郡伊奈町 小学生向けフットサル教室 20名

寄居サッカークラブ(埼玉県大里郡寄居町)

①タイトル:寄居ベストレスベシヤルマッチ

開催日/期間:2ヶ月1回くらい

場所:深谷仙元寺、寄居用土など

対象:中学生から何歳でも

参加者数:40人

内容:沢山のメンバーに沢山試合をプレーしてもらう

白岡市サッカー協会(埼玉県白岡市)

①各チームに対し、協会プログラムを通してアピールを続けている。

4種1チームがグラスルーツに参加。

未だに勝利優先指導チームがある。

浦和グランパワーズ(埼玉県さいたま市)

①年間を通じて埼玉県シニアリーグ(OV50.OV60.OV65.OV70)に参加した。約50名

②年間を通じて埼玉県シニアリーグ(OV50.OV60.OV65.OV70)に参加した。約50名

③勝ち負けにこだわらず全員試合に出る。

南中野ダックスF.C.(埼玉県さいたま市)

①参加した子供は試合に出る。

②地域との交流が多くなり6年生は今年度約120試合を行った。多くの子供が試合に参加出来た。低学年も見習いクラブや近隣の朝鮮46の大会等大会への参加、ホームグラウンドへの招待試合が増え、多くの試合経験が出来た。

LIVRO 白岡SoccerClub(埼玉県白岡市)

②タイトル:ナイターリーグ

開催日/期間:毎月第二土曜日

場所:ざっくぐらーム(ドーム型フットサルコート)

対象:小学生、中学生

参加者数:各日50名前後

内容:天候に左右されないグラウンドで毎月1回の開催を確保、日中の大会や試合に参加出来なかった選手や、よりボールを蹴りたい選手を中心に試合を行う。

鶴ヶ島ブルーウィングスサッカー少年団(埼玉県鶴ヶ島市)

①タイトル:ALEGRIA活動(他団体交流練習会)

開催日/期間:月1回

場所:小学校校庭

対象:4.5.6年生

参加者数:1学年30名位

内容:参加チームを数グループに分け即席チームで練習又はリーグ戦を行う

②開催日/期間:縦割りリーグ

場所:小学校校庭

対象:4.5.6年生

参加者数:30名位

各団体2017年度活動報告

内容：2017年度前から活動していたが当団の4.5.6年で混合3チーム(年間固定メンバー)を作り年間リーグ戦を行っていました。本年より同点では終わらずPKでの勝敗勝ちの加点をしました。
③ALEGRIA活動では他チームのレベルの高い子を意識してチャレンジする姿、まだ達していない子は他チームの子に負けじと全力を出す。通常活動では見えない姿です。縦割りリーグでは特別ルールで4年生ゴールは2倍(6年キャプテンが審判に申請した時のみ)なので子供達でポジションを決め作戦を練るようになり、PKも特別ルール採用なので相手の出方を気にするようになりました。

TODO'S UNIDOS(千葉県八街市)

①タイトル: TODO'S UNIDOSの活動

開催日/期間: 通年

場所: 千葉県内の主に柏市や八街市

対象: 親子

参加者数: 毎回10~20名ほど

内容: サッカークラスやサッカー大会

パパさん、ママさん、幼児、小学生、中学生、高校生等のどのカテゴリーも、全員が必ずプレーしています。

③必ず全員がプレーするため、皆でサポートし合うこと

NPO法人 暮絵クラブ(千葉県千葉市)

①FC MAKUHARI サッカーチーム(ジュニアユース・ユース)運営

ドリームチャレンジフットボールファン(千葉県白井市)

②地元地域はクラブ、スクール、少年団など数多くの団体が活動しており、子供たちは簡単にサッカーをすることが出来ます。しかし、一方で各団体所属選手数も多く、競争も激しくなっています。そんな中、ほとんどのチームには補充、そのまた補充が発生します。つまらない等の理由でサッカーをやめてしまう子供たちの受け皿として、ほとんどのレッスン時間を試合に費やす、小学生中心の『子どもサッカーひろば』という名前のスクールを立ち上げました。集まってくる子供たちは未経験者から上級者まで男女さまざまで、チームづくり、コートのおおきさ、ゴールの数や向き、アイスホッケーのようにゴール裏もインプレーにしたりと子供たちが飽きないよう毎回工夫し、年次別で分けず、低学年高学年がいっしょに試合をして、全員ができるだけ同じ試合時間になるよう心がけています。

一般社団法人行徳スワローアカデミアクラブ(千葉県市川市)

②2018年3月23日・24日 TateyamaSpFes 場所: 千葉県館山市井出野尾グラウンド 参加者全員がゲームに参加できる場所(面数)と試合時間の設定(U-12年代での25分1本一長いのでいわゆる先発も疲れてしまい補充を言われるメンバーも出場時間が長くなる) 参加者数: 約120名
③場と試合時間の設定次第で子供はゲームに長く関われる。

三鷹JFC(東京都三鷹市)

②所属人数が多いうちは複数のリーグ戦に参加し補充が無いように努めた

ApreDiver(東京都江戸川区)

①公式戦、リーグ戦、練習試合等で全員出場をする

FC東京(東京都江東区)

①タイトル: 東京ガスカップジュニアサッカーフェスティバル

開催日/期間: 2017年8月17日~20日

場所: 時之栖スポーツセンター裾野グラウンド

対象: 小学5年生、6年生

参加者数: 約300名

内容: 大会規定において、選手交代について、メンバー総入れ替え・再出場を認め、1試合において全ての競技者が試合に参加するように定めた。代表者会議にて各チームへ伝達を行った。

③必ず全員が試合に出場することで、チームの連帯感・一体感の向上を感じることができた。

カプリング東久留米(東京都小平市)

①タイトル: 交流戦

開催日/期間: 1~2回

場所: ケルンフットサルホールクワ小金井

対象: 小学生

参加者数: 15名前後

内容: スクール活動ですが、定期的に交流戦や交流大会を実施。特に試合が少ない年長~2年生を対象に「試合動」を培う為にひたすら試合を行います。勝ち負けにこだわらずみんながピッチに立ちプレイします。

②2017年4月に自前のフットサルコートを開庁。それにより定期的に交流戦を開催する環境ができました。

③年長から月に1~2回試合を行うことで、1年後にはたくましく戦える選手がたくましく育ちました。練習も大切ですが、小さな時から試合をたくさんさせてあげること、勝ち負けをみんなで共有することの大切さを実感しています。

株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル)(東京都多摩市)

①タイトル: フットサル/フットサシテ/ビーチサッカー/サッカー大会

開催日/期間: 随時

場所: 関東・関西/東海/北海道

対象: 16歳以上

参加者数:

内容: 当社が特に普及に力を入れているフットサシテ(7人制サッカー)は交代自由です。しかも11人制に比べて、ボールのタッチが人当たり3.5倍というデータもあります。みんながピッチに立ち、みんながボールに触れる可能性がぐんと広まります。ここに補充はいません。

当社大会の中でも、とりわけ「フットサシテ(7人制サッカー)」は近年急速に需要が広がり、年間2121大会(2017年度実績)の大会を企画しました。

フットサシテは交代自由(レフリーに申告せずに自由に交代可能)というルールにより、交代がなくても活発に行われます。そもそも、先発と補充という概念が存在しておらず、みんなが平等にサッカーを楽しんでいます。

②2017年度から新たに大会を開催している会場の所在地

東京都小平市、東京都品川区、東京都江東区、東京都足立区、神奈川県横浜市港北区、神奈川県横浜市瀬谷区、神奈川県鎌倉市、神奈川県小田原市、埼玉県さいたま市、千葉県市川市、茨城県取手市、茨城県土浦市、愛知県安城市、京都府城陽市、大阪府門真市

一般社団法人日本フットサル連盟(東京都多摩市)

①タイトル: FOOTBALL 7 SOCIETY LEAGUE

開催日/期間: 1月~11月

場所: 関東エリア/関西エリア

対象: 大学生/社会人

参加者数: 関東リーグ20チーム250名/関西リーグ8チーム100名

内容: 誰でも気軽に参加できるフットサシテ(7人制サッカー)では、交代自由(レフリーに申告せずに自由に交代可能)というルールにより、交代が活発に行われます。そもそも、先発と補充という概念が存在しておらず、みんなが平等にサッカーを楽しんでいます。また、単発で終わるフンドイ大会だけではなく、年間を通じてフットサシテを楽しめるよう、一部地域においてリーグ戦を開催しています。

このリーグ戦は順次、全国へ広がっていきます。同時にカテゴリーも拡充していきます。

②タイトル: FOOTBALL 7 SOCIETY LEAGUE

開催日/期間: 4月~10月

場所: 東海エリア/北海道エリア

対象: 大学生/社会人

参加者数: 東海リーグ5チーム70名/北海道リーグ4チーム50名

内容: 2016年度からスタートした関東リーグ、関西リーグに続き、2017年度より東海リーグと北海道リーグをスタートさせました。

株式会社 アシスト(東京都練馬区)

①タイトル: 早朝サッカー教室

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

開催日/期間: 通年

場所: 杉並区内小学校

対象: 対象の小学校に通う生徒

参加者数: 20名程度

内容: サッカークラス

A.C ammaliatore(東京都葛飾区)

①タイトル: 全員に平等に経験を

開催日/期間: 毎週木・金

場所: 東京・川口

対象: 社会人・小学生

参加者数: 50名

内容: 練習・試合・イベント

LARGO FOOTBALL CLUB(東京都荒川区)

①年間を通じて(4月~11月)荒川区立尾久小小学校にて開催。前半試合に出られなかった子供を後半開始より出場させる。年間500人程。

③順位を争わない事が伸び伸び出来、失敗を許す雰囲気会場を包みように思われる。

アッチ・フットボールアカデミー(東京都豊島区)

①タイトル: U-8都電リーグ、U-12朝日リーグ

開催日/期間: 2017年4月~2018年3月

場所: 豊島区朝日小学校、豊島区巢鴨北中学校、都立大塚ろう学校、他

対象: 小学2年生以下、小学6年生以下

参加者数: 約40名

②U-10都電リーグ

③地域を超えたリーグ戦によるホーム&アウェイ

環境の違いと様々な人たちの触れ合い交流

FCアンビジャス(東京都品川区)

①タイトル: 品川区内で育成リーグに参加しました。

開催日/期間: 2016年~2017年(年間を通して)

場所: 区内小学校の校庭

対象: U10とU9(小学4年生と3年生)2カテゴリー別々のリーグ戦。

参加者数: 各チームで約16~24名

内容: 選手の試合経験を増やすために、育成を重点に置いていたリーグ戦に参加しました(区内11チーム)。都大会や区内大会だけでは試合数が少ないため、全員を出場させることは困難でしたが、選手の育成を目指す有志チームが集まり、年間を通して総当たりのリーグ戦を開催しました。自チームは全員出場を果たしました。

日本ウォーキング・フットボール連盟(東京都練馬区)

②タイトル: 第1回ペンギンズ・カップ

開催日/期間: 平成30年2月17日(土)

場所: 東京都杉並区下高井戸運動場

対象: 一般の老若男女

参加者数: 約100名

内容: 歩くサッカーウォーキング・フットボールのおそらく日本で初めての大会を開催。8チームが予選リーグ&決勝トーナメント計17試合を戦う。

東京都大学付属高等学校フットサル部(東京都世田谷区)

①タイトル: 相澤杯争奪フットサル大会

開催日/期間: 夏季、冬期、春期長期休業中

場所: 本校グラウンド

対象: 本クラブ選手、OB、他チーム選手など

参加者数: 100名/回

内容: 本クラブ主催の自主運営大会です。タイムマネジメント、審判など大会のすべてを選手主体により行っています。

タイトル: 各種カップ戦への複数チームエントリー

開催日/期間: 全日本ユース東京都予選(5月)、東京都ユースフットサルフェスティバル(1月)

場所: 小金井市総合体育館、フスコフットサルアリーナとしまえん

対象: 本クラブ選手

参加者数: 30名/回

内容: 公式戦経験をモチベーションとしてもらうため、全員出場できるように複数チームをエントリーさせています。

NPO法人スポーツカントリーアンビスタ(東京都葛飾区)

①タイトル: チャレンジリーグ

開催日/期間: 2017年度年間(前期/後期)リーグ

場所: 荒川区・足立区・葛飾区近辺

対象: 小学5年生以下のレギュラー以外の選手

参加者数: 約15チーム

内容: 普段の公式戦で補充になっている選手を中心に年間を通じて戦うリーグ戦。オフィシャルルールで審判着も着用し、充実した商品も用意し、Bチームの選手たちが輝ける(具体的にチャレンジできる)場を提供

③Bチームの選手たちが自分たちで掲げた目標に向かって自走する環境をつくった

・普段Aチームの応援では自分の子どものプレーを見れない保護者様が集まって応援できた

・指導者がBチームの選手に集中的に関わることができる時間ができた

クワイティーボFC(神奈川県横浜市区)

①自由参加型サッカー大会への参加

クラブ所属選手という形で形を区切るのではなく、そのときその時で自由に参加者を募り、サッカー大会へ参加を行う

2017年6月25日 スポーツジャングル10 14名参加

2017年6月5日 スポーツジャングル10 12名参加

2017年11月26日 スポーツジャングル10 15名参加

③高校生以上で世代を超えたメンバーの参加があり、人の繋がりを作ることが出来た。また、高校生までサッカーを続けられない選手もたにサッカーを楽しむ環境を提供出来た

NPO大豆フットボールクラブ(神奈川県横浜市区)

①タイトル: すべての選手に居場所と成長の機会を

開催日/期間: 通年

場所: 各場所

対象: キッズ、ジュニア、JY、シニア、TOP

参加者数: 350人

内容: それぞれのカテゴリーで定員の35人と定め、毎月の試合時間管理とレベルにあった大会にエントリーし、全員に出場機会を与える。

例)A層→春大会 B層→ルーキーリーグ

②タイトル: レコスリーグ

開催日/期間: 通年

場所: ドイツ学園

対象: U10~U12

参加者数: 300人(全体で)

内容: U12は、9人制、30分ハーフで行う。時間が長いので、必然的にたくさん選手が出場できるし、サッカーの長い時間の中で常に一定ではなく相手や自分たちの流れの中でいかにふるまうかを考えてプレーできる。この

リーグに参加することで在籍選手たちが試合機会が増えた

タイトル: 指導者を増やす

開催日/期間: 通年

場所: クラブ

対象: クラブ運営

参加者数:

内容: 指導者の数が増えないと子どもたちの機会は増えない。会費をあげて新しい社員をやとい、試合にいけるようにクラブ体制を強化した。

各団体2017年度活動報告

③定員をさだめること、クラブの体制を整えて指導者をふやすこと、は当たり前のようで当たり前でないこと、育成では選手が試合をしてなんぼ、その環境を整えることが大事だと考える。また、それぞれの子どもたちのレベル、意欲にあった機会を与えることが大切ではないだろうか。

ポットレーロFC(神奈川県横浜市)

- ①自チームで、補欠ゼロのカップ戦を開催
- ②今年で4回目です！

KAZU SOCCER CLUB(神奈川県横浜市)

- ①タイトル:KANAGAWA ROOKIE LEAGUE
開催日/期間:2017年4月～2018年3月末日
場所:神奈川県内の公園や小学校グラウンド
対象:U-8～U-12
参加者数:約1000名
内容:現時点で公式戦の出場時間が短い選手に焦点を当てた年間リーグ戦。
- ③KANAGAWA ROOKIE LEAGUE
以前取り上げて頂いたKANAGAWA ROOKIE LEAGUEですが参加チームに支えられながら継続して運営しております。
2018年度も84チームが参加し、選手たちの試合環境を整えていきます。

公田SC(神奈川県横浜市)

- ①タイトル:全員が試合に参加
開催日/期間:通年
場所:主催大会やカップ戦等
対象:全員
参加者数:所属82名
内容:公田SCでは、参加する大会で試合に行ったら必ず出場することとしています。また、複数チームエントリーや複数の大会参加で選手が参加する試合数を確保しています。
タイトル:公田カップ
開催日/期間:2017年12月?2018年2月
場所:桂台小学校等
対象:U-8～U-12全学年
参加者数:82名
内容:大会要項に全員出場とする規定を設け参加チームにも賛同してもらい補欠を作らない大会を企画。
③参加者全員がサッカーを楽しめるということについて、大会などで各チームの指導者同士で会話をし、関連な意見交換ができた。

横浜F・マリノス(神奈川県横浜市)

- ①タイトル:全日本知的障がい者サッカー交流大会/御殿場サマーカップ'17
開催日/期間:8月5日(土)、8月6日(日)、
場所:時之栖スポーツセンター
対象:中学生以上の療育手帳(愛の手帳)取得者またはそれに準ずる方
参加者数:約80名
内容:
大会理念として「誰でも参加できる大会」とうたっており、知的障がいのスポーツ参加促進と競技力育成を目指し、全国各地から参加チームを募っていることもあり、普段対戦する機会がない様々なチームと試合を行うことができる貴重な大会となっています。

知的障がい者サッカー推進連盟(神奈川県相模原市)

- ①8月20日、上手い下手関係なくチーム員であれば試合に出る。横浜FC東戸塚FP、横浜サッカーフェスタ、参加者数は?12チーム

NPO港北フットボールクラブ(神奈川県横浜市)

- ①タイトル:公式戦全員出場
開催日/期間:通年
場所:あらゆる試合会場
対象:小学生部員全員

参加者数:約120名

- 内容:参加した公式戦では全員に出場の機会を与える。
- ③他のチームに入っていれば活動を継続できなかったであろう(運動能力に恵まれない)子が、少しずつ上達し、自信をつけて成長していくことを確認できる喜びがあります。

株式会社レグロ(神奈川県鎌倉市)

- ①タイトル:「補欠(という劣等意識)」と無縁な自分らしい成長
開催日/期間:2017/4～2018/3
場所:フットサルコートTipi(大和市上草柳4-8-4)
対象:U-12
参加者数:10名程
内容:子どもたちの成長を最高の目的とし、それを願う保護者のみなさんと「同じ想い」「対等な立場」でコミットするスクールにおいて、2018/3までに延べ約60回のレッスンをを行い、選手一人ひとりの「強み・個性」に寄り添った指導を行うことで、すべての選手が「補欠(という劣等意識)」と無縁な自分らしい成長の過程を歩みきた。その成長ぶりは、毎回映像に残し、子どもたち、保護者、コーチで共有し確かめ合いながら継続しています。
②タイトル:「コーチ向け冊子『コーチング初心集』を国際学会で発表」
開催日/期間:2017/7/12
場所:ドイツ(バイエルン州)
対象:一般/コーチ
参加者数:学会参加者(数百名)+冊子を手にした方(延べ500名程)
内容:子どもたち、選手の保護者やコーチの考え、接し方、練習内容、起用方法が、「誰もが心からサッカーを楽しめるか」、「万年補欠(という劣等意識も含め)を生み出してしまうか」を分ける大きな要因の一つである可能性を見つけ、そのことへのアプローチの一つとして、パターン・ランゲージという手法(暗黙的な知識や離散的な情報を言語化・体系化して、活用可能にするための手法)を用いたコーチ向け冊子を制作。それを国際学会の場で発表することで、その存在をより多くの人の知ってもらい、結果として、延べ500人の保護者や指導者をはじめとする方々の手にお届けすることができました。
③先述の活動をベースに今後も継続・発展させられるようにしていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い致します。

横浜かもめスポーツクラブ(神奈川県横浜市)

- ①年間を通じて「kanagawa ルーキーリーグ」に参戦。
会場が確保できた際は積極的に試合を行い、全員同じ機会を得られるようにプレー時間を確保しています。
②タイトル:第1回かもめチャレンジカップU10
開催日/期間:2017年11月12日
場所:横浜市立松本中学校
対象:公式戦出場機会の少ない選手
参加者数:約60名
内容:公式戦に出場機会の少ない選手を対象にした主催カップ戦を開催いたしました。参加クラブは6クラブです。トロフィー、盾をかけた真剣勝負に選手たちが非常に一生懸命戦ったことにより、自然した11戦となりました。
③上記のようなカップ戦は、本当に素晴らしい機会となりました。今後このような機会を増やしていきたいと思えます。

一般社団法人筑北スポーツ振興協会(長野県東筑摩郡筑北村)

- ②タイトル:筑北SC活動
開催日/期間:通年
場所:筑北村サッカー場他試合会場
対象:U12、U15
参加者数:50人
内容:クラブチームとして、日々の練習から地区リーグ、大会に参加している。
③小学生チームは元々あったが、中学年代で活動するチームがなかったことから活動始める。全員が試合に参加するように活動、男の子も女の子も関係なく活動している。

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

フリーダム新潟FC(新潟県新潟市)

- ①タイトル:補欠ゼロ
開催日/期間:年間を通して
場所:公式戦・練習試合共に各試合会場にて
対象:園児、小学生、中学生
参加者数:8人～30人
内容:公式戦・練習試合問わず、参加した園児・児童・生徒が必ず全員が試合に出場する。時には保護者も参加していただきました。
③能力的に劣る児童や生徒、サッカーを始めたばかりの児童や生徒もいますが、必ず全員を試合に出場させています。その中で中学生が小学生に教えている場面もあり、児童・生徒間での絆ができたように感じています。

パトリアーレSABAE(福井県鯖江市)

- ②タイトル:活躍できる日
開催日/期間:通年
場所:福井県内
対象:小学生、高校生
参加者数:約25名
内容:登録選手全てに「力を発揮できる場」を提供を掲げています。公式戦日にもTMを同会場と一緒に進むことで、参加した全員が試合に出場出来るように調整しました。

清水エスバルス(静岡県静岡市)

- ①タイトル:清水サマーフェスティバルU12U11
開催日/期間:8月21日～22日
場所:清水ナショナルトレーニングセンター
対象:小学5年～6年生
参加者数:320名弱
内容:Jクラブによる5年生～6年生による大会
タイトル:第6回エスバルスサッカースクール招待試合(2年生)
開催日/期間:9月9日
場所:清水ナショナルトレーニングセンター
対象:小学2年生
参加者数:108名
内容:Jクラブによる2年生対象の試合
②タイトル:キッズ(U-6)サッカー交流会
開催日/期間:9月17日
場所:エスバルスドリームフィールド清水
対象:年中児・年少児
参加者数:約80名
内容:清水近辺の少年団に所属するキッズの試合

特定非営利活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター(静岡県磐田市)

- ①タイトル:全プレーヤー出場
開催日/期間:通年
場所:各大会・試合会場
対象:小学1年生～小学6年生
参加者数:80
内容:チーム活動をしているFCポラスター磐田において練習試合、公式戦問わず、全てのベンチ入りプレーヤーを試合出場させる。
フットサルスクールプレーヤーの大会・試合参加時も同様に全プレーヤーを出場させる。
②指導者へ選手を出来る限りプレーヤーと呼ぶように徹底させ、こども達にプレイさせることを主眼に置く指導を心掛けるよう指示した。

裾野西サッカー少年団(静岡県裾野市)

- ①裾野西サッカー少年団では、子供達で自分で考え、全員で目標を決めて試合に望んでいます。
少年団主催のプレイヤーズファースト交流戦を通し、地域と同様のプレイヤーズファーストに賛同するチームとの交流も多くなりました。

一般社団法人PlusDeporte(静岡県静岡市)

- ①タイトル:他チームとの交流試合
開催日/期間:定期的
場所:東京・静岡・関西
対象:小学生1～6年生
参加者数:20～30人
内容:各エリアの他のスクールと積極的に交流試合をし、基本的には参加してくれた生徒全員を出場させ、試合の経験を積ませる活動を継続的にっております。
②タイトル:海外遠征
開催日/期間:2017年8月
場所:クロアチア
対象:小学生4～6年生
参加者数:20名程度
内容:さらなるレベルアップを目的に、2017年夏から海外遠征にも参加し、各エリアからの選抜チームで大会に出場しました。結果は惨敗でしたが、参加した生徒全員をコンスタントに出場させ、全員にとって良い経験になったと思います。2018年8月にクロアチア遠征を予定しております。
③現在スクールをもっている県以外からも1日の特別レッスンなどの依頼を受け、県外に出張トレーニングに行ってきました。その中で富山県でのイベントから、正式にスクールを出してほしいと依頼があり、2018年4月に富山スクールを開校いたしました。

一般社団法人One Life(愛知県名古屋)

- ①毎週火曜日には障害児とサッカーを行う

VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB(愛知県名古屋)

- ①まだ、チームとして活動できる人数にありませんので、試合などの経験が無く、補欠が出る人数に至りません。

Club Atletico AICHI(愛知県尾張市)

- ①タイトル:全員がプレー
開催日/期間:いつでもどんな試合でも
場所:各試合会場
対象:年中～6年生
参加者数:80名
内容:練習試合と公式戦に関わらず、その日の試合会場にきている選手全員に対してほぼ平等なプレー機会を与える。

碧フットボールクラブ(愛知県碧南市)

- ①タイトル:通常活動
開催日/期間:通年
場所:リーグ戦等試合会場
対象:小学生～中学生
参加者数:60人
内容:カテゴリー・学年毎に定員(最大12人)を決め活動することにより、参加する全員が試合に出場できる環境を提供しています。
②特になし
③人数の少ないカテゴリーは、他のクラブと協力する事により互いに活動を助け合い活動しています。負けて良い試合はありません。その上で目の前の試合に勝つ事より、今いる選手がサッカーを通して成長し、その子が親になった時に子どもを当クラブに入れたくなる活動を提供していく事でサッカー文化を育てて行きたいと考えています。

NPO法人GranArbolスポーツクラブ(愛知県名古屋市)

- ①親子や女子を対象としたサッカー教室の実施

ワイヴァンフットボールクラブ(愛知刈谷市)

- ①タイトル:WYVERN CUP U8
開催日/2017年07月23日(日)



各団体2017年度活動報告

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：8歳以下の小学生

参加者数：5チーム（約80名）

内容：8歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：WYVERN CUP U12

開催日：2017年08月05日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：12歳以下の小学生

参加者数：9チーム（約144名）

内容：12歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：WYVERN CUP U13

開催日：2017年08月11日(金)

場所：東浦みどり浜緑地グラウンド

対象：13歳以下の中学生

参加者数：9チーム（約144名）

内容：13歳以下の中学生のサッカー大会

タイトル：U10 wyvern summer cup 2017

開催日：2017年08月20日(日)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：10歳以下の小学生

参加者数：8チーム（約128名）

内容：10歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：U11 wyvern summer cup 2017

開催日：2017年08月26日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：11歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：11歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：釜本カップ U8サッカー大会

開催日：2018年01月13日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：8歳以下の小学生

参加者数：12チーム（約192名）

内容：8歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：WYVERN DAY ミニサッカーU7/U8

開催日：2018年02月24日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：8歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：8歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：U7 WYVERN CUP

開催日：2018年03月03日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：7歳以下の小学生

参加者数：8チーム（約128名）

内容：7歳以下の小学生のサッカー大会

タイトル：U8 WYVERN CUP

開催日：2018年03月03日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：8歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：8歳以下の小学生のサッカー大会

②タイトル：ミニサッカー大会U7/8オープンあとりえ

開催日：2017年08月12日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：8歳以下の小学生

参加者数：3チーム（19名）

内容：8歳以下の小学生のミニサッカー大会。ダブル・キック・パスをつかったらんなゲーム、試合をおこない順位を決める。

タイトル：wyvern silent cup U10 2017

開催日：2017年11月04日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：10歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：10歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：wyvern silent cup U11 2017

開催日：2017年11月05日(日)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：11歳以下の小学生

参加者数：5チーム（約80名）

内容：11歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：U9サイレントカップ

開催日：2017年12月03日(日)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：9歳以下の小学生

参加者数：5チーム（約80名）

内容：9歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：U9サイレントカップ

開催日：2017年12月03日(日)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：9歳以下の小学生

参加者数：5チーム（約80名）

内容：9歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：競ヶ池接骨院presents ワイヴンサイレントカップU11

開催日：2017年12月23日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：11歳以下の小学生

参加者数：8チーム（約128名）

内容：11歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：wyvern silent cup U10 2018

開催日：2018年02月10日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：10歳以下の小学生

参加者数：5チーム（約80名）

内容：10歳以下の小学生のサッカー大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。

タイトル：2018 ワイヴンサイレントミックスカップU11

開催日：2018年02月17日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：11歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：11歳以下の小学生のサッカー・フットサル大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。予選リーグはサッカーとフットサル両方おこなう。

タイトル：2018 wyvern silent mix cup U10

開催日：2018年03月24日(土)

場所：UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象：10歳以下の小学生

参加者数：6チーム（約96名）

内容：10歳以下の小学生のサッカー・フットサル大会。グラウンド内には選手のみ。選手交代、ミーティングなどすべて選手がおこなう。1試合で全員出場しなければならない。予選リーグはサッカーとフットサル両方おこなう。

③サイレントカップでは子供たちだけでポジション決め、選手交代、ミーティングをおこなうことで、コーチや保護者の方たちからは子供たちの音階見られない自主的な姿がみられてとても良いと評判です。

しあわせの食卓プロジェクト(愛知県愛西市)

①選手人数が試合で使えます。

②スペイン MECUPでも全ての選手を使っています。誰が出てでもハフォーマン

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

スが落ちないような育成を心がけています。

特定非営利活動法人JOANSスポーツクラブ(愛知県知立市)

①タイトル:

開催日：期間：毎週末

場所：愛知県内

対象：4歳～11歳

参加者数：10名ほど

内容：スクール対象の試合

九番団地子サッカー教室(愛知県名古屋市)

①毎週土曜、名古屋港区の東海小学校グラウンドで小学生男女を対象に

サッカー教室を実施。OBの中学生や父兄も練習や練習試合に参加。

一般社団法人リコポエンテスクール・アカデミー(愛知県豊橋市)

②タイトル：ソサエの普及活動

開催日：期間：2017.11～

場所：フガールエスタディオ石巻

対象：高校生～社会人

参加者数：100名ぐらい

内容：トレーニングマッチ、年末の年忘れソサエなど交代自由なのでたくさんの方がヒーリングに立ってプレイすることができました。

Luciro Football Club(愛知県名古屋市)

①タイトル：ルシーロサッカー交流会

開催日：期間：年3回

場所：愛知県春日井市総合体育館グラウンド

対象：幼児～小学生

参加者数：約100名

内容：日頃の練習の成果を発揮する場として、子供同士の試合や親子対決など、参加者全員がサッカーを思いっきり楽しむイベントです。

豊田竜神FC1977(愛知県豊田市)

①毎年、豊田運動公園をお借りして、竜神フェスティバルを実施。コンセプトは「草サッカークラブでも年に一度は芝生でサッカーを楽しむ」です。1985

年から続いていきます。小1年から小6年までの選手が招待チームと講義に

関係なくひたすら試合を楽しみます。もちろん全選手が何回も試合に出場して

います。

③どんな試合にも全選手を出場させると、能力の低い選手も「ほくもショート

が打たれた」と言ったり、能力の高い選手がカバーしあう場面が増えた。

七里御浜FC(三重県南牟婁郡御浜町)

①当クラブは4種年代のクラブですが、2017年度は年間に全カテゴリーを含め

て100試合経験しました。どのカテゴリーでもすべての選手が平均的に試合を

経験出来るような機会が提供できました。

②2017年度は新たな活動は実施することが出来ませんでした。

③少年高齢化が急速に進む地域での活動ですが、普及と育成をスクールと

クラブの両方の活動をバランスよく行うことで、この地域における様々なス

ポーツ活動の中でも参加者数では最多を維持しています。これは、補欠ゼロ

を推進する活動も一つの要因になっていると考えています。

ベルナサッカークラブ(三重県三重郡菟野町)

①タイトル：Jogo com PERNA

開催日：期間：年9回13日間

場所：三重県三重郡菟野町大羽権運動公園

対象：U-15～6

参加者数：各回約400～150人

内容：20～30分1本のゲームをできるだけたくさん行い、その全てのゲームに

全てのチームが補欠なしで全員プレーする。

②継続しての活動ばかりで新規のものはありません。

③プレーする人数が決まりがありませんので、Aというチームが10人で参加し

ていれば対戦相手もそれに合わせて10人で戦うなど、柔軟にできるだけ多く

の選手がプレーできるよう工夫しています。

NPO法人BIWAKO SPORTS CLUB(滋賀県大津市)

①「人数が多い学年は2チームで出場するなどの工夫を」とり

・人数が多い学年は2チームに分かれて公式戦に出場しており、なるべくみんな

が試合に出場できるように考え活動に取り組んでいます。

「たくさん選手の試合経験を積めるように配慮する、また試合数の確保に

努める」

・ジュニアユースチーム(BSC JY)は各学年20名ずつ在籍しております。練習

試合では全員がほぼ同じ時間に出場できるように努めています。また公式戦

では大会ごとに位置づけをして公式戦になかなか出場できない3年生の選手

にも出場してもらえよう心掛けています。

②ジュニアユース(BSC JY)においてリーグ戦に2チームのエントリーを行い、

なるべくたくさん選手の公式戦に出場できるようにしました。

AC.gloria(京都府京都市)

①タイトル：リーグ戦を全員出場

開催日：期間：年間通じて

場所：京都府内

対象：U12全カテゴリー

参加者数：

内容：FARリーグ戦は基本その学年が全員出場&下の学年が日により選ばれ

て、上のカテゴリーの公式戦を経験する場を作る。

NPO法人 吹田南フットボールクラブ(大阪府吹田市)

①試合の際には全員が半分以上の出場時間を確保するように配慮している

J.Rave Football Club(大阪府吹田市)

①タイトル：補欠ゼロ

開催日：期間：年間を通じて

場所：泉北地域

対象：園児～小学生クラス

参加者数：15～20

内容：試合には全員が出場します。メンバーは子どもたちが決め、基本的に

任せています。試合での課題を全員と話し合いながら練習にも取り組んでい

るのに、誰に任せるともなく、子どもたちは責任持って発言できるようにな

った。

③試合には全員が全員！

試合での課題を全員と話し合いながら練習にも取り組んでいるので、誰に任

せる訳でもなく、子どもたちは責任持って発言できるようになった。

枚方フットボールクラブ(大阪府枚方市)

②特にイベントとして実施した事項はありませんが日々の活動において技術

レベルでの仕上げをせず学年単位での練習を中心に試合機会も原則均等に

与えながら活動を行っています。結果退部者もほとんど継続しています。

③特にイベントとして実施した事項はありませんが日々の活動において技術

レベルでの仕上げをせず学年単位での練習を中心に試合機会も原則均等に

与えながら活動を行っています。結果退部者もほとんど継続しています。

一般社団法人 スポーツアカデミー ロヴェスト神戸(兵庫県神戸市)

①年間を通じて試合に出場するメンバーをみんな同じ回数や同じ時間にする

ために、メンバーのチェックをしながら進めています。

②現状で充分に対応出来ていますので、特に新しいことは実施していません。

③特にありませんが、みんな同じ時間の出場ということで、子供たちは元氣

に試合を楽しんでもらえるようになっています。

HYOGO CHANCEN SV(兵庫県明石市)

①HYOGOなのでしこっパ Uー15女子フットサル選手権・浜坂ビーチサッ

カー・兵庫県小学生女子サッカー大会・鳴門少女サッカー大会・デブン兵庫

県女子フットサルクラブ等各大会にて全員出場することができました。

各団体2017年度活動報告

あかしユニバーサルフットボール連盟(兵庫県明石市)

①タイトル: 第4回あかしユニバーサルフットボール連盟キッズフェスティバル
開催日/期間: 2017年5月14日(日)14:00~16:00
場所: 明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場
対象: 申し込みのあった障がい児等
参加者数: 48名
内容: ふれあいあそびとサッカーメニューの体験とミニゲーム
タイトル: 元Jリーガーによるサッカー教室
開催日/期間: 2017年6月25日(日)13:00~16:00
場所: 明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場
対象: 申し込みのあった障がい児者等
参加者数: 60名
内容: 元Jリーガー5名によるサッカーメニューの体験とミニゲーム
タイトル: 第4回あかしこちやまざサッカーフェスティバル
開催日/期間: 2017年9月24日(日)13:00~17:00
場所: 明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場
対象: 申し込みのあった障がい児者等
参加者数: 108名
内容: サッカーメニューの体験とアンパティサッカー・ブラインドサッカーのデモンストレーションと体験、ミニゲーム
②タイトル: ユニバーサルフットサル交流会
開催日/期間: 2017年11月23日(日)13:00~16:00
場所: 明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場
対象: 申し込みのあった障がい児者等
参加者数: 110名
内容: 障がい者スポーツへの関心を高め、スポーツ楽しさと素晴らしさを体験することで生涯スポーツに結び付ける。また、障がいのある方と健全な方の交流を深め、共生社会の実現に向けて寄与する。
③(一社)明石サッカー協会の協力のもと障がい者と健常者の交流がなされ、みんなでみんなを協力し合って活動することができた。

特定非営利活動法人神戸アスリートタウンクラブ(兵庫県神戸市)

①タイトル: グリーンアリーナ神戸カップU-18フットサルフェスティバル
開催日/期間: 2017年7月25日(火)、26日(水)
場所: グリーンアリーナ神戸
対象: U-18のフットサル・サッカープレーヤー
参加者数: 450人
内容: 高校フットサル部・サッカー部、フットサルクラブ、サッカークラブ、さらには同窓生チームなど、多様な参加形態で参加できる大会
②タイトル: グリーンアリーナ神戸カップU-18フットサルフェスティバル
開催日/期間: 2017年7月25日(火)、26日(水)
場所: グリーンアリーナ神戸
対象: U-18のフットサル・サッカープレーヤー
参加者数: 450人
内容: 高校フットサル部・サッカー部、フットサルクラブ、サッカークラブ、さらには同窓生チームなど、多様な参加形態で参加できる大会
③前年度までの16チームから24チームに枠を増やして開催したが、それ以上の参加希望があった。

ウエルネス(兵庫県尾崎市)

①タイトル: ウエルネスキッズサッカー大会
開催日: 2018年1月21日
場所: 大阪府堺市J-GREEN堺
対象: U-6
参加者数: 80名
内容: ウエルネスグループのキッズたちが業まりJグリーン堺のピッチでボールを追いかけゴールを目指しました。各チーム、在籍人数に違いがある場合は複数チームにて大会に出場し、皆たくさんチャレンジできる機会がありました。チャレンジできる機会を保障することで、子どもたちには何度もチャンスが訪れ、思い切りのよいプレーが随所に見られました。

すごうSC(岡山県倉敷市)

①タイトル: 年間を通した参加選手全員試合出場
実施日: 公式戦及び各TRM
場所: 倉敷市立蒼生小学校グラウンド他
対象: 公式戦及びTRMでの参加選手全員出場
参加者数: 約20人
対象: 全学年の試合に参加する全選手

JOYFOOT(広島県広島市)

①年10回程度主催の大会を橘倉山健康運動公園、戸坂運動広場、海田総合公園などで開催してきた。参加チームは8~12チームで参加選手は100人程度である。各チーム4~5試合を行い優勝チームに賞状とトロフィー、各チーム1名に優秀選手賞を贈呈した。
また、交流会として月に4~8回4チームでの交流試合を各チーム3試合ずつ行なっている。参加者数は約50名くらいです。
②大会主旨にグラスルーツ推進を謳い、参加選手全てに各試合15分以上のプレイ時間を保障してあげたことをルールに明記しました。
また、昼休憩時間を利用してイベント大会を開催し、参加選手全員でのキックターゲット大会を行い優勝チームにはユニフォームを贈呈しています。
③試合に勝つたいという気持ちは選手や指導者はもちろんありますが、ルールの中に出場時間について明記すると各チームゆとりができたのが勝敗に強い気持ちも少なくなったように思います。チーム事情によってはオーバージョの参加もOKとしたのも互いのチームをリスペクトする雰囲気もできつつあるように思います。イベント大会のキックターゲット大会は、運もあるので参加チームどこも楽しみにしてくれています。

キッズフィールド(香川県高松市)

①ふれあいちびっぴーサッカー
開催日/期間: 2017年
場所: 香川県内
対象: 幼児・小学生
参加者数: 74名
内容: 練習試合〜各種大会と、すべての選手を出場させている。
②なでしこ広場の開催を検討中
③勝ち負けだけに拘らず、何らかの形ですべての選手に試合経験を積んでもらう。

Fun FC(徳島県海部郡海陽町)

①タイトル: サッカー大会参加
開催日/期間: 2017年
場所: 徳島市球技場
対象: 小学生1、2、3年生、幼稚園
参加者数: 15人
内容: 大会に出た時は期間を通して参加メンバーがほぼどう時間ピッチにたつことを基本に活動、試合エントリーしています。

アレックス サッカースクール(徳島県小松島市)

①タイトル: 「助任大会」に参加
開催日/期間: 2月24日
場所: 徳島市球技場
対象: 小学生2、3年生、幼稚園
参加者数: 12名
内容: アレックスサッカースクールでは「試合や練習においてサッカーを楽しむ機会を平等にする」事を大きな方針として活動を行っています。2018年2月24日に開催された助任大会(U-9)では、小学1年生~3年生の12名が参加し、年齢やサッカー歴に関わらず、全員が試合に出場しました。

特定非営利活動法人春日ーグルス(福岡県春日市)

①タイトル: みんなPLAY! 相欠なし(リーグ戦及びカップ戦)
開催日/期間: 2017年4月~2018年3月
場所: 春日市白水大池公園多目的広場(天然芝G)

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

対象: 小学1~6年生
参加者数: 550名
内容: 小学1~3年生は年4回のキッズフェスタ(全員参加)4~6年生はEリーグ(Eaglesリーグ)の1部・2部・3部とディビジョンを分けてカップ戦(年3回)及びリーグ戦(前期:後期)を実施して継続して行っている。
②タイトル: みんなPLAY! ()
開催日/期間: 春日市中学生サッカーフェスティバル
場所: 春日市白水大池公園多目的広場 10会場(中学校等)
対象: 中学1・2年生(春日市、大野城市、筑紫野市、太宰府市、那珂川町、県外チームも参加可能)
参加者数: 200名
内容: 春日市を中心としてクラブ、中体連と連携して筑紫地区で2日間フェスティバルを開催した。全51チーム参加。地元中学校やクラブの協力のもとに自主運営方式にて実施した。
③クラブチームと中体連チームが協力してフェスティバルを実施できたことは、大変、意義のあるものとなった。

エスパーロ直方(福岡県直方市)

①タイトル: JFA主催キッズフェスタ
開催日/期間: 2016/9/18より参加
場所: グローバルアリーナ
対象: U-10以下
参加者数: 50名
内容: JFAの主催意図に賛同し、サッカーに親しみ機会を作った。Jリーグのユースチームコーチによるサッカークリニックなどにも参加
②タイトル: エスパーロ主催の大会
開催日/期間: 2017/8/27
場所: 直方西部運動公園
対象: 全カテゴリー
参加者数: 45名
内容: エスパーロ主催での近隣チーム4チームを招いて初めての大会。1回生につき2チーム作り出場時間の短い選手が出ない初めに運営した。
③タイトル: フォルテカップ
開催日/期間: 2018/1/21
場所: 直方東小学校
対象: U-9
参加者数: 14名
内容: 3年生の初めてタイトルの懸かる試合に出場した。
④タイトル: サッカー大会
大会への参加するものではなく、事前にチーム全体でタイトルを目標に向かっていた。結果は4位だったが、全員同じ気持ちで試合に挑めた。

ソルニニョFC(佐賀県原市)

①親子サッカー、佐賀県フットボールセンター、親子でサッカー、130人

よこおスポーツクラブ コラボ横尾(長崎県長崎市)

①タイトル: 全カテゴリーの試合機会の創出、チームの枠組みを超えた協力体制
開催日/期間: 通年
場所: 主に長崎市立横尾小学校体育館
対象: 全選手(特に大会や試合経験が少ない女子や低学年)
参加者数: 所属選手30名+協力チーム+対戦相手
内容: 全ての選手が試合を楽しんで欲しいです。当クラブは女子選手も多く在籍しています。低学年や女子の試合や大会がありませんため、出来るだけ機会を作りたと思っています。両親共働きなど、大人の都合で習い事(フットサル・サッカー)ができないことも遠(とその親)を支援するために、専任だけでなく番権を譲りながら運営を行っています。校外の試合ではなく、自分たちで企画した自分たちの小学校、校区内の施設で多くの練習試合やカップ戦などを企画しています。近隣では低学年だけ、女子だけのフットサル・サッカーチームがありません。
-高学年女子VS中学生男子
-中学生(条件付き)VS低学年



などなど、できるだけ、切磋琢磨できるようチーム力が均衡した、力の差が大きくなり、相手が少し強いらいになるよう工夫して、対戦相手を依頼し試合を多く組むようになっています。継続していることもあり他クラブさんの理解と協力が得られています。数少ない女子や低学年の大会などには、近隣チームと合同で出場するなど、子ども達が楽しめるような環境を作るように、チームの枠組みを超えた協力体制、連携の推進も積極的に回っています。皆、試合が大好きです。
②タイトル: こども連主生(企画・運営)の交流ファミリーフットサル大会
開催日/期間: 2017/12/23
場所: 長崎外国語大学 体育館
対象: 全選手+交流がある近隣クラブの選手及びその家族
参加者数: 約100名
内容: ファミリーフットサル大会
企画: よこおスポーツクラブ コラボ横尾・フォルテ
協力: ラミナフットサルクラブ、Um Dois Sports、U-KI FUTSAL SCHOOL
目的: みんなでフットサルを楽しむ
目標: ①女子と低学年の試合機会を創出する
②家族のフットサル競技理解を深める
③こども達が主体的に運営をする
④両チームの親睦を深める

学年や性別を問わずに、皆がフットサル試合を楽しむ環境を作りたいと考えています。こども達だけでなく、家族みんながフットサル体験をすることで、楽しさなど魅力を知り、コミュニケーションの促進や前向きな声援に繋がると考えています。親が観ていると、子供達はよく頑張っています。失敗を恐れずにドンドン挑戦していきます。親交を含め大成功☆低学年もボール拾いや試合チームの呼び込みなど、自分たちができるお手伝いしました。こども達から得点システムやボナーシステムなど、ルールについて、創造力溢れる提案がありました。模倣でしたが全て採用しました。想定を超える、自由な発想は大切にしていきたいと思っています。「思うように行かない。」「どうやったら良い?」など…発言が聞かれました。たくさん悩み、戸惑いましたが、整えられた環境で生活する機会が多いと思います。問題解決できる能力が育てることに繋がると考えています。今回、上手く行かない、答えがない、自分選んで考えなければならない状況で、色々感じ、学ぶ機会になったと思います。
* フットサルクラブ同士の交流を通して、魅力を地域に発信しフットサルの普及にも貢献できれば幸いです。

③タイトル: こども審判、お父さん・お母さん審判
開催日/期間: 通年
場所: 主に長崎市立横尾小学校体育館
対象: 全選手(自チーム、対戦相手チーム)と保護者(お父さん・お母さん)
参加者数: 所属選手30名と保護者
内容: 当クラブでは、紅白戦や練習試合、自チーム主催のカップ戦など、こども審判制度を導入しています。審判をすることで、これまでと異なる観点、広い視野で試合を観る事が出来るようになっています。また、ジャッジの難しさや責任など、身をもって経験することで、審判や相手チームの選手に対するリスペクトの気持ちを持つ事が出来るようになっていきます。最近では、交流がある対戦相手チームへも浸透し、賛同していただき、積極的に参加して下さっています。失敗しても良いことを前提としているため、徐々に高学年だけでなく中学年まで、自ら率先して審判をするようになってきています。1度やると次もやるようになります。はじめては自信がなく、自らやっていた子供は少ないですが、全員が審判をできるように今後も継続して取り組んでいきたいと思っています。まだ一部ですが、お父さん・お母さんなど保護者さんにも審判を担

各団体2017年度活動報告

っていただいています。審判を通して、ルールを知ってもらうだけでなく、より身近に子ども達のプレーを見ることで、対戦相手との駆け引きがある中で、ボールをコントロールすることの難しさなど、サッカーやフットサル競技についての理解を深めてもらうことを目的としています。競技経験がよいお父さん・お母さんが審判をすることで、家庭で子ども達とサッカーやフットサルについて、話すよくなるなど、家庭内のコミュニケーションのきっかけにもなっているようです。お母さんなどは頭を使ったや、筋肉痛になったなどという声が聞かれ、頭と体の良い運動にもなっています。今後はクラブ内で、子ども達や保護者を対象とした審判講習会も実施していきたいと考えています。

ソルサフガール(熊本県熊本市)

①タイトル:キッズ大会
開催日/期間:2017年9月~12月
場所:熊本県内各地
対象:年少~年長
参加者数:約20名/毎回
内容:熊本県協会が主催するキッズ大会に参加した
②特になし。
③上手い子、下手な子、年齢も関係なくみんなで協力して試合に望めたこと。

アルエット熊本フットボールクラブ(熊本県熊本市)

①アルエット熊本ではリーグ戦は全ての試合でメンバーが全員出場するようになっています。
③熊本県で同じJFAグラスツール推進賛同パートナークラブのエスベラサ熊本主催の大会に参加させていただいてますが、カテゴリーやグループを沢山分けていて選手達がたくさん出場出来るように組み合わせてあります。また、怪我や欠員が出てメンバーが足りなくなつても合同チームで出たり、補充したりして選手が出場機会を沢山できるようにされています。とても素晴らしい事だと思います。

NPO法人スポーツクラブ・エスベラサ熊本(熊本県八代郡氷川町)

①タイトル:全日本少年サッカー大会 熊本県大会
開催日/期間:
場所:熊本県
対象:12歳以下
参加者数:15人
内容:全員をピッチに送り込む

特定非営利活動法人カティオーラ(大分県大分市)

①U-12 フェスティバル(補欠0)
平成29年8月27日(日)
大東グラウンド
対象6年生以下 92名
内容:大分県内の8チームで3ペリオド(10~10~10)で全員が試合に出場する。
②前年と同様で補欠0の大会のみです。
③平成27年は全チームミックスして、全員が試合に出ることをしました。やはりこちらの方が、交流もでき友達も増え楽しかったようだったので、次回はこちらの方法に戻したいと思います。

一般社団法人蹴一協会(宮崎県児湯郡都農町)

①タイトル:蹴一1GP全国大会
開催日/期間:H30年3月3日
場所:藤見公園(宮崎県児湯郡都農町)
対象:小学3年生以上より一般
参加者数:約700名(選手)
内容:PK大会(U-9、U-12、一般)
②タイトル:蹴一1GP各県大会開催の普及
開催日/期間:H29年4月~H30年3月
場所:北海道、大分県、岐阜県、福井県、佐賀県、熊本県、愛知県、沖縄県、福岡県、大阪府

③マイクパフォーマンスでどんな方にも一人一人にスポットを当て、会場一体で盛り上げることも大会の運営ルールのひとつであり、誰もが主役をモットーに全国各地での開催の普及を進めていくことが出来ています。

妻小サッカースポーツ少年団(宮崎県都農町)

②2017年度は試験的に小規模なフェスティバルを考えていましたが、検討のみとなり事業を実施していません。2018年度は補欠ゼロの趣旨に沿ったフェスティバルを開催する予定です。

一般社団法人サンビスカス沖繩(沖縄県沖縄市)

①「サンビスカス沖繩サッカースクール交流大会」2018年3月3日 沖縄県総合運動公園レクドーム 内容:クラブ対抗の交流試合。全員が出場できるよ、1チーム8名で構成。参加者数:200名程度。

障がい者サッカー 活動報告

札幌中央フットボールクラブ(北海道札幌市)

①(該体不自由児の在籍選手と一緒に活動)
期間:通年(月2~3回程度)
場所:チーム練習会場(体育館)
対象:全学年(主に4年生以下)
参加者数:50名
内容:卒業生の弟が肢体不自由児、バギーを用いた移動だが、子どもたちがルールを工夫して実際の試合(紅白戦)に出場し、一緒にサッカーを楽しむ。グラウンドでは天候および練習環境(天然芝グラウンド)の関係で、体育館練習の際に活動を設定し、一緒に取り組むようになっている。新たに入ってくる新入部の子たちにも、上級生や同年の同級生が、肢体不自由児の子の意思や意図を表情やうしろから読み取り、積極的なコミュニケーションをとること理解を深めることを考えさせたりすることを求めている。

②もさんのサッカー教室と講演会

開催日:29年10月22日
場所:札幌医学技術福祉専門学校体育館
対象:小学生、中学生、その保護者
参加者数:約100名(選手、保護者含む)
内容:ろう者の障がい者サッカーを始め、さまざまな障がいを持つ人たちの交流でサッカーの普及活動を行っている元Jリーガーの深川友貴さんを招いてサッカー教室と講演会を開催し、自チームだけではなく近隣チームにも声を掛け、参加児童および保護者含め約100人ほどの方々に集まって頂き、午前午後で低学年、高学年とサッカー教室を行なう傍ら、選手入替時の12時頃から講演会を行なう。
障がいを持った子たちがどう取り組むか、またその環境をどう作っていくかなど、講演会そのものが盛り上がり、質問も積極的に参加して頂いた結果予定時間を超えて2時間以上の会になってしまった。ただそれだけ認識や周囲の意識(チーム内でも積極的に取り組んでいることを含め)があつての質疑応答もあり、関心の高さを改めて感じた。
③障がい者を受け入れて…と思うと、ややハードルが高いかもしれないが、発達障害や言語の問題などを含めると、実際には周囲に多くの「なやみ」を抱える人は多い。機能の障がいだけが障がいとはならないので、どんな状況でも「サッカー」という競技を通じて一つになれることを工夫すれば、実際に活動を起こすことよりも、話を聞くことだけで、一緒にその時間を過ごすことだけでも取り組むだけで、本人のほか、その周囲の家族が積極的に参加できる環境をつくるのが大切だと思う。

シーガルサッカークラブ(北海道札幌市)

①タイトル:定期練習会
開催日/期間:2017/04~2018/03
場所:石狩市内小学校体育館ほか
対象:知的障がい者
参加者数:10名
内容:毎月3~5回の練習会を実施。12/24には「ウェルビーイングフットサル

各団体の番号の見方

- ①2017年度より前から継続している活動
- ②2017年度から初めて行った活動
- ③活動の紹介

フェスティバル川に参戦。

③松本氏(埼玉武南高校→北海道教育大岩見沢校)が当クラブの知的障がい者部門(FFDトリム)の新監督に就任。以前から「サッカーを通した障がい者への関わり」を熱望していた松本氏はまたま当クラブのHP等をご覧になったことがきっかけで、ご連絡をいただき、2017/05か監督をお願いいたしました。松本氏は現在北海道サッカーリーグの強豪チームで選手としてプレーしており、メンバーたちの良きお手本となっております。松本氏の入派をフルにご活用いただき、2017年度はもっとも多くの方々に私共の知的障がい者チームの練習日に足をお運びいただきました。松本氏の中学校時代の先輩、松本氏の現在のチームの同僚の方々、松本氏の出身校(北海道教育大岩見沢校)の現役選手たち、そして松本氏の友人である高等聾学校の教員(ご本人も聴障)の方等、とても多くの方々に練習にご参加いただき今までにない交流ができました。そして必然的にメンバーの練習参加率も次第に高くなっていき、活動そのものに活気が出てきました。

ボールスターユニテッドスポーツクラブ(青森県弘前市)

①障害者サッカーチームへのコートの貸し出し

SendiForza(宮城県仙台市)

①タイトル:サッカー教室
開催日/期間:2017年8月
場所:仙台市
対象:中学生以上
参加者数:10~20人
内容:仙台市障害者スポーツ協会やベガルタ仙台と協力しサッカー教室を開催している。普段、運動する機会が少ない障害のある方々にとって余暇の過ごし方の一つとして提案することができた。

特定非営利活動法人まきはりフリースクール(宮城県栗原市)

①タイトル:フットサル大会の開催
開催日/期間:11月3日 2016年より毎年
場所:宮城県岩沼市 グリーンピア岩沼
対象:主に東北の子ども・青年支援団体で構成されたチーム
参加者数:150名
内容:15才以下の子どもで構成されたチームの大会と、年齢等の制限のないマスター大会を主催した。マスター大会では、女性や子どもの得点は3倍にする、体の大きい側の接触プレーは厳しく反則となるなどルールを工夫して、誰でも参加し活躍のチャンスがあるようにしている。
③年齢差や力量差、障がいなど抱えているものの多様さがあるなかでも、ただ「みんなでも楽しくいうだけでなく、勝利や個人のチャレンジャーがきちんと認められることも重視している。なので毎回個人表彰を必ず行う、多様さが認められ誰でも活躍しやすいフェアなルール作りを心掛けるようにしている。

特定非営利活動法人ラソスポルテクルービー(宮城県仙台市)

②タイトル:地元仙台のブラインドサッカーチームとのコラボレーション
開催日/期間:2017年度
場所:ラソスポルテクルービーの活動場所
対象:全会員
参加者数:約20名
内容:地元を拠点に活動しているブラインドサッカーチームとの協力し、クラブ会員がブラインドサッカーの体験したり、当クラブ指導者がブラインドサッカー選手への指導を行った。
③視覚に障がいのある方への理解促進には、やはり体験する事が一番だと感じている。実際にブラインドの状態を体験し、普段使っていない感覚を研ぎ澄ませることで、サッカーへの取り組み方や、障がい者への理解も深まった。とう参加した会員からの声があった。また、指導者としてブラインドサッカー選手への指導も行ったが、プレーや細かい動きを言語化する難しさを体験する事が出来た。それが普段の指導の質向上にも繋がってきていることを実感している。

特定非営利活動法人プチユナイテッドアスリートクラブ(山形県米沢市)

①タイトル:JFA主催ファミリーフットサル大会参加
開催日/期間:2017/11(5/毎年参加)
場所:山形県山形市 山形市生涯学習センター体育館
対象:幼児から小学6年生までとその保護者など
参加者数:30人くらい
内容:当フットサルクラブで運営しているU-12のフットサルスクールには、競技志向から初心者、発達障害等の適応障害児童生徒が在籍しており、通常開催される競技大会に参加しにくい、JFA主催のファミリーフットサル大会に常時参加し、親子や仲間との絆を深めながら全員が出場してエンジョイする機会を設けている。中には、フリースクール(不登校等児童生徒)生徒も在籍し、運動を楽しむ機会を提供している。
②タイトル:フリーフットサル開催
開催日/期間:2017.12~現在継続中(毎週水曜日)
場所:山形県山形市 小学校体育館
対象:年齢、性別制限なし
参加者数:常時10人くらい
内容:当クラブで運営しているフリースクール(不登校等児童生徒)生徒のほか、発達障害等の適応障害児童生徒も楽しめるフットサルの場を提供し、趣旨に賛同する一般健常者等も参加し、参加者全員で楽しく汗を流している。フットサルというスポーツを心のケアが必要な児童生徒の肉体的機能訓練とらえ、スポーツを通して心を強らせるようなコンセプトのもと実施しており好評を得ている。
③:2018.1.23 当クラブのフリースクールとフットサルの融合がとられ、NHK山形の取材を受け、活動内容が放映されました。
2018.4.5 上記同様の内容が、山形県内9市郡に配送される「かわら版」月刊誌に大きく掲載され、良い反響があり、参加者が増えています。

茨城県知的障がい者サッカー連盟(茨城県水戸市)

①タイトル:ホーリーフスタジュニアサッカー交流会
7月8日の、ホーリーフェスタジュニアサッカー交流会では、県内の小学校から23名、特別支援学校から29名の合計52名の小学生が参加した。障害種別も、知的障害、発達障害、視覚障害、脳性麻痺、肢体不自由とさまざまな障害のある方々が参加するようになつてきた。
③ジュニアサッカー交流会のチラシを、県内の教育事務所にお願ひし、全ての小学校の特別支援学級に配付していただいた。

バンクル茨城ダイバーシティフットボールクラブ(茨城県ひたなか市)

①ホーリーフェスタ参加
ほほえみクラブ参加
②ステイゴールドサッカースクールとの育成リーグ
③姉妹クラブのステイゴールドサッカースクールと定期的にリーグ戦を実施。障害のある子どもがいずれ一緒にサッカーで切磋琢磨し合う環境を当たり前にしている。

FC REAL(埼玉県川越市)

①タイトル:なし
開催日/期間:2010年~2018年
場所:川越市近郊のグラウンド
対象:幼児~小6
参加者数:数十名
内容:障害のある子どもスクールに通うことができるようにアシスタントを付けて練習を行う。(耳が不自由な聾学校の子や自閉症の子など)

NPO法人浦和スポーツクラブ(埼玉県さいたま市)

②ブラインドサッカー体験とOPサッカーとのウォーキングサッカー交流会の開催。2月25日に埼玉スタジアム第4グラウンドで、近隣の少年団等も含め約200名で開催。
③ウォーキングサッカーを取り入れたことで、障がい者サッカーに健常者が混じって一緒にサッカーをしやすくなった。保護者も混じることができるため親子での交流を促進するきっかけにもなった。

各団体2017年度活動報告



寄居サッカークラブ(埼玉県大里郡寄居町)

①タイトル: 寄居ベスト
開催日/期間: 毎週水曜日
対象: 中学生から何歳でも
参加者数: 40人
内容: 身障者や心療されているかたもプレーしてもら

鶴ヶ島ブルーウイングスサッカー少年団(埼玉県鶴ヶ島市)

①当団のコーチに聴覚障害の方が参加してくれています。分け隔てなく明る
い性格なので子供達は自然に付き合っています。

二社社団法人 埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会(埼玉県加須市)

②1. タイトル: ユニファイドサッカー@日野
開催日/期間: 11/11
場所: 日野市市民の森スポーツ公園
対象: CPサッカー選手&一般参加者
参加者数: 30名
内容: 日野市サッカー連盟様にご提供いただき、老若男女問わず交
流サッカーを伸び伸びと楽しみました。
2. タイトル: 日韓CPサッカー交流
開催日/期間: 12/17
場所: 西大宮スポーツパーク
対象: 日韓両国のCPサッカークラブ&一般参加者
参加者数: 60名
内容: 午前中は貸しスペースで震災復興映画「MARCH」を韓国語字幕付き
で上映。震災と復興について両国の選手が学んだ。午後は西大宮スポ
パークにてクラブ同士の日韓戦の後、講師を招いてのサッカー大会で皆で楽
しんだ。
③https://www.soccer-king.jp/news/japan/20171218/686494.html

FCもんちっち(埼玉県さいたま市)

①実施日: 毎月第一土曜日2時間 場所: 埼玉県障害者交流センター 基礎
トレーニング、ボールタッチ、ドリブル、シュート、ミニゲーム等
参加者登録人数親子含め約50名 その他行事として1月にさいたまスタジアムにて交流フェ
スティバル参加 4月カラーパーティー交流会
②練習内容で個人プレイしかできなかったがパスをすることができた子供が
増えた。
③障害を持っている子供達は健常の子供達と比べて大きな進歩は見られな
いのですが何年も練習すればパスができる。個人プレーではなコミュニケーション
ができるようになりました。続ける、やり続ける事がたいせつですね。

NPO法人 幕総クラブ(千葉県千葉市)

①千葉市サッカー祭り運営(10月実施)障がい者、健常者との交流サッカー

三鷹JFC(東京都三鷹市)

③障がい者より問い合わせ無し。

東京都知的障がい者サッカー連盟(東京都葛飾区)

①知的障害者サッカー教室、フットサル教室、中学生対象サッカー教室、知的
障害者サッカー大会、フットサル大会、知的障害高校生全国大会東京都
予選、選抜チームの強化・育成、U20選抜チームの強化・育成、
②知的障害特別支援学校高等部関東交流大会

AgreDiver(東京都江戸川区)

①手話講習会に通っているがまだ初級から一段階上がったばかりです。受け
入れは可能ですが、アナウンスをどの様に行うか検討中。18年度中にサイ
ンフットボール(植松氏)のチームと練習試合を行う予定。

FC東京(東京都江東区)

①タイトル: あおぞらサッカークリニック
開催日/期間: 土日を中心に開催 年間30回程度

場所: FC東京パーク府中をはじめ、各所で開催

対象: 小学生、中学生が中心
参加者数: 毎回各程度

内容: FC東京普及部コーチによるサッカー教室

②タイトル: あおぞらスクール/ユース交流会

開催日/期間: 2018年3月27日

場所: 東京ガス武蔵野苑多目的グラウンド

対象: 小学生~高校生

参加者数: 約60名

内容: FC東京ユースチーム選手も参加し、合同で実施。

③ユースとの交流については、ユース選手にとっても貴重な経験で良い刺激
になった。

千代田区サッカー協会(東京都千代田区)

②タイトル: ブラインドサッカー教室

開催日/期間: 2017年1月

場所: 日比谷ヤマトフットサル

対象: 8歳以下

参加者数: 50名

内容: 見えないときのコミュニケーションスキル向上と障害者理解

③2018年1月にブラインドサッカー体験会を実施。高学年のほうで効果があ
りました。

カプリガ東久留米(東京都小平市)

①タイトル: チャリティーサッカーフェスティバルin東久留米

開催日/期間: 2017年4月29日

場所: 東久留米総合高校

対象: 子ども~大人

参加者数: 300人

内容: 東北復興支援イベントの中で障がい者チームを招き、障がい者チーム
vs子どもだった位の交流試合を開催しています。

③幼少期から障がいのある人たちが接することで、日常生活で出会っても常
に親近感を持ち話かけられる子どももできてきました。目の見えないブライ
ンドサッカーを通じ、白い杖の子供を見守りサポートする子がいたり、知るこ
とと接することの重要性を再認識しました。

株式会社クリエイティブヘッズ(エフチャンネル)(東京都多摩市)

①タイトル: ブラインドサッカー共催事業/CPサッカー共催事業

開催日/期間: 随時

場所: 都内近郊

対象: ブラインドサッカー競技者/CPサッカー競技者/一般プレーヤー

参加者数:

内容:

当社の理念にある「誰もが…」には、障がい者サッカーも私達の仲間、とい
う想いが込められています。当社は2016年度から(一社)日本障がい者サ
ッカー連盟(JIFP)のパートナーとなりました。当社はこれからは、障がい者サ
ッカーをより多くの人に知っていただくための活動を続けていきます。

■特定非営利活動法人日本ブラインドサッカー協会との取り組み

1. 「ブラインドサッカー日本選手権」との共催フットサル大会

※2017年7月 アミバイタルフィールド(東京都調布市)にて開催 10チーム

参加

2. 「ブラインドサッカー東日本選手権」との共催ソサイチ大会

※2018年3月 富士通スタジアム川崎(神奈川県川崎市)にて開催 10チ
ム参加

「広く一般の方々にブラインドサッカーを知ってもらう機会を創出する」という
コンセプトのもと、ブラインドサッカー公式戦と隣接するピッチで当社の大会
を開催します。すぐ隣でブラインドサッカーの公式戦が行われていたり、ブ
ラインドサッカーの体験ブースがあったり、いつもの当社の大会とは違った雰
囲気を感じることが出来ます。ブラインドサッカーを多くの方に知って頂
きたい、という願いを込めています。

■特定非営利活動法人CPサッカー&ライフエスプレッサとの取り組み

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

1. エスプレッサが主催する、「障がい者チームと健常者チームが対戦する大
会」のサポート

※フットサルリーグ(東京都多摩市)にて10回開催 健常者チームは32

チームが参加

「サッカーはみんなのもの。障がいを持つ人も安心してサッカーを楽しむよ
う、多くの人が障がいのことを理解し、多様性を受け入れる一歩とすること
」を目的に、CPサッカーチームと健常者チームがソサイチで対戦します。同
時にCPサッカーの体験会を実施し、より一層の理解を深めています。CP

サッカーを多くの方に知って頂きたい、という願いを込めています。

株式会社アシスト(東京都練馬区)

②タイトル: ウォーキングフットボール大会運営補助

開催日/期間: 2018年2月17日

場所: 杉並区下高井戸運動場

対象: 地域住民及び近隣の大会参加者

参加者数: 70名程度

内容: 大会審判、活動普及の手伝い

A.C ammaliatore(東京都葛飾区)

①タイトル: 愛される人間になる為に

開催日/期間: 土曜日

場所: 文京区

対象: 知的障害児

参加者数: 4名

内容: 練習・イベント

LARGO FOOTBALL CLUB(東京都荒川区)

①6月~11月にかけ毎月一回、荒川区立赤土小学校体育館。障がい(知的
障がい)を持つ方とその保護者を対象に。年間で35名程。会場までの引率
者の問題で参加者が減少。

③体育館での活動なので天候に左右されず開催出来る。

皇月フットボールクラブ(東京都品川区)

①タイトル: JFAなでしこひろばin皇月フットボールクラブ 手話deフットサ
ル教室

開催日/期間: 2018年3月4日

場所: しながわ中央公園

対象: 小学3年生から6年生の女子児童

参加者数: 30名

内容: 日本ろう者サッカー協会と連携して、女子児童対象に手話を使ったフ
ットサル教室を開催。

NPO法人ビッグイシュー基金(東京都新宿区)

①タイトル: ホームレスサッカー

開催日/期間: 2008年~2016年(月2)

場所: 四谷ひろば(東京)/扇町公園(大阪)

対象: ホームレス

参加者数: 1回の練習に平均15名

内容: ホームレスの人のサッカー練習や、ホームレスワールドカップへの日
本代表の派遣

②タイトル: ダイバーシティサッカー

開催日/期間: 2017年4月~2018年3月(1年間)

場所: 公園(東京)

対象: ホームレスやひきこもり、うつ病など「社会的マイノリティ」と呼ばれる人

参加者数: 1年間で582名

タイトル: ダイバーシティカップ4

開催日/期間: 2017年11月18日(土)10時半~18時

場所: ミズフットサルプラザ味の素スタジアム

対象: ホームレスやひきこもり、うつ病など「社会的マイノリティ」と呼ばれる人

参加者数: 約200名

タイトル: 社会をあそぶガイドブック~サッカーがつくる居心地の良い社会~

発行 ー2018年3月30日:2000部

タイトル: ダイバーシティサッカー2017年度活動報告書、発行 ー2018年3月
15日:5000部

③・10年間前、ホームレス状態だった方が、ホームレスワールドカップミラノ
大会に参加し、その後もサッカー仲間との支えを得つ、現在はアパートに住
み仕事をしながら練習に参加していること。サッカーという場が彼の自立への
きっかけになったと思っています。

・社会をあそぶガイドブックを発行できたこと。ホームレスやひきこもり、うつ
病などを抱える人がサッカーに参加することでどのような変化を生んできたか
を、当事者と社会の視点からまとめたこと。

日本ウォーキング・フットボール連盟(東京都練馬区)

②タイトル: 第1回ペンギンズ・カップ

開催日/期間: 平成30年2月17日(土)

場所: 東京都杉並区下高井戸運動場

対象: 一般の老若男女

参加者数: 約100名

内容: 歩くサッカーウォーキング・フットボールのおそらく日本で初めての大会
を開催。8チームが予選リーグ&決勝トーナメント計17試合を戦う。

特定非営利活動法人CPサッカー&ライフエスプレッサ(神奈川県川崎市)

①タイトル: エスプレッサ・ソサイチ大会

開催日/期間: 過年、年10回程度

場所: 東京・神奈川の民間フットサル場

対象: 全て(障害の有無、男女の有無、年齢の有無関係なく)

参加者数: 3チーム~6チーム

内容: 7人制ソサイチ大会を開催し、障がい者サッカーの一つであるCPサ
ッカーの紹介と体験会を行った後に、参加チームで1日リーグ戦を実施し、普
段通りにサッカーを楽しむ。

②上記ソサイチ大会を継続している。ソサイチ大会のCPサッカー体験会につ
いては、参加者がもっと楽しめるよう内容等を考えながら行っている。

③障がい者サッカーの一つであるCPサッカーを軸に、当事者である障がい
児者のライフスキルを向上を目指し、インクルーシブフットボールでは社会
の障がい者理解を深めるイベントを開催している。

エスプレッサNEXT(神奈川県川崎市)

①タイトル: サッカー教室

開催日/期間: 毎週・月、火、水、金曜日

場所: 神奈川県川崎市

対象: 障がい児(発達障がい、知的障がい、身体障がい)

参加者数: 1回10人程度

内容: サッカーを楽しむ

②特にありませんが、サッカー教室の充実を図り、アートプログラムや英語プ
ログラムなどをしています。

③障がいがあっても、いつでも、気軽にサッカーを楽しめる場を、子どもたち
のために作っていきます。

FC PORT(神奈川県川崎市)

①定期的な練習の開催

毎月土曜又は日曜に回

場所: 横浜ラホールグラウンド

対象: 精神障害者と活動を理解して参加してくれる方

参加者数: 10~20人程度

内容: フットサルの練習

②他の障害者団体との交流活動

③県内の障害者チームと連携して、障害の有無や種別には関係なく、とも
に同じピッチでボールを蹴ることにより、相互理解を深めています。

各団体2017年度活動報告

公田SC(神奈川県横浜市)

①タイトル:メンバーとして受け入れ

開催日/期間:通年

対象:全て

参加者数:現在2名

内容:公田SCでは、発達障害をもった選手の受け入れをしています。現在2名の選手が参加し、活動できる範囲で参加していただいています。③障害のある選手が喜んでいただいていることはもちろんのこと、まわりの選手もそれを理解し受け入れることができるようになってきました。

横浜F・マリノス(神奈川県横浜市)

①タイトル:横浜F・マリノスフットワーク

開催日/期間:2004~

場所:神奈川県内グラウンドでの練習や公式戦、県外での公式戦や交流戦
対象:中学生以上の療育手帳(愛の手帳)取得者またはそれに準ずる方
参加者数:約80名

内容:Jリーグで初の知的障がい者サッカーチームとして2004年に発足したフットワークは、サッカーを誰もが気軽に楽しめる環境の整備、障がいの有無を超えた活動として年間を通じて活動を行っています。

タイトル:「横浜F・マリノスカップ 第15回電動車椅子サッカー大会 - パワーチェアフットボール in ココハマー」

開催日:12/23,24

場所:障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール メインアリーナ

対象:年齢、性別は問わない

参加者数:約200名

内容:多くの方々に電動車椅子サッカーの魅力を伝えると共に、地域社会の障がい者スポーツに対する理解度、関心度の向上に繋げることを目的に開催。また、選手が大会を通じて仲間とふれあい、そして楽しむことで地域社会との繋がりを実感すると共に、アスリートとしての自覚を持つことで、選手としての更なる成長及び競技の普及・育成を図ることを目指しています。

タイトル:ジャトコ×横浜F・マリノス フットワークカップ2017

開催日/期間:2017年4月15~16日

場所:時之栖スポーツセンター

対象:中学生以上の療育手帳(愛の手帳)取得者またはそれに準ずる方

参加者数:約100名

内容:日本各地の「クラブチーム」の日ごとのトレーニングの成果を発揮する場とネットワークづくりを目的とし、「だれもが楽しめるサッカーを横浜から!!」を合言葉に、「この大会に参加してよかった!」「この大会に参加したい!!」と感じる大会を目指しています。

③横浜F・マリノスではサッカーを誰もが気軽に楽しめる環境を目指し、活動を行っています。その中、Jリーグ初の知的障がい者サッカーチーム「フットワーク」や電動車椅子サッカーの競技普及として、横浜F・マリノスカップ電動車椅子サッカー大会の運営など、競技普及のサポートを積極的に行っています。

またホームタウンに所在する各種支援学校に訪問してサッカー教室を行っています。その他にも、トリコロールマーメイズによるテア教室や、健常者や地域の方々と一緒に楽しめるイベントなども実施しております。

知的障がい者サッカー推進連盟(神奈川県相模原市)

①毎週金曜日、TAKAフィールド、障がい者・健常者関係なくサッカーをする。10名程度、専門コーチによるサッカー指導

NPO法人レフリーアカデミー横浜(神奈川県横浜市)

①1.第20回神奈川県電動車椅子サッカー大会

開催日:平成29年6月4日(日)

会場:トクセイセキュリティ平塚総合体育館第1体育室

対象:神奈川県電動車椅子サッカー協会登録団体

参加者:5チーム(31名)

内容:神奈川県大会への審判員派遣

2.日本電動車椅子サッカー選手権大会

開催日:平成29年9月30日(土)~10月1日(日)

会場:小笠山総合運動公園エコパアリーナ

対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会 第1種加盟チーム

カテゴリ-1 10km

カテゴリ-2 6km

参加者:カテゴリ-1 13チーム(96名)

カテゴリ-2 16チーム(92名)

内容:日本選手権大会への審判員派遣

3.横浜F・マリノスカップ第15回電動車椅子サッカー大会

開催日:平成29年12月23日(土)~12月24日(日)

会場:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会第1種加盟チーム

参加者:カテゴリ-1 4チーム(27名)

カテゴリ-2 4チーム(23名)

内容:大会への審判員派遣

4.第21回ドリムカップ

開催日:平成30年3月17日(土)

会場:トクセイセキュリティ平塚総合体育館第1体育室

対象:一般社団法人日本電動車椅子サッカー協会 第1種加盟チーム

参加者:6チーム(42名)

内容:日本最強クラブ決定カップ戦への審判員派遣

②1.横浜市中区在住向け電動車椅子サッカー普及活動会

開催日:平成29年12月2日(土)

会場:横浜市民活動支援センター

対象:横浜市民一般

2.神奈川県電動車椅子サッカー協会審判員新規講習会

開催日:2月12日(祝)

会場:障害者スポーツ文化センター横浜ラポール

対象:新規取得者 審判員

参加者:13名

内容:講師派遣による新規取得者向け競技規則説明

③一般の方でも如何に電動車椅子サッカーに関心が高いかということが分り非常に励みになった。他の障がい者サッカーにも来年度は徐々に活動の輪を広げようとして計画しています。

一般社団法人筑北スポーツ振興協会(長野県東筑摩郡那北村)

②タイトル:長野県障がい者サッカー大会の運営協力

開催日/期間:10/1~21

場所:筑北村サッカー場

対象:県内障がい者・児

参加者数:120

内容:長野県内の障がい者サッカー大会を誘致し、運営を協力した。今後も協力していく。

フリーダム新潟FC(新潟県新潟市)

①タイトル:養護学校でのサッカー教室

開催日/期間:9月ごろ

場所:新潟県立養護学校

対象:養護学校の児童、生徒

参加者数:約30名

内容:元OPサッカー日本代表の大橋佳介さんのサッカー教室の協力。

③養護学校の児童、生徒と関わることによって、サッカーの素晴らしさを再確認でき、必死になって頑張る彼らからひたむきさを教えてもらいました。そして、健常者よりもはっきりとした児童、生徒に触れ、頑張る勇気をもらうことができました。

パトリアーレSABAE(福井県鯖江市)

②タイトル:手話講座

開催日/期間:2018年2月4日

場所:パトリアーレSABAE事務所

対象:中学生、高校生

参加者数:約20名

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

内容:デフフットサル、デフサッカー日本代表の山森裕介(当U-18チームコーチ)さんから講師となり、手話講座を開催しました。聴覚障害について学び、サッカーコーチの経歴と努力を知り、そして今後の人生について考える貴重な経験となりました。

清水エスパルス(静岡県静岡市)

①タイトル:アンプティ体験会

開催日/期間:8月13日

場所:IAスタジアム

対象:小学生~大人

参加者数:20名

内容:クラッチを使ってのトレーニングからミニゲーム

②タイトル:台湾台北市知的障がい者サッカー教室

開催日/期間:10月14日

場所:台北市立大学体育館

参加者数:60名

内容:午前中に台北市立大学の生徒に指導実践し、その後現地の知的障がい者にサッカー教室を実施

タイトル:親子ふれあいサッカーフェスティバル

開催日/期間:12月24日

場所:IAスタジアム

対象:幼児~大人

参加者数:800名

内容:親子の試合、ブライندサッカー体験会、アンプティサッカー体験会など
③午前中に中学生の女子サッカー部に障がい者サッカーの指導者養成を行い、午後に知的障がい者の子ども達に実践を行う

特定非常勤活動法人スポーツコミュニティ磐田・ポラスター(静岡県磐田市)

①タイトル:みんなのフットサル広場

開催日/期間:通年(水曜日・月3回)

場所:ゆめりあフットサルコート

対象:高校生以上

参加者数:平均15人

内容:誰でも参加できる個人参加フットサル。初心者も経験者も一緒にプレー、外国人も5名ほど登録してフットサルを楽しんでいる。

②2017年度障がい者サッカー体験会を計画していたが、大会スケジュール調整が難しく実現できなかった。

一般社団法人PlusDeporte(静岡県静岡市)

①タイトル:障害者施設での運動指導

開催日/期間:月に1回

場所:宝塚市

対象:障害者の大人

参加者数:15名

内容:宝塚の障害者施設での出張運動指導は継続的に月に一度訪問し行っています。

②タイトル:チャレンジサッカー

開催日/期間:2017年秋から

場所:兵庫県

対象:障害者の子ども、大人

参加者数:20名

内容:障害者の方々とのサッカーイベントを開催しました。いろんな特徴がある方々なので、イベントが成り立つと不安でしたが、終わってみると全員が楽しんで参加してくれたと嬉しい報告を受けました。これも定期的に開催していく予定です。

③上記のイベントや障害者施設での活動を聞いた方から連絡をいただき、東京の町田市で2018年から運動指導のイベントを行っていく予定です。

一般社団法人One Life.(愛知県名古屋市)

①毎週火曜日に障害児とサッカーを行う

VALLONFEEZ FOOTBALL CLUB(愛知県名古屋市)

③定期的は、ありませんが、チーム練習にご参加いただいているご家族に、自慢していただいている方がいらっしゃいますが、元気にご参加いただいています。

碧フットボールクラブ(愛知県碧南市)

①タイトル:通常活動

開催日/期間:通年

場所:活動時の会場

対象:聴覚障がい・発達障がいの方が現在参加していただいています。

参加者数:2人

③今となっては日常的なことなので特に意識する事はありません。サッカーをする仲間としてみんなが、みんなを受け入れていていると思います。

NPO法人GranArbolスポーツクラブ(愛知県名古屋市)

①親子や女子を対象としたフットサル教室の実施

ワイヴァンフットボールクラブ(愛知県刈谷市)

①タイトル:個人参加型のサッカー・フットサルイベントの定期開催

開催日/毎週月火水金土日(フットサル)毎週水(サッカー)

場所:UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象:中学生以上

参加者数:8~50名

内容:個人参加者を募り、みんなでサッカー、フットサルを楽しむ。聴覚障がい者の方も参加。みんなと一緒にフットサルを楽しみました。

②タイトル:ブライندサッカー体験

開催日:2017年05月04日(木)

場所:UB刈谷ハイウェイサッカーフットサル場

対象:小学生3年生以上

参加者数:約40名

内容:日本ブライندサッカー協会の方たちのご協力のもと、ブラインドサッカーを学び、楽しみました。
③健常者、障がい者、関係なく、みなで補い合いながら楽しんでいます。

一般社団法人リコフエンテスクール・アカデミー(愛知県豊橋市)

②タイトル:第1回Forライオサッカー大会・第2回Forライフサッカー大会

開催日/期間:(第1回)2017.9.30(第2回)2018.2.12

場所:フガルエスタディオ石巻

対象:障がい福祉サービス事業所Forライフのサッカー大会を開催

参加者数:第1回 28名 第2回 27名

内容:知的障がいを持つ事業所の子どもたちが大会に向けてトレーニングをして個人課題、チーム課題など頑張っており取り組む。

七里御浜FC(三重県南牟婁郡御浜町)

①以前よりどのような形で実施が出来るかを施設関係者の方とも相談しながら実施しています。2018年度には何らかの形で実施出来るように前向きに検討していきます。

②2017年度の実績はございません

③他団体様の好事例を報告等で拝見し参考にさせていただきます

ベルナサッカークラブ(三重県三重郡菟野町)

①タイトル:デフサッカー日本代表会合

開催日/期間:10月第2土曜日

場所:三重県三重郡菟野町大羽根運動公園

対象:U-12~6

参加者数:約30人

内容:デフサッカー日本代表選手との交流イベントとして、手話を教えてもらったり、伝言ゲーム、ミニゲームと一緒にプレー。

②2016年度も同様の活動。

③交流イベントの次の練習時に子どもが手話を教えてくれました。

各団体2017年度活動報告

FCプログレッソ(岐阜県羽島市)

①タイトル:フットサル、サッカー、交流

開催日/期間:年度末

場所:岐阜市

対象:障がい者、健常者

参加者数:30

内容:フットサル、サッカー、交流

タイトル:第3回 ALL MIX FOOTBALL

開催日/期間:2018年2月18日(日)

場所:フットサルアリーナ本巣

対象:CPを含む障がい者・健常者の老若男女

参加者数:約50名

内容:昨年に続き、第3回目の「ALL MIX FOOTBALL」を開催しました。チーム参加・個人参加含め約50名近くの方々に参加頂きました。今回は、2部制で実施し、第1部は「フットサルクリニック」として、ゲストコーチを名古屋オーシャンズ/トップチームの齋藤功一選手【チーム・選手名非公開希望】を招聘し、サッカー・フットサル未経験者や子供たちにも楽しく触れ合せて、プロ選手から基礎的な技術を学んでもらえるように、第2部では全参加者・チームによるフレンドリーマッチを実施しました。また、シャツィに名前を貼ってもらい、初対面でも名前を呼びやすくし、チームや大人・子供などの関係なく、大きな声でお互いの名前を掛け合いながらサッカーに触れ合うことが出来ていました。フレンドリーマッチは、5チーム総当たり戦で試合を行いました。ルールは、誰にでも楽しんで頂けるようにフットサルルールを基準として、「交代回数は自由」、「相手を尊重する」など、参加者が平等に出場できるようにし、1チーム4試合を行い、風が冷たい中、チームメンバーやご家族の方々の熱い声援を受けながら選手たちは、持てる力を精一杯発揮していました。イベント中は、障がい者・健常者・子供・女性などの枠を超えて、拮抗したゲームが展開され、ゴールを決めて喜ぶ声や味方を鼓舞する声などが響き渡っていたのが印象的でした。閉会式では順位発表した際には、拍手して全員の健闘を称えあい、笑顔にあふれ和やかなムードの中イベントを終えました。

③岐阜市を中心に周辺市町村で月に一回から二回練習

NPO法人 吹田南フットボールクラブ(大阪府吹田市)

①クラブに発達障がいの子や、巡回園に聴覚障がいの子がいるがその指導には、配慮しながらサッカーを楽しめるように配慮している

HalfTime(大阪府高石市)

①P24参照

②P24参照

J Brave Football Club(大阪府吹田市)

①タイトル:誰でもJOIN

開催日/期間:年間を通じて

場所:泉北地域のグラウンド

対象:園児〜小学生クラス

参加者数:15~40

内容:同じ仲間として楽しくサッカーができる場を提供している。

子どもたちの本来あるべき優しい気持ちや最大限発揮できる環境を作る事に重きを置いている。

③自分にもできることがある事を体感し、仲間との相互理解を深めることができる。

HYOGO CHANCEN SV(兵庫県明石市)

①あかしユニバーサルフットボール連盟主催の大会やイベントをメインに障がい者サッカーのお手伝いに参加をしています。

あかしユニバーサルフットボール連盟(兵庫県明石市)

①タイトル:第4回あかしユニバーサルフットボール連盟キッズフェスティバル

開催日/期間:2017年5月14日(日)14:00~16:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい児等

参加者数:48名

内容:ふれあいあそびとサッカーメニューの体験とミニゲーム

タイトル:元Jリーグによるサッカー教室

開催日/期間:2017年6月25日(日)13:00~16:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい児・者等

参加者数:60名

内容:元Jリーグ5名によるサッカーメニューの体験とミニゲーム

タイトル:第4回あかしこちやまざサッカーフェスティバル

開催日/期間:2017年9月24日(日)13:00~17:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい児・者等

参加者数:108名

内容:サッカーメニューの体験とアンパティサッカー・ブラインドサッカーのデモンストレーションと体験、ミニゲーム

タイトル:2017年度あかしユニバーサルフットボール連盟冬季大会

開催日/期間:2018年2月25日(日)12:30~17:00

場所:兵庫県立障害者スポーツ交流館

対象:申し込みのあった障がい者団体(知的・ソーシャル・CP・身体)

参加者数:200人

内容:参加チーム2ブロック総当たりによるフットサルゲームと電動車椅子

サッカーのデモンストレーションと体験

②タイトル:135Eネット・あかしユニバーサルフットボール連盟共催大会

開催日/期間:2017年12月10日(日)13:00~16:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:明石市内の作業所等施設利用者と職員を中心とした障がい者及び関係者

参加者数:100名

内容:障がい者スポーツへの関心を高めるとともに、日頃は利用者や同施設の職員のみでの生活の中で、他の施設職員とフットサルを通じて交流を深めることにし、利用者へのサービス向上と健康維持を目的とする。

タイトル:ユニバーサルフットサル交流会

開催日/期間:2017年11月23日(日)13:00~16:00

場所:明石大蔵海岸公園多目的広場フットサル場

対象:申し込みのあった障がい者等

参加者数:110名

内容:障がい者スポーツへの関心を高め、スポーツ楽しさと素晴らしさを体験することで生還スポーツに結び付ける。また、障がいのある方と健常な方の交流を深め、共生社会の実現に向けて寄与する。

③今年度の活動の中で、知的・ソーシャル・CP・電動車椅子・アンパティ・ブラインド各サッカーの体験ができたこと、健常者と身体・知的・精神・発達・聴覚・視覚・脳性まひ障がい児・者とサッカーを通じて交流できた。

ウエルネス(兵庫県尾崎市)

①タイトル:ウエルネスカップU12

開催日:3月29日

場所:大阪府大阪市鶴見緑地

対象:在籍選手U12と招待チーム

参加者数:30名

内容:ウエルネス主催の試合をおこないました。サポートが必要な選手も他の選手と混ざり、試合に出場しました。ポジションなどの理解などはなかなか難しい所はありますが、同じチームの選手がフォローに回ったり、先読みにて動くなど、チーム全体が助け合う場面も多数出てきて、非常に充実した時間となりました。

但馬知的障がい者サッカー連盟(兵庫県美た郡香美町)

②タイトル:入会員(メンバー)募集

開催日/期間:3/15~

場所:兵庫県但馬地区

対象:知的障がい者(児)

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介

参加者数:0

内容:認定された期日より活動へ向けて兵庫県但馬地区在住の知的障がい者(児)に向けて情報発信し、メンバーを募集している。

特定非営利活動法人奈良クラブ(奈良県奈良市)

①タイトル:奈良県人権啓発活動

開催日/期間:2016年9月24日

場所:ならでんフィールド

対象:ホームゲーム来場者(内希望者)

参加者数:200人

内容:電動車椅子乗車体験、人権開発活動パネル展示、ワークショップ、人権クイズ大会

③人権啓発スポーツ教室などを通して、メディアに取り上げていただける機会が多くなり障がい者がスポーツする環境を探している方々からの問い合わせが増えたり、奈良クラブバスマスなどに加入しサッカーをする環境として県内での認知度が広まってきたことがよかった。今後もより多くの方々に知っていただく機会をつくり、奈良クラブファミリーを増やしていきたい。

A-pfeile広島(広島県広島市)

①タイトル:西日本アダプテッドフットボールフェスティバル

開催日/期間:2016年度から年1回2日間開催

場所:

・2016年度

修道大学人工芝グラウンド

広域公園補助グラウンド

・2017年度

マエダハウジング東区スポーツセンター

広島経済大学フットボールパーク

対象:障がい者スポーツに興味をもっている方、サッカー好きの方、など

参加者数:おおよそ200名

内容:日本障がい者サッカー連盟の理念に基づき、広く障がい者サッカーに親しむ機会を作る事で、技術の向上ならびに認知・普及振興に寄与することを目的に西日本を中心としたチームが参加できる交流試合の開催継続的に行う。

電動車いすサッカー、ブラインドサッカー、アンパティサッカーの3種目の交流試合を実施する。

②タイトル:電動車いすサッカーチーム A-pfeile広島PFC 発足

開催日/期間:2017年4月1日~現在

場所:本拠地・広島県

対象:電動車いすサッカーに興味のある方

参加者数:10名程度(PFCのみの選手、スタッフ合わせて)

内容:障がいを持った方、障がい者スポーツに関わりたい方とスポーツの世界を結ぶことを目的に、この度は電動車いすサッカーチームを設立した。

③いろんな人が関わりを持って下さること

藍住西FCスポーツ少年団(徳島県板野郡藍住町)

①支援学級在籍などで躊躇している子供達を校内外、町内外問わず受け入れておきます。

③本人もとても喜んで参加してくれて保護者の方々からも感謝の言葉を多くいただいています。

Fun FC(徳島県海部郡海陽町)

①タイトル:通常練習

内容:学習障害の子供たちも一緒に練習を行っています。

③練習内容を理解することについては多少時間は必要ですが、体を動かすことについては、さほど差はなく、楽しく活動しています。

特定非営利活動法人春日イギリス(福岡県春日市)

①タイトル:だれでもJOIN!

開催日/期間:2017年11月

場所:春日市総合スポーツセンターフットサルコート

対象:中学1年生

内容:今年度は、ブラインドサッカーのラッキーストライカーズとの日程が調整できずに、次年度は年度の初めに実施することでアビスバ福岡タウンコートと合意。

エスパーロ直方(福岡県直方市)

①タイトル:障害者と健常者のサッカー交流

開催日/期間:2016/5/15

場所:安入寺公園

対象:全カテゴリー

参加者数:50名以上

内容:障害者と健常者を同じ環境の中でサッカーをプレーし、筋力や脳全体が発達する向上や、子供達が本来持っている柔軟な考えを最大限に引き出す。

②タイトル:親子サッカー

開催日/期間:2017/4/24

場所:安入寺公園

対象:全カテゴリー

参加者数:50名

内容:親子で参加出来るイベントを開催し、子供と親との大切な時間作りを行っています。

③タイトル:母子支援施設の子供たちとのサッカー交流

開催日/期間:2016/7/26

場所:安入寺公園

対象:全カテゴリー

参加者数:50名以上

内容:母子支援施設の子供達とトレーニングを行い、普段からサッカーを習っていない子供達ともふれあい、サッカーの普及だけではなく、様々な人間とのコミュニケーション能力を養う。

NPO法人スポーツクラブ・エスパーサ熊本(熊本県八代郡米川町)

①タイトル:デフフットサル

開催日/期間:

場所:嘉島人工芝

対象:中学生以下

参加者数:20人

内容:デフフットサル日本代表監督の指導を受け、体験した

②タイトル:スポーツフェスティバル

開催日/期間:2017年2月

場所:八代運動公園

対象:中学生以下

参加者数:60人

内容:アンパティサッカー日本一のチームとの交流

特定非営利活動法人カティオーラ(湯島湯大分市)

①タイトル:「障害者サッカー」JCEP選抜の華カップサッカー交流大会

開催日/期間:平成29年2月18日(日)

場所:別府実相寺グラウンド

対象:男子・女子・アンパティ・知的障がい選手とサッカー交流試合

参加者数:中学生以上の自チーム13名で参加

タイトル「知的障がいサッカー大分県選抜チーム」

開催日/期間:平成29年7月~3月の月1回(日曜日)

場所:大分東フットサルパーク

内容:大分県知的障がい選抜チームに無料で練習会場としてコートの無料貸し出し。

参加者12名前後

③自チームの中学生以上の選手が、アンパティサッカーの選手とサッカーができる経験は人生においてほとんど無い活動なので継続していきたいと思えます。



各団体2017年度活動報告

各団体の番号の見方

①2017年度より前から継続している活動

②2017年度から初めて行った活動

③活動の紹介



テゲバジャーロ宮崎(宮崎県宮崎市)

①タイトル:ユニファイドスポーツフェスティバル

開催日/期間:12月15日~16日

場所:宮崎県都農町藤見運動公園

対象:障がいの有無、性別、年齢に関係なくサッカーをしてみたい方

参加者数:100名

内容:障がいの有無、性別、年齢に関係なく集まった100名の皆さんを、6チームに分け、全員必ずゲームに出る、15歳以下は2点などのルールのもとサッカーのリーグ戦を行った。車いすの方、耳の聞こえない方、目の見えにくい方、片腕、片足の方、医者、子ども、行政関係者、サッカー選手、女性、男性など様々なチーム構成の中で2日間チームとして活動していく中で、互いの個性を理解し、ともに楽しむ時間を共有した。

②障がい者サッカーすべてのカテゴリー(精神を除く)の方を全てごちゃ混ぜにしたチーム構成とした

③どの様な障がいがあるとも試合をすることは可能で、とても有意義な時間となった。

一般社団法人蹴-1協会(宮崎県児湯郡都農町)

①1. タイトル:蹴-1 GP全国大会

開催日/期間:H30年3月3日

場所:藤見公園(宮崎県児湯郡都農町)

対象:小学3年生以上~一般

参加者数:約700名(選手)

内容:PK大会(U-9、U-12、一般)

2. タイトル:蹴-1 GP各県大会開催の普及

開催日/期間:H29年4月~H30年3月

場所:北海道、大分県、岐阜県、福井県、佐賀県、熊本県、愛知県、沖縄県、福岡県、大阪府

②岐阜県大会がCPサッカー全日本選手権大会と同日開催(実際は台風接近による雨天の為蹴-1 GPは中止)、又各県大会にもアンブティサッカーの選手が参加する県が増えてきている。

山口・九州ろう者サッカー協会(鹿児島県鹿児島市)

①第23回 山口・九州ろう者サッカー選手権大会http://jdfa.jp/news/deaf_soccer_kdfa_shimonoseki_20180318/

②九州各地で様々なイベントを行っています。

③まずはろう者サッカーフットサルの周知からだと思っています。

一般社団法人サンビスカス沖縄(沖縄県沖縄市)

①障がい者スポーツ(沖縄市青少年スポーツ事業委託)児童デイサービススポーツ体験教室